ELECOM

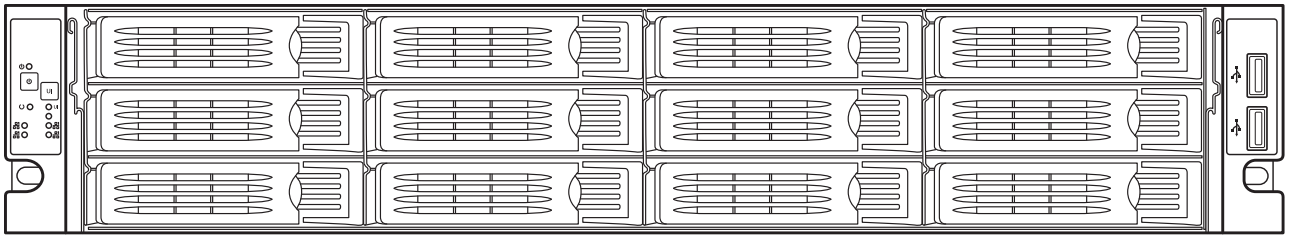
DataStor
Network storage server

Network storage サーバー

NSB-96SRW/96SRWS シリーズ

User's Manual

対象モデル
NSB-96S18T12RWS (2TB　HDD×9、60GB　SSD×3)
NSB-96S24T12RW (2TB　HDD×12)
NSB-96S48T12RW (4TB　HDD×12)



エレコム株式会社

●このマニュアルで使われている記号

記号	意味
注 意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。 この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

ご注意

- 本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。
- 本製品に付随するドライバ、ソフトウェア等を逆アセンブル、逆コンパイルまたはその他リバースエンジニアリングすること、弊社に無断でホームページ、FTP サイトに登録するなどの行為を禁止させていただきます。
- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製 / 転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社テクニカル・サポートまでご連絡ください。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での（海外からの）保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。
- Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名 / 社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および TM は省略させていただきました。

ELECOM

Network storage サーバー

NSB-96SRW/96SRWSシリーズ

User's Manual
ユーザーズマニュアル

安全に関する警告

安全のため、次の安全に関する警告を読み、それに従ってください。

- **NSB-96SRW/96SRWS シリーズ（以下、本製品とします）との設定を試みる前に本マニュアルを十分に読んでください。**
- **本製品は、複雑な電子機器です。いかなる状況下でも修理を試みないでください。不具合が生じた場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。**
- **電源コード上には何物も置かず、また電源コードは踏まれる恐れがある所には置かないでください。接続ケーブルは、踏みつけたり引っ掛けたりすることがないように配置してください。**
- **本製品が正常動作できる温度範囲は 5℃～ 35℃ で、相対湿度が 20% ～ 80% です。過酷な環境条件での本製品の使用は、機器を損傷することがあります。**
- **本製品に適切な電圧（AC 100V、50/60Hz) が供給されていることを確認してください。本製品を誤った電源に接続すると、機器を損傷することがあります。**
- **本製品を湿気や、埃、腐食液にさらさないでください。**
- **本製品を平坦な場所以外には置かないでください。**
- **本製品を直射日光や他の熱源にさらさないでください。**
- **本製品の清掃に化学物質やエアロゾルを使わないでください。清掃前には、電源コードや接続ケーブルをすべてプラグから外してください。**
- **本製品に物を置かないでください。 また、機器の過熱防止用の換気スロットをふさがないでください。**
- **梱包は子供の手が届かない所に置いてください。**
- **機器を廃棄する際は、環境保護のため、電子機器製品の安全な破棄に関する各自治体の指示に従ってください。**

もくじ

安全に関する警告 4
警告 7
注意 9
よりよくお使いいただくために 11
安全にお使いいただくために 12
使用環境について 13

Chapter 1　はじめに　14

1.1　各部の名称 15
1.2　ラックに設置する 17
1.3　電源を ON/OFF する手順 20
1.4　セットアップ手順 21
1.4.1　セットアップ手順 21
1.5　ウイルス対策ソフトウェアのインストール 23

Chapter 2　プリインストールのソフトウェアについて　25

2.1　HostExplorer について 26
2.1.1　画面の説明 26
2.2　管理ツールについて 28
2.2.1　サーバーマネージャー 28
2.3　お知らせメール 29
2.4　電源設定 33
2.5　ナスコール 37
2.6　フォルダアナライザ 38

Chapter 3　ハードディスクの管理　39

3.1　ボリューム作成 40
3.1.1　NSB-96S24T12RW、NSB-96S48T12RW（HDD モデル）の場合 40
3.1.2　NSB-96S18T12RWS（HDD+SSD モデル）の場合 51
3.2　故障時のハードディスク交換手順 61
3.2.1　ランプの確認 61
3.2.2　ご注意ください 61
3.2.3　NSB-96S24T12RW、NSB-96S48T12RW（HDD モデル）の場合 62
3.2.4　NSB-96S18T12RWS（HDD ＋ SSD モデル）の場合 68

Chapter 4　データのバックアップやレプリケーションを行う　72

4.1　Windows Storage Server のバックアップ機能 74
4.1.1　バックアップ手順 .....
4.1.2　リストア手順 77

Chapter 5　各種設定　80

5.1　日時の設定 81
5.2　サーバー名、ドメイン / ワークグループの変更 82
5.3　パスワードの変更 109
5.3.1　ログオンしているアカウントのパスワードの変更 84
5.3.2　ログオンしているアカウント以外のパスワードの変更 84
5.4　ユーザーの追加 86
5.5　グループの追加 88
5.6　共有フォルダーの作成 92
5.7　Windows イベントログの取得 97

Chapter 6　付録　98

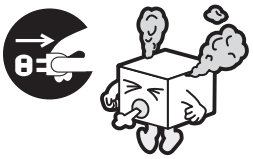
6.1　出荷時設定 99
6.2　製品仕様 100 102
6.4　困ったときは 109

補足 A　サポート　111

A.1　製品の保証について 112
A.2　サポートサービスについて 113

警告

警　告



万一、異常が発生したとき。
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。

異物を入れないでください。
通気孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れないでください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。
※万一、異物が入った場合は、ただちに電源を切り、販売店にご相談ください。

分解しないでください。
本書の指示に従って行う作業を除いては、自分で修理や改造・分解をしないでください。感電や火災、やけどの原因になります。また、自分で改造・分解を行った機器に関しましては、弊社では一切の保証をいたしかねます。
※特に電源内部は高電圧が多数あり、万一、触れると危険です。

表示された電源で使用してください。
電源コードは必ず AC100V のコンセントに接続してください。

電源コードを大切に。
電源コードは必ず本製品付属のものを使用し、以下の点に注意してください。取扱いを誤ると、感電や火災の原因になります。
「物を載せない」「引っ張らない」「押し付けない」「折り曲げない」「加工しない」「束ねない」「熱器具のそばで使用しない」

電源コンセントの扱いは慎重に。
電源コンセントはアース付き 3 ピンコンセントをご使用ください。その他のコンセントを使用すると感電や火災の原因になります。
コンセントの接地極は、感電防止のために、アース線を専門の電気技術者が施工したアース端子に接続してください。接続しないと電源の故障時などに感電するおそれがあります。
コンセントは、活性導線（L：Line）、接地導線（N：Neutral）、接地（G：Ground）から成ります。ご使用前に、接地導線と接地が同電位であることをご確認ください。

電源プラグの抜き差しには注意してください。
電源プラグをコンセントに差し込むとき、または抜くときは必ず電源プラグを持って行ってください。無理に電源コードを引っ張るとコードの一部が断線してその部分が過熱し、火災の原因になります。
休暇や旅行などで長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。使用していないときにも通電しているため、万一、部品破損時には火災の原因になります。
電源プラグをコンセント抜き差しするときは、乾いた手で行ってください。濡れた手で行うと感電の原因になります。

電源プラグの接触不良やトラッキング。
電源プラグは次のようにしないと、トラッキングの発生や接触不良で過熱し、火災の原因になります。
電源プラグは根元までしっかり差し込んでください。
電源プラグはほこりや水滴が付着していないことを確認し、差し込んでください。付着している場合は、乾いた布などで拭き取り、差し込んでください。
グラグラしないコンセントをご使用ください。

ケースカバーは取り外さないでください。
思わぬ接触など作業の不具合発生時に故障や劣化による火災の原因になります。

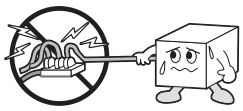
装置の上に物を置かないでください。
本製品の上に重いものや、水の入った容器類、または虫ピン、クリップなどの小さな金属類を置かないでください。故障や感電、火災の原因になります。

揮発性液体の近くの使用は避けてください。
マニキュア、ペディキュアや除光液などの揮発性液体は、装置の近くで使わないでください。装置の中に入って引火すると火災の原因になります。

日本国以外では使用しないでください。
この装置は日本国内専用です。電圧の違いや環境の違いにより、国外で使用すると火災や感電の原因になります。また他国には独自の安全規格が定められており、この装置は適合していません。

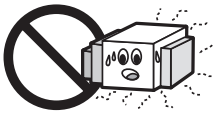
注意

注　意



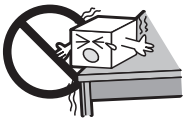
電源コードはなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は、火災の原因となります。

電源コードは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。

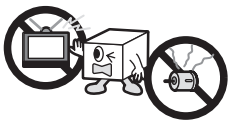


通気孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。また、通気孔には埃が付着しないよう、定期的に点検し、清掃してください。

高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が厳しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けてください。



ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。

浴室、洗面台、台所の流し台、洗濯機など水を使用する場所の近傍、湿気の多い地下室、水泳プールの近傍やほこりの多い場所では使用しないでください。電気絶縁の低下によって火災や感電の原因になります。

装置の梱包用ポリ袋はお子様の手の届くところに置かないでください。かぶったりすると窒息するおそれがあります。

コネクタなどの接続端子に手や金属で触れたり、針金などの異物を挿入したりしないでください。また、金属片のある場所に置かないでください。発煙や接触不良などにより故障の原因になります。

ケーブルは足などをひっかけないように配線してください。足をひっかけるとケガや接続機器の故障の原因になります。また、大切なデータが失われるおそれがあります。
ケーブルの上に重量物を載せないでください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接続機器などの故障の原因になります。

地震対策について
地震などによる振動で装置の移動、転倒あるいは窓からの飛び出しが発生し、重大な事故へと発展するおそれがあります。これを防ぐため、地震・振動対策を保守会社や専門業者にご相談いただき、実施してください。

ディスク障害が発生した場合は…
本製品内蔵の HDD ユニットに障害が発生すると、内部のブザーから警報音がなり、該当 HDD のランプが点灯します。このような状態になった場合は、直ちに障害が発生した HDD ユニットを別売の HDD ユニットと交換してください。
HDD ユニットの交換方法につきましては、「3.2 故障時のハードディスク交換手順」を参照ください。

よりよくお使いいただくために

本製品とシステム装置やハブ等のネットワーク装置を接続する際には、指定および制限事項を確認の上、ご使用ください。指定および制限事項を考慮しなかった場合、ネットワーク環境全体の伝送能力に問題が生じるおそれがあります。

【廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意】

■ ご利用の弊社製品を廃棄・譲渡等される際には、以下の事項にご注意ください。

● パソコンおよび周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、HDD ユニットに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

● HDD ユニットに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
HDD ユニットのデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお願いいたします。また、HDD ユニット上のソフトウェアを消去することなくパソコンおよび周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますので、ご注意ください。

【ハードディスクを廃棄する場合】

データ消去サービスのご案内
弊社では、HDD ユニット上のデータを強磁気破壊方式（※）により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータの保存に利用した HDD ユニットを廃棄する場合などにご利用ください。
※磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。
磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、HDD ユニットを再利用することはできません。
データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページでご紹介しておりますので、ご参照ください。
「データ復旧技術センター」
http://www.logitec.co.jp/data_recovery

安全にお使いいただくために

本製品を安全にご利用いただくために、以下の事項を尊守いただきますようお願いいたします。

■ 本製品について

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

万一、本製品内のデータが消失した場合、データの復旧につきましては、弊社ではいかなる保証もいたしかねます。

■ データのバックアップ

本製品には RAID 機能が搭載されておりますが、これはハードディスクの冗長性を高めるものであり、データの保証をするものではありません。本製品を安全にご利用いただくためには、データのバックアップを欠かさず行っていただきますよう、お願いいたします。

■ UPS への接続

本製品を UPS（無停電電源ユニット）に接続することにより、予期せぬ停電による障害より回避できる可能性が高くなります。是非、UPS の導入・接続をお薦めいたします。

使用環境について

本製品は以下の環境でご使用ください。OS はいずれも日本語のものに限ります。また、使用するパソコンは LAN 環境に接続されている事が必要です。

■ クライアント環境

セットアップ、管理操作が可能な OS

- Windows 10（32/64bit）、
- Windows 8.1（32/64bit）、
- Windows 8（32/64bit）、
- Windows 7（32/64bit）SP1 以降、
- Windows Vista（32/64bit）SP2 以降、
- Windows XP SP3 以降、
- Windows Server 2012 R2（64bit）、
- Windows Server 2012（64bit）、
- Windows Server 2008 R2（64bit）SP2 以降、
- Windows Server 2008（32/64bit）SP2 以降、
- Windows Server 2003 R2（32/64bit）SP2 以降、
- Windows Server 2003（32/64bit）SP2 以降、
- Mac OS X 10.11、Mac OS X 10.10、Mac OS X 10.9、Mac OS X 10.8、Mac OS X 10.7、Mac OS X 10.6

管理画面の上下が切れる場合は、ツールバー及びステータスバーを非表示にしてご利用ください。

共有フォルダーにアクセス可能な OS

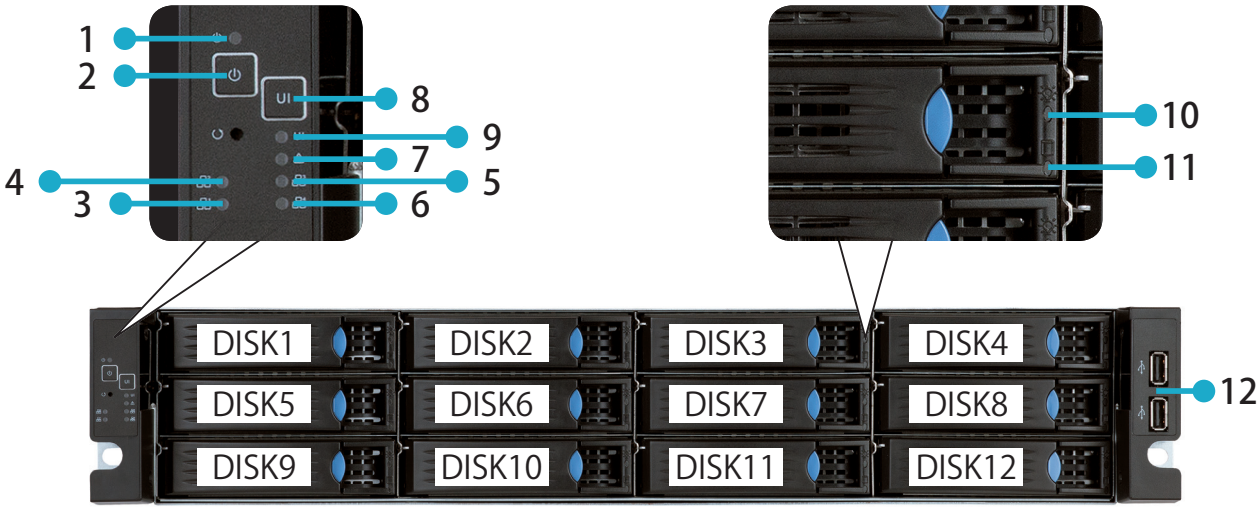
- Windows 10（32/64bit）、
- Windows 8.1（32/64bit）、
- Windows 8（32/64bit）、
- Windows 7（32/64bit）SP1 以降、
- Windows Vista（32/64bit）SP2 以降、
- Windows XP SP3 以降、
- Windows Server 2012 R2（64bit）、
- Windows Server 2012（64bit）、
- Windows Server 2008 R2（64bit）SP2 以降、
- Windows Server 2008（32/64bit）SP2 以降、
- Windows Server 2003 R2（32/64bit）SP2 以降、
- Windows Server 2003（32/64bit）SP2 以降、
- Mac OS X 10.11、Mac OS X 10.10、Mac OS X 10.9、Mac OS X 10.8、Mac OS X 10.7、Mac OS X 10.6
- UNIX 系 OS*

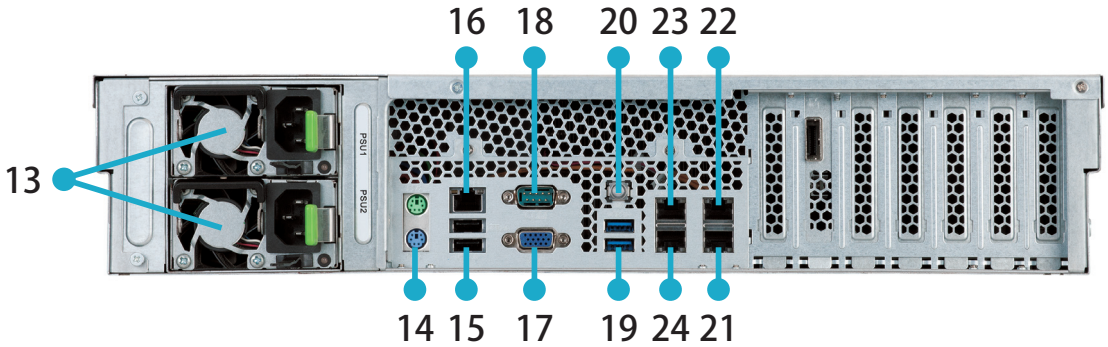
※ UNIX 系 OS は、特殊な設定を必要とする場合があります。
ご利用方法までは、動作保証の対象外となります。

Chapter 1

はじめに

1.1 各部の名称





番号	項目	説明
1	電源ランプ	緑点灯：稼働中 橙点灯：システムスタンバイ
2	電源ボタン	電源を ON にするときは、電源ボタンを 1 回押します。電源 ON の状態で電源ボタンを押すと OFF になります。
3	LAN 1ランプ	緑点灯：イーサネットのリンクが確立しています。 緑点滅：データ転送中です
4	LAN 2ランプ	
5	LAN 3ランプ	
6	LAN 4ランプ	
7	エラーランプ	赤点灯：エラーが発生しています。
8	UID ボタン	ボタンを押すと、前面の UID ランプと背面の UID ボタンが青色に点灯します。 ラック取り付け後に本製品を確認する際にご利用ください。
9	UID ランプ	前面または背面の UID ボタンを押すと青色点灯します。

番号	項目	説明
10	HDD ステータスランプ	青点灯：正常に動作中です。 青点滅：HDD 認識中です。
11	HDD アクセスランプ	緑点滅：HDD にアクセス中です。 赤点灯：HDD が故障しています。
12	USB2.0 ポート	HDDやUPSを接続できます。 メンテナンス時はマウス、キーボードを接続します。
13	電源ユニット	付属の AC ケーブルを接続します。電源ケーブルは 2 本接続してください。
14	PS/2 ポート	使用しません。
15	USB2.0 ポート	HDDやUPSを接続できます。 メンテナンス時はマウス、キーボードを接続します。
16	BMC ポート	使用しません。
17	VGA ポート	メンテナンス用の端子です。 メンテナンス以外で本製品にモニターを接続しないでください。
18	シリアルポート	使用しません。
19	USB3.0 ポート	HDD を接続できます。
20	UID ボタン	ボタンを押すと、前面の UID ランプと本ボタンが青色に点灯します。
21	LAN ポート 1	付属の LAN ケーブルを接続します。
22	LAN ポート 2	2 本以上の LAN ケーブルで接続する際に使用します。
23	LAN ポート 3	
24	LAN ポート 4	

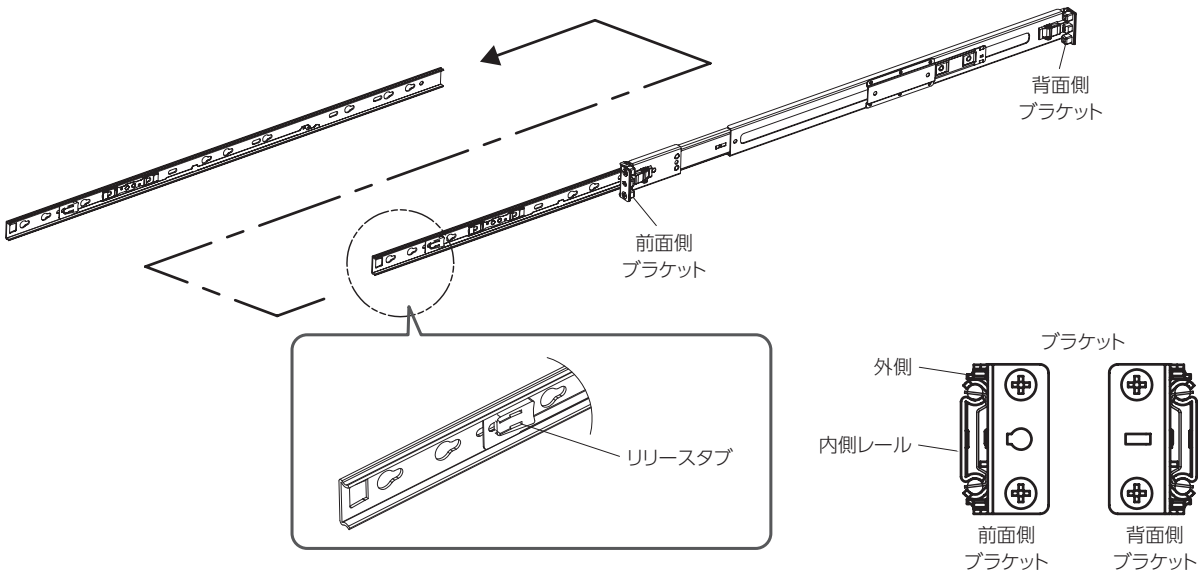
1.2 ラックに設置する

本製品をラックに設置します。

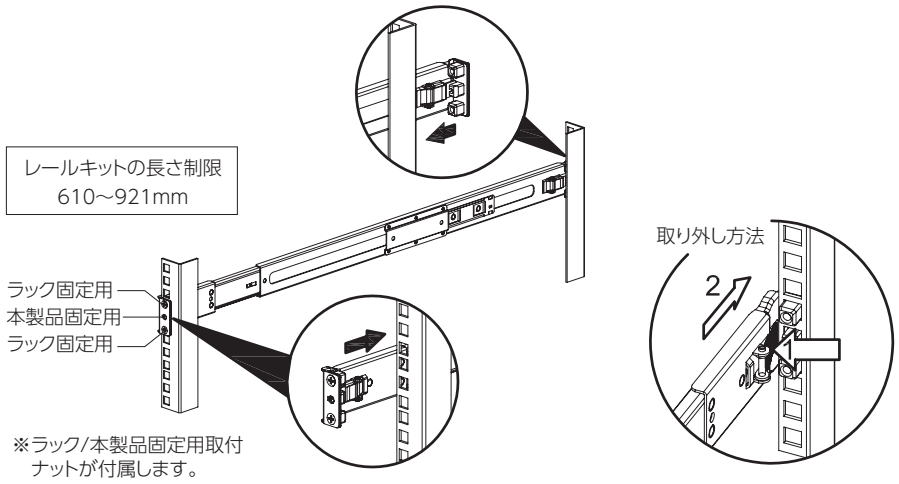
注意

- ラックや本製品の上には物を載せないでください。
- 本製品は精密な機器です。落としたり衝撃を与えないよう慎重に作業を行ってください。
- 本製品を落としてけがすることがないよう慎重に作業を行ってください。また、ラックへの設置は三人以上で作業を行ってください。
- 金属部分で手をけがしないよう慎重に作業を行ってください。
- 「安全にお使いいただくために必ずお守りください」の指示に必ずしたがってください。
- 本製品の動作時に周辺の動作環境が、温度 5 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80 % を保てる場所に設置してください。
- 本製品の前面および背面は通風孔になっています。障害物などでふさがないようご注意ください。

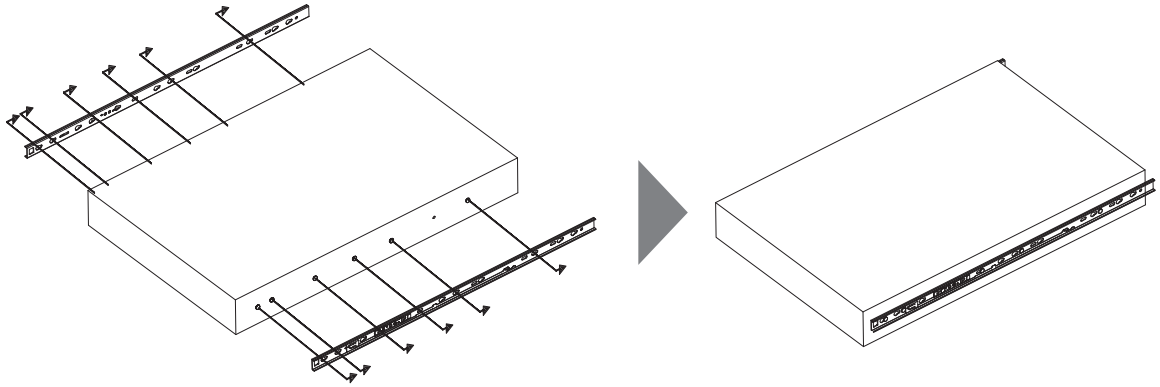
1 ラック取り付け用キットの内側のレールをリリースタブを引きながら取り外します（左右両方）。



2 ラック取付用金具を前後のマウントアングルに固定します。



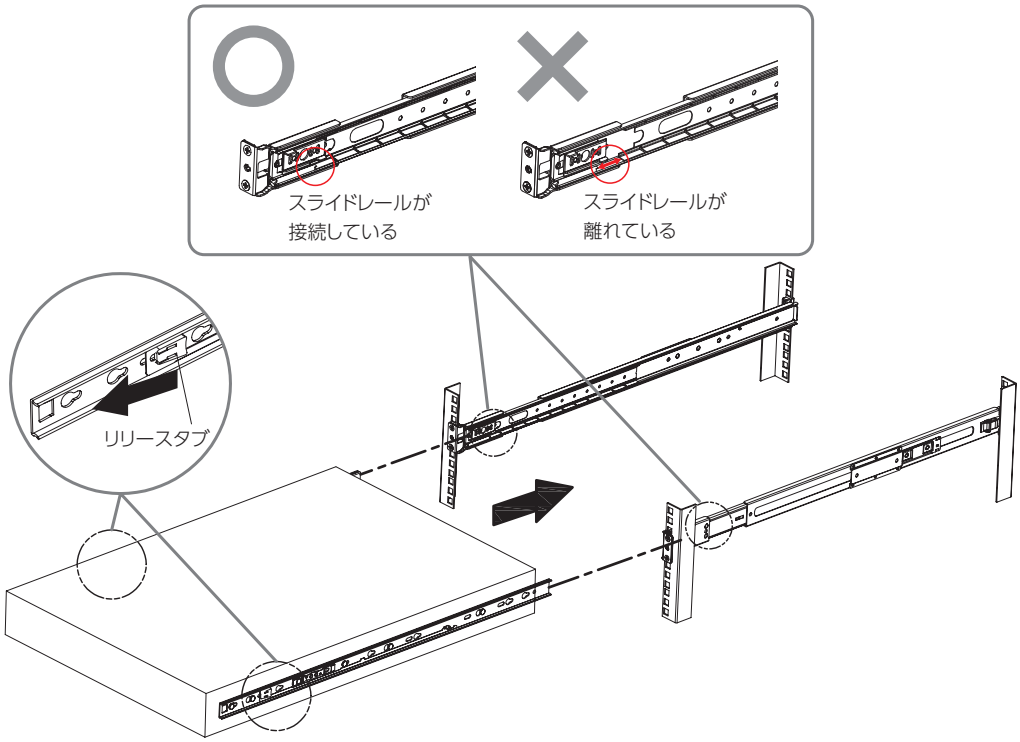
3 1 で取り外した内側のレールを本製品の側面に固定します。



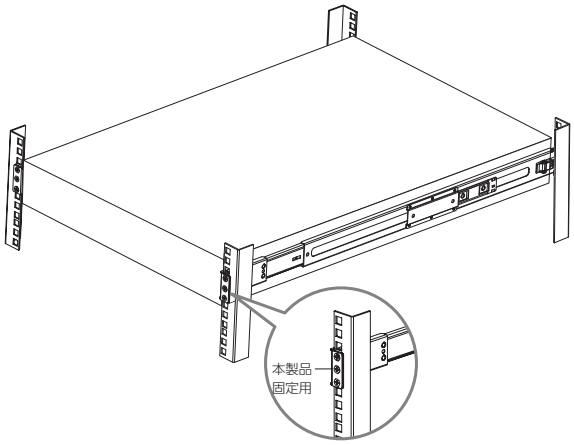
4 本製品本体を水平に保ちながら、ラック取付用金具に内側のレールを合わせて本製品の奥行き半分まで差し込みます。

注意

本製品をラックに差し込む際に、ラックに取付けたラック取付用金具のスライドレール部分と固定部分が離れていないことを確認してください。
離れている場合、本製品が上手く差し込めず、レールが曲がってしまう可能性があります。



5 **左右のリリースタブを押しながら、本製品本体をラックに奥まで挿し込み、固定します。**



以上でラックへの設置は完了です。

1.3 電源を ON/OFF する手順

電源 ON：電源 OFF のときに、本体前面の電源ボタンを押します。
電源 OFF：電源 ON のときに、本体前面の電源ボタンを押してシャットダウンをします。

MEMO

詳細電源設定につきましては、「2.4 電源設定」を参照願います。
手順を守らずに、電源が ON の状態のまま AC ケーブルを取り外すと、本製品が故障する恐れがあります。

1.4 セットアップ手順

本製品を使用するには、付属の CD-ROM に収録されている HostExplorer のインストールを行います。

MEMO
Mac OS X をお使いのかたへ
あらかじめ Microsoft 社ホームページ http://www.microsoft.com/ja-jp/download/ から「Remote Desktop Connection Client for Mac 2」をダウンロードし、インストールしてください。インストールしないとリモートデスクトップで本製品の設定を変更することはできません。

1.4.1 セットアップ手順

1 本製品に LAN ケーブル、AC ケーブルを接続します。

MEMO
LAN2 ～ LAN4 ポートを使用したい場合でも、LAN1 ポートを使って本紙に記載の手順でセットアップします。セットアップ後、LAN2 ～ LAN4 ポートに LAN ケーブルを接続します。

MEMO
Windows Storage Server の LAN(ネットワークアダプター) の設定は、絶対に無効化しないでください。
LAN の無効化を行ってしまうと、本製品にアクセスできなくなります。
誤ってネットワークアダプターを無効化してしまったときは、VGA ポートにモニターを接続し、USB ポートにキーボートとマウスを接続して確認してください。

2 本製品の本体前面の電源ボタンを押し、電源を ON にします。

3 添付の CD-ROM から Host Explorer をパソコンにインストールする。

4 デスクトップの「NASHostExplorer」アイコンをダブルクリックします。

5 本製品を選択して、「設定」をクリックします。

6 ユーザー名、パスワードを入力し、Enter キーを押します。

リモートデスクトップの画面内で Windows Storage Server が起動します。

MEMO
- 出荷時設定では、ユーザー名とパスワードは次のようになっています。
  ユーザー名 : admin
  パスワード : admin
- 「デバイスに自動的に接続しますか?」と表示されたときは、[はい] をクリックしてください。

7 Windows Storage Server の更新プログラムをインストールします。

MEMO
- 本製品がインターネットに接続されている必要があります。
- IP アドレスを入力 (固定) して本製品を使用する場合、Windows Storage Server の DNS 設定を行ってください。

(1) [サーバーマネージャー] 内の [ローカルサーバー] をクリックします。
(2) [プロパティ] 内の [Windows Update] に表示されている [未構成] をクリックします。
(3) [設定の変更] をクリックします。
(4) [更新プログラムを自動的にインストールする] を選択し、[OK] をクリックします。
以降は画面の指示にしたがって Windows 更新プログラムをインストールします。
※「自動更新」は推奨設定となります。お客様ご利用環境により設定は異なります。

8 日付と時刻を合わせます。

(1) [サーバーマネージャー] 内の [ローカルサーバー] をクリックします。
(2) [プロパティ] 内の [タイムゾーン] に表示されている項目をクリックします。
(3) [日付と時刻] タブ内の [日付と時刻の変更] をクリックします。
(4) 日付と時刻を現在の日時に合わせ、[OK] をクリックします。

MEMO
[インターネット時刻] タブ内の [設定の変更] をクリックし、[インターネット時刻サーバーと同期する] を選択すると自動で時刻を取得することができます。

9 共有フォルダー (share) を作成します。

詳しくは、Chapter5「5.6 共有フォルダーの作成」をご参照ください。

MEMO
Mac OS X では、デスクトップ画面に本製品がドライブアイコンとしてマウントされるか、Finder のサイドバーに表示されます。

以上でセットアップは完了です。
本製品の共有フォルダーは、他のハードディスクと同じようにファイルの保存先としてご使用することができます。

1.5 ウイルス対策ソフトウェアのインストール

本製品を使用する前に、本製品に市販のウイルス対策ソフトウェアをインストールすることを強く推奨します。本製品にウイルス対策ソフトウェアをインストールするには、以下の手順を行ってください。

1 本製品に USB タイプの外付け CD または DVD ドライブを接続します。

2 ウイルス対策ソフトウェアのインストールメディアを CD または DVD ドライブに挿入し起動します。

3 画面の指示にしたがって、本製品にウイルス対策ソフトウェアをインストールします。

詳細なインストール手順については、ウイルス対策ソフトウェアの取扱説明書をご参照ください。

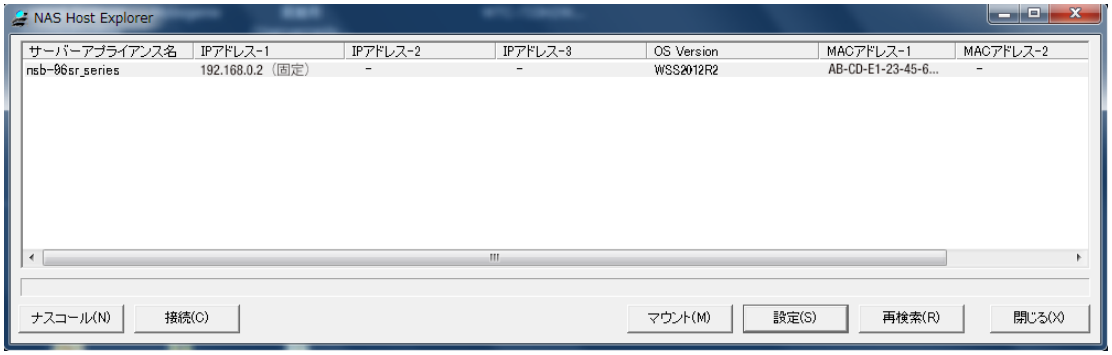
※推奨ウィルス対策ソフトウェア

メーカー名	ソフトウェア名
トレンドマイクロ	ウィルスバスターコーポレートエディション 11
McAfee	VirusScanEnterprise8.8
Symantec	EndpointProtection12

Chapter 2

プリインストールのソフトウェアについて

2.1 HostExplorer について



画面上に現在ネットワークで接続中の本製品が表示されます。ネットワークに複数の NSB シリーズが存在する場合は複数表示されますので、設定する本製品を選択します。

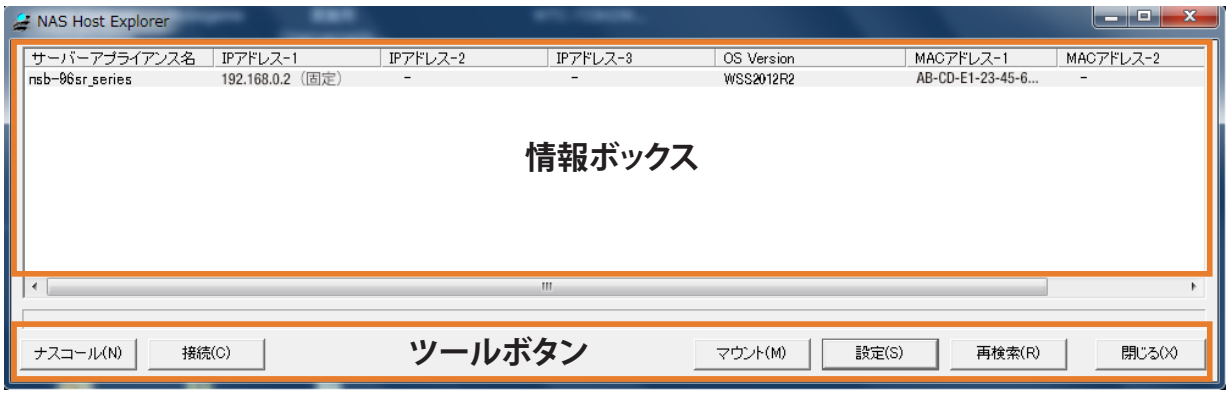
※機器が表示されない場合は、「再検索」を押してください。それでも表示されない場合は、本製品の LAN ケーブルなどの接続状況を確認してください。

※管理用 PC に複数のネットワークインターフェース (無線 LAN と有線 LAN など) が搭載されている場合、本製品が接続されている以外のネットワークインターフェースは「無効」にしてください。

※複数の NSB シリーズが画面上に表示された場合は、MAC アドレスを照合して選択してください。

MEMO Host Explorer は、インストールが終了すると、「スタート」メニュー内の「すべてのプログラム」→「Elecom」→「NASHostExplorer」に登録されます。

2.1.1　画面の説明



情報ボックス

- **サーバーアプライアンス名**：本製品に命名されたサーバーアプライアンス名 (コンピュータ名) が表示されます。出荷時状態では、NSB-96SR_Series と表示されます。
- **IP アドレス -1**：本製品の LAN ポート 1 に設定された IP アドレスが表示されます。括弧内には DHCP 割当か、固定 IP かを表示します。
- **IP アドレス -2**：本製品の LAN ポート 2 に設定された IP アドレスが表示されます。
- **OS Version**：本製品に搭載されている OS が確認できます。
- **MAC アドレス -1**：本製品の LAN ポート 1 の LAN I/F の MAC アドレスが表示されます。
- **MAC アドレス -2**：本製品の LAN ポート 2 の LAN I/F の MAC アドレスが表示されます。

ツールボタン

- **ナスコール**：このボタンをクリックすると選択された NSB シリーズがビープ音を発します。
- **接続 (C)**：このボタンをクリックすると Explorer が起動し、共有フォルダにアクセスできます。
- **マウント (M)**：このボタンをクリックすると、本製品の共有フォルダをネットワークドライブとしてマウントできます。
- **設定 (S)**：このボタンをクリックすると選択した本製品の設定画面にアクセスできます。DHCP サーバの無い環境で、本製品に IP アドレスが未設定の場合は、管理画面にアクセスする前に IP アドレスの設定画面が表示されます。

MEMO

WindowsStorageServer2012R2 では OS の仕様により、管理画面にアクセスできるのは一度に 2 人のユーザーとなります。

出荷時設定では、ユーザー名とパスワードは以下の通りです。
ユーザー：admin
パスワード：admin

- **再検索 (R)**：このボタンをクリックするとネットワーク内から NSB シリーズを再度検索します。
- **閉じる (X)**：このアプリケーションを終了します。

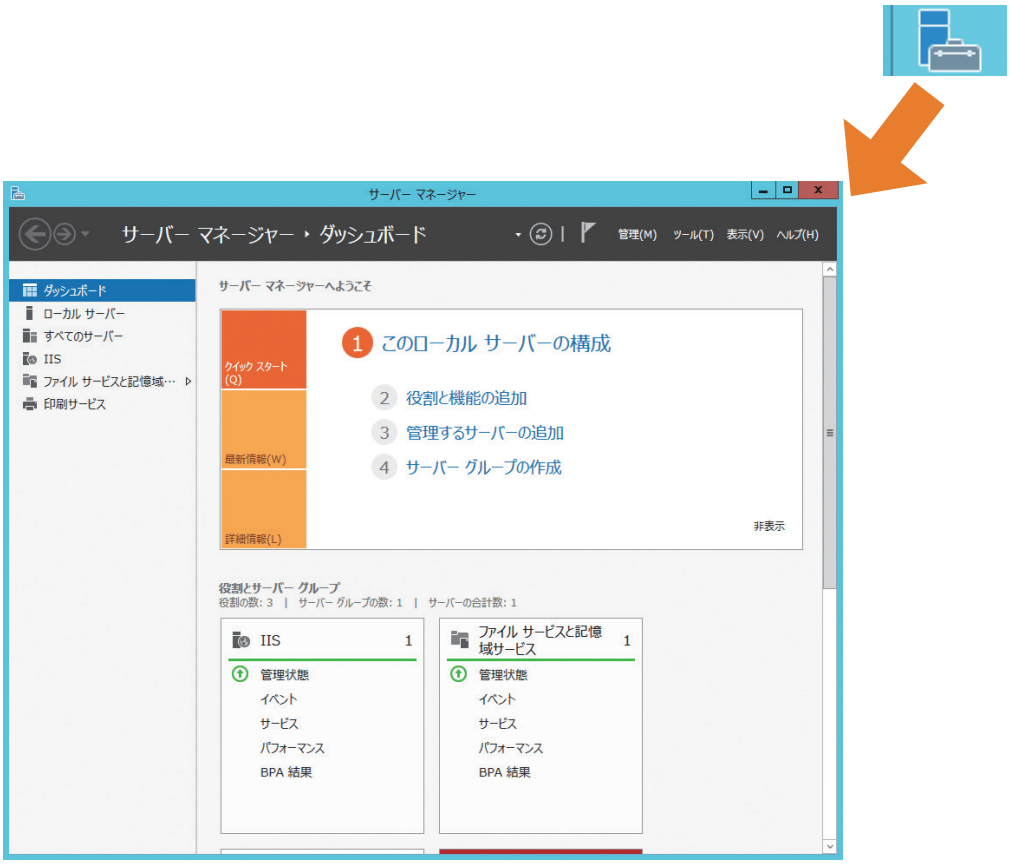
2.2 管理ツールについて

本製品には管理用のツールとしてリモートデスクトップ上から「サーバーマネージャー」を利用することができます。「サーバーマネージャー」は、Windows Server 2012R2 標準のサーバ機能管理用コンソールです。

2.2.1　サーバーマネージャー

サーバーマネージャーでは製品出荷時の状態で、以下の項目が管理できます。(リモート) デスクトップ上のタスクトレイにあるサーバーマネージャーアイコンをクリックして起動します。

- ダッシュボード
- ファイルサービスと記憶域サービス
- すべてのサーバー
- 役割と機能の追加
- ローカルサーバー (イベントビューアー、パフォーマンス)



2.3 お知らせメール

本製品を外部ネットワークに接続可能な環境であれば、メール設定を行うことによりメールにて稼動中の本製品に起こっているさまざまな情報を得ることが可能です。

1 お知らせメール設定を起動します。

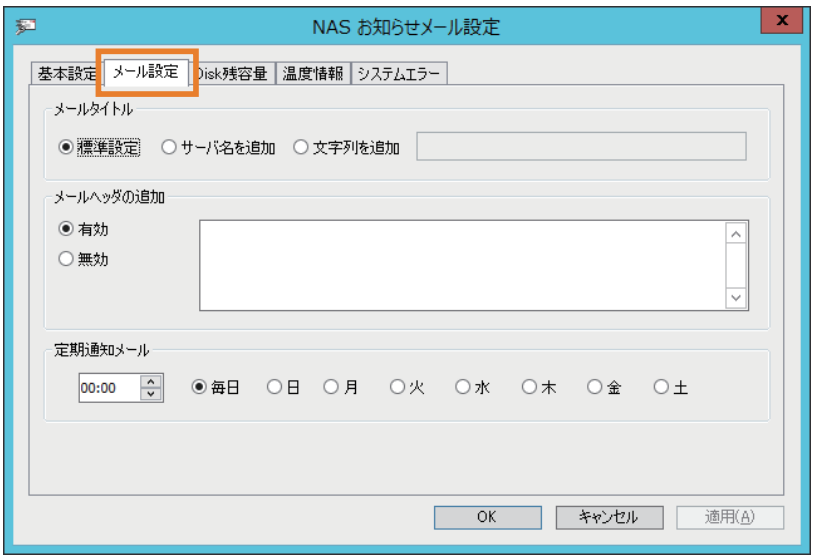
2 お知らせメール設定が表示されますので、必要事項を設定し、OK をクリックします。

＜基本設定タブ＞

項目	説明
メールサーバー	• サーバー：メール通知に使用するご利用の SMTP(送信メールサーバー) の IP アドレスまたは FQDN(Fully Qualified Domain Name) で入力します。 • ポート：メール送信時に使用するポートを指定します。一般には ' 25' が使用されますが、プロバイダー等の制限によりサブミッションポートの指定が必要な場合、使用するポート番号をこの欄に設定してください。詳しくはご契約いただいているプロバイダーにご確認ください。 • 認証：指定したメールサーバーを利用する際に認証が必要な場合は、認証方法を選択しユーザ ID、パスワードを入力します。認証方法としては「SMTP 認証」または「SSL 接続」が選択可能です。 • メールアドレス：送信するメールの送り元アドレスを指定します (必須)

項目	説明
通知先メールアドレス	メール通知を行うアドレスをメールアドレスの形式で入力してください。　同時に通知する送信先を 5 箇所まで設定することができます。 【重要】サーバー (SMTP) 及び通知先メールアドレス設定後、適用ボタンを必ずクリックしてください。
有効 / 無効	メールにて受け取りたい情報にチェックを入れてください。 ※通知を有効にするのチェックを外してしまうと全ての情報がメールにて受け取れなくなります。 ※全ての項目にチェックを入れてしまうと、多くの情報がメールにて通知がされます。必要情報のみチェックすることをお勧めします。 メール配信できる情報には以下の項目があります • Disk 残容量：各ドライブの容量が設定値を超えた場合にメールにてお知らせします。Disk 残容量タブで詳細設定が可能です。 • 温度情報：搭載 HDD の温度が危険な温度になった場合にメールにてお知らせします。温度情報タブで詳細設定が可能です。 • 電源エラー:不正な電源 OFF が行われた場合、次回起動時にメールにて通知します。 • H-RAID エラー：ソフトウェア RAID 構成 (ミラー及び RAID5) の状態が正常で無い場合にメールにてお知らせします。 • バックアップ：標準機能のバックアップ実行後にてバックアップ結果をメールにてお知らせします。 • システムエラー（その他のエラー）：システム情報 / 警告 / エラーが発生した時にメールにてお知らせします。システムエラータブで詳細情報を設定できます。 • 定期通知メール：設定した曜日時間に本製品から定期的にメールを受け取ることができますので、本製品の死活管理に利用可能です。メール設定タブで詳細設定が可能です。 • 記憶域プールエラー：記憶域プールの状態が正常でない場合、メールにてお知らせします。

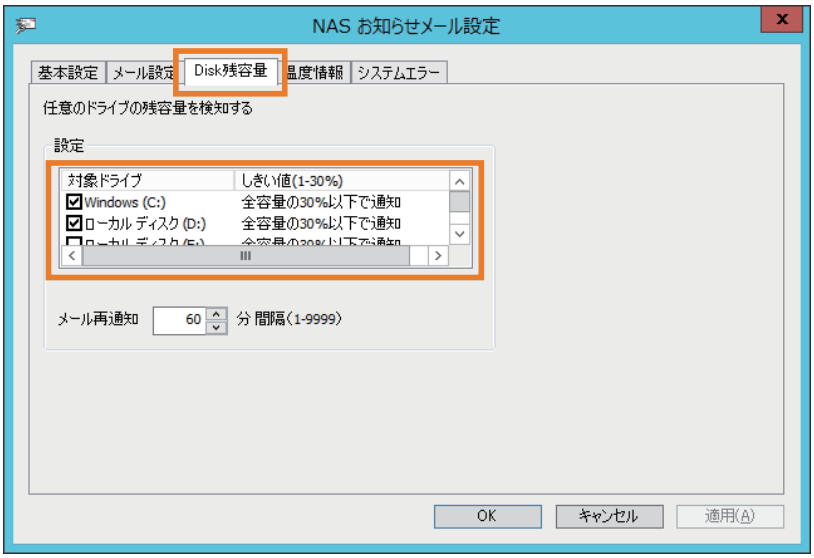
＜メール設定タブ＞



本製品から送信されるメール題名や内容を編集設定することが可能です。

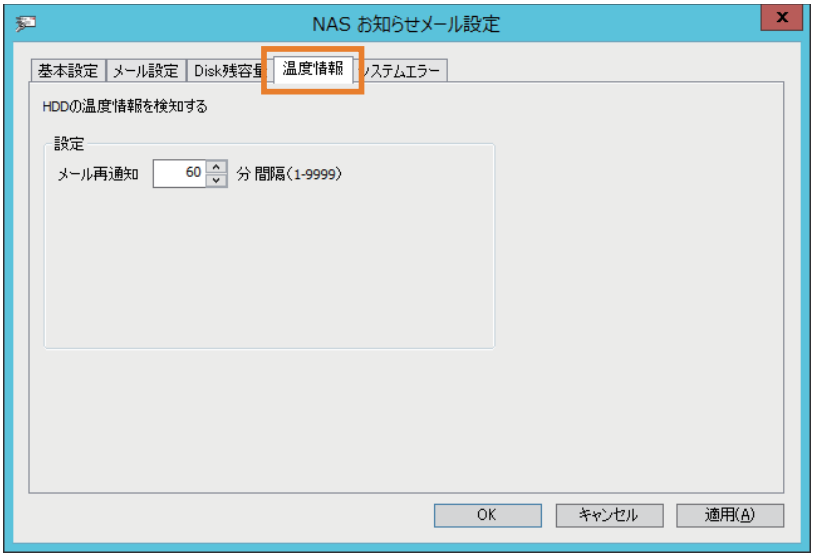
項目	説明
メールタイトル	• 標準設定：本製品から送信されるメールのタイトルを初期設定で行います • サーバー名を追加：メールタイトルに本製品のコンピューター名を追加できます • 文字列を追加：任意の文字列をメールタイトルに追加できます
メールヘッダの追加	• 有効：メール本文に任意の情報文字列を追加できます。（文字列の下に本製品の詳細情報が記載されます） • 無効：メール本文はデフォルトのままの情報が記載されます。
定期通知メール	定期通知のスケジュールを毎日から曜日ごとに時間を設定できます。 ※基本設定タブの「通知を有効にする」のチェックと「定期通知メール」のチェックを入れないとここでの設定が反映されません。

＜ Disk 残容量タブ＞
各ドライブの残容量検知を行う為の設定です。



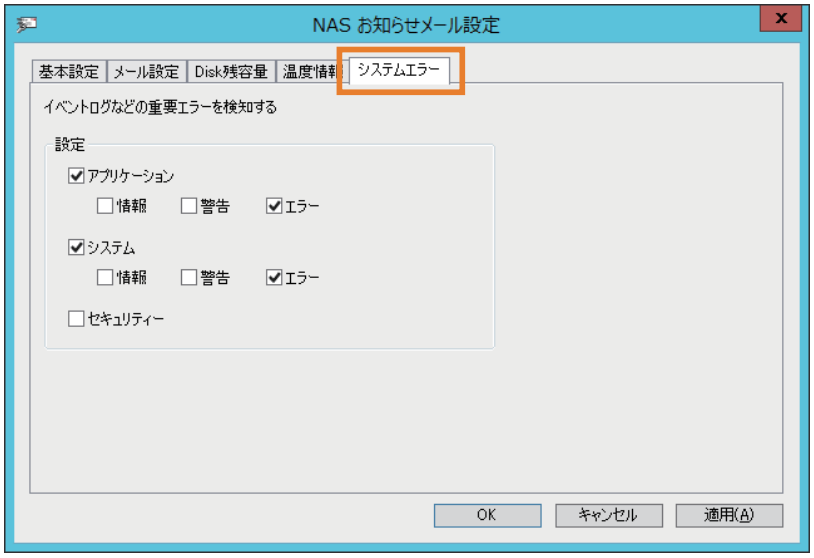
対象ドライブ (C ドライブもしくは D ドライブ) を選択し、しきい値の下にある「全容量の 30% 以下で通知」の上をクリックすると数値入力が可能になるので任意の数値を設定後適用ボタンをクリックしてください。
※基本設定タブにて「通知を有効にする」のチェックと「Disk 残容量」にチェックが入っていないとメール通知されません。

＜温度情報タブ＞
搭載 HDD の温度情報を通知する為の設定です。



・ HDD の温度が既定温度 (摂氏 59 度) 以上になるとメールにて通知されます。
メール再通知枠内に任意の数値を入力後、適用ボタンを押してください。
※ このメールを受け取った際は本体の設置場所が正しいか確認してください

＜システムエラータブ＞
メールにて通知させたい項目にチェックを入れてから適用をクリックしてください。



項目	説明
アプリケーション	アプリケーションイベントを取得しメール通知を行う時、このチェックボックスを有効にしてください。 通知が必要なレベルを、情報／警告／エラーより選択し設定します。
システム	システムイベントを取得しメール通知を行う時、このチェックボックスを有効にしてください。通知が必要なレベルを、情報／警告／エラーより選択し設定します。
セキュリティー	セキュリティーイベントを取得しメール通知を行う時、このチェックボックスを有効にしてください。

2.4 電源設定

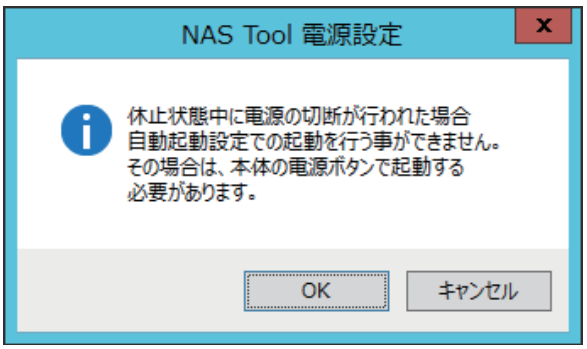
「電源設定」より環境問題に配慮した本製品の運用が可能です。
本製品を利用しない夜間や休日における電源 OFF（休止モード）や、利用される時間帯に合わせた稼働スケジュール設定が行えます。
また、「パワーボタン一発シャットダウン」を有効にすることにより、本製品を強制終了することが可能です。

1 電源設定を起動します。

2 NAS Tool 電源設定の画面が表示されます。必要事項を設定し、OK をクリックします。

＜自動起動・終了設定＞

・ 自動起動スケジュール：有効にすることにより自動起動・自動終了が行えます。プルダウンメニューより自動起動を毎日行うか、曜日ごとに時刻を変更するかが選択可能です。



※休止状態中に停電・コンセントが抜けた場合自動起動設定での起動はできません

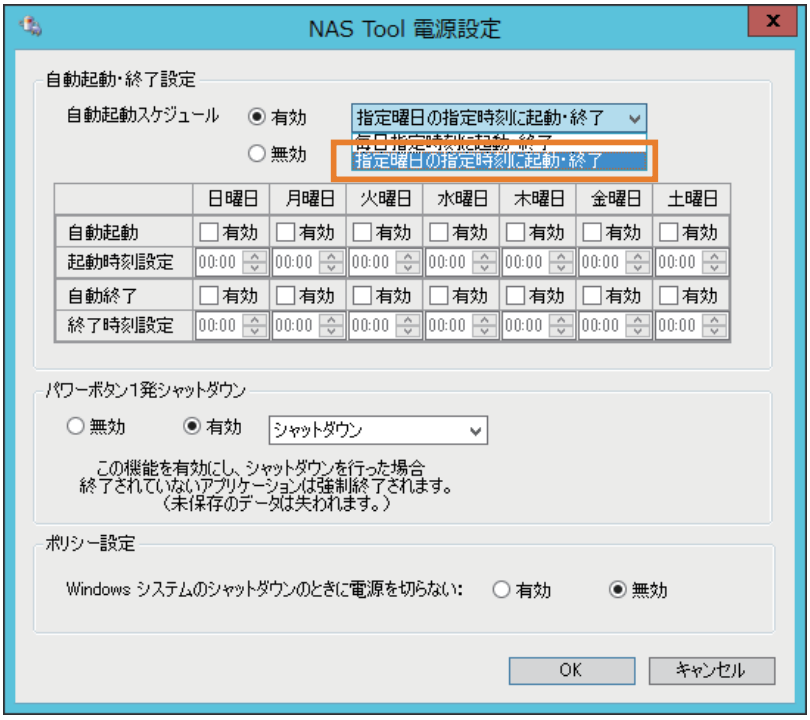
●毎日指定時刻に起動・終了を行う

「有効」にチェックを入れ起動及び終了の時間を設定し「OK」ボタンで画面を閉じます。

※上記画面の設定では毎日朝 8 時に本製品が起動し夜 8 時に自動的に終了する設定となります

※自動終了は休止モードでの終了となり、シャットダウンとは異なります。本製品にウィルスソフトやバックアップソフトなどリソースを多く消費するアプリケーションをご利用の場合、安定的な動作を行なうために「自動起動時に再起動を行う」にチェックを入れることをお勧めします。

●指定曜日の指定時刻に起動・終了を行う



❶ 「毎日指定時刻に起動・終了」の右側にある「▼」をクリックしプルダウンメニューに表示される「指定曜日の指定時刻に起動・終了」を選択

設定したい曜日の自動起動及び自動終了の有効にチェックを入れてください

❷ 次に各曜日にて本製品を起動させたい時間及び終了させたい時間を設定し「OK」ボタンで閉じます。

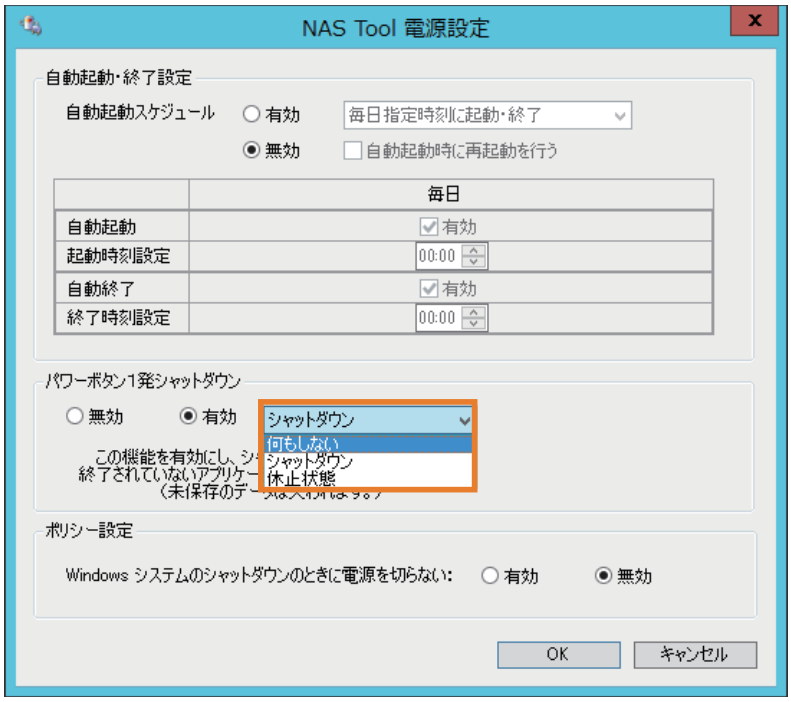
※上記画面では月～金まで朝 8 時に起動し夜 8 時に終了する設定となります。（土日は起動・終了しない設定）
※ここでも本製品の使用環境に合わせて「自動起動時に再起動を行う」のチェックの有無を選択可能です。（チェックを入れると全ての有効にチェックを入れた曜日に対して適用されます）

注 意

本製品の転送中のデータや動作しているアプリケーションも強制的に終了されますので御注意ください。

＜パワーボタン 1 発シャットダウン＞

・ 有効に設定することにより管理画面にアクセスすることなく本製品前面にあるパワーボタンから簡単にシャットダウンを行うことが可能となります。



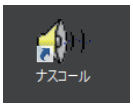
・ 有効に設定後右側にあるプルダウンメニューから動作を選択してください。
① 何もしない：有効に設定しても「何もしない」を選択すると電源ボタンを押しても本製品は終了しません
② シャットダウン：電源ボタンを押すとシャットダウンが開始され、本製品の電源が安全に切れます。
③ 休止状態：電源ボタンを一度押しすると休止モードとして自動的に電源が切れます。

注 意

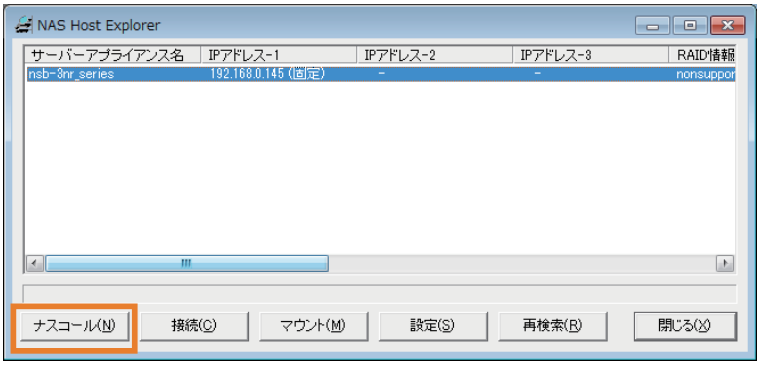
※パワーボタン 1 発シャットダウンを無効にしても、電源ボタンを 5 秒以上長押ししてしまうと、有効・無効問わず本製品は強制的に電源が OFF になり本製品内にインストールされている Windows に悪影響を与えてしまう場合がありますのでご注意ください。
※この機能を有効にし、電源ボタンにてシャットダウンを行った場合終了されていないアプリケーションは強制的に終了され、データ転送もキャンセルされますので御注意ください。

2.5 ナスコール

NSB シリーズを複数台お持ちの場合、リモートにて操作している本製品を特定するときに便利な機能です。



ナスコール機能は HostExplorer からも利用できます。

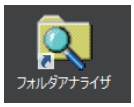


「ナスコール」ボタンをクリックすると選択された NSB シリーズからブザーが鳴り対象機器を特定することが可能です。

2.6 フォルダアナライザ

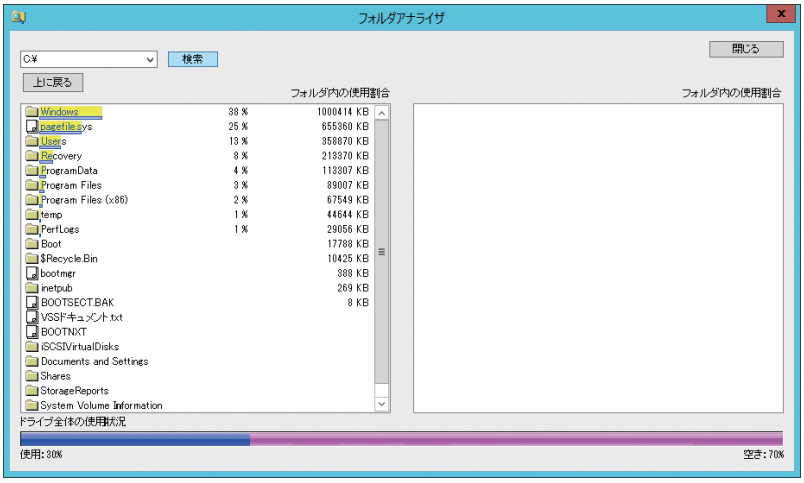
ドライブ内に保存されているフォルダやファイルのサイズやドライブにおける占有度の割合を確認することが可能です。また各ドライブの使用状況も確認することが可能です。残容量が少なくなった際のファイルの整理に活用できます。

1 **フォルダアナライザを起動します。**



2 **フォルダアナライザのウインドウが表示されます。確認したいドライブを選択して、検索ボタンをクリックしてください。**

3 **ドライブ内のフォルダやファイルが表示され、フォルダ容量や、ドライブ使用量全体に対するの割合が数値及び棒グラフで表示可能になります。**



- リスト内のディレクトリを選択すると、そのディレクトリ内のリストが右側に表示されます。
- 画面左上の「上に戻る」ボタンを押すと、左側にリスト表示されるディレクトリを親ディレクトリに移動することができます。
- 画面右上の「閉じる」ボタンを押すことにより、フォルダアナライザを終了できます。

Chapter 3

ハードディスクの管理

3.1 ボリューム作成

3.1.1　NSB-96S24T12RW、NSB-96S48T12RW（HDD モデル）の場合

●対応する RAID レベル

レベル	説明
JBOD	ストレージボリュームは、RAID サポートのない単体の HDD です。JBOD に必要なディスクは最低 1 台です。
RAID 0	データストライピングを実行しますが、冗長化はありません。パフォーマンスは向上しますが、 1 台でもディスクが故障するとデータが失われます。RAID 0 には最低 2 台のディスクが必要です。
RAID 1	ディスクのミラーリングを実行します。シングルディスクの読込速度が 2 倍になります。ただし、書込速度は同じです。RAID 1 には最低 2 台のディスクが必要です。
RAID 10	ミラーリングを実行した構成で、ストライピングを実行します。RAID 1 の冗長性と、RAID0 のパフォーマンス改善をもちます。RAID10 には最低 4 台のディスクが必要です。
RAID 5	データとパリティを分散して書き込みます。 RAID 5 には最低 3 台のディスクが必要です。 ディスクが 1 台故障しても構成を維持することができます。
RAID 50	RAID5 を構成するボリューム同士でさらに RAID0 を構成します。RAID5 の冗長性と RAID0 の性能を提供します。
RAID 6	データと 2 つのパリティを分散して書き込みます。 RAID6 は最低 4 台のディスクが必要です。 ディスクが 2 台故障しても構成を維持することができます。
RAID 60	RAID6 を構成するボリューム同士でさらに RAID0 を構成します。RAID6 の冗長性と RAID0 の性能を提供します。

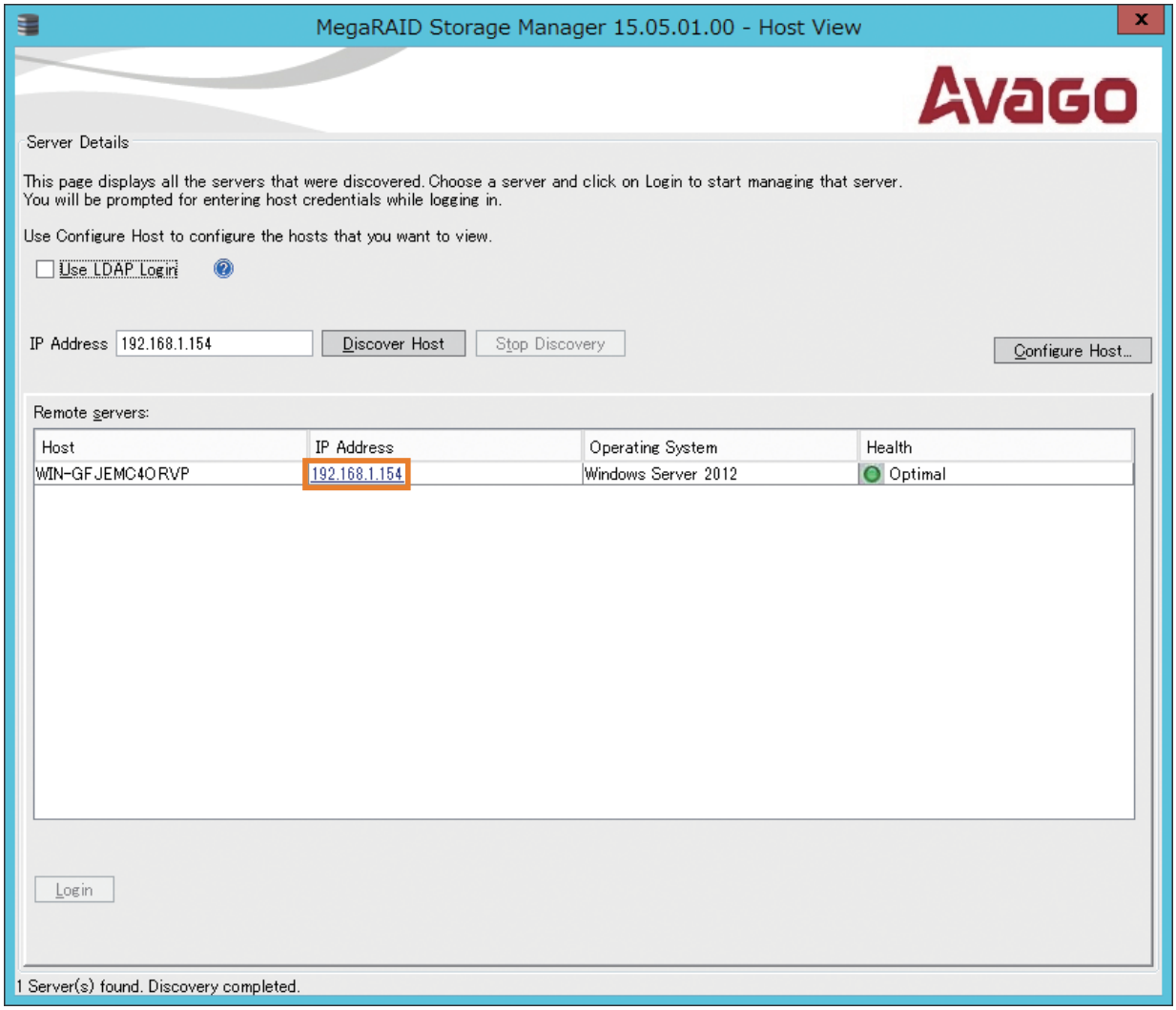
本製品はホットスペアに対応しています。ホットスペアディスクを登録しておくことで 1 台のディスクが故障した際に、自動的にホットスペアディスクを使用してリビルド（RAID 再構築）が行われます。

NSB-96SRW シリーズ (HDD モデル）は RAID 管理ユーティリティソフト、「**MegaRAID Storage Manager**」を使用して RAID 作成を行います。
次ページでは、RAID6 作成を例に記載させていただきます。

※ Avago ロゴのデザイン及び、MegaRAIDStorageManager は、AvagoTechnologies の登録商標または商標です。

1 デスクトップの下記アイコンをダブルクリックして「MegaRAID Storage Manager」を起動する。

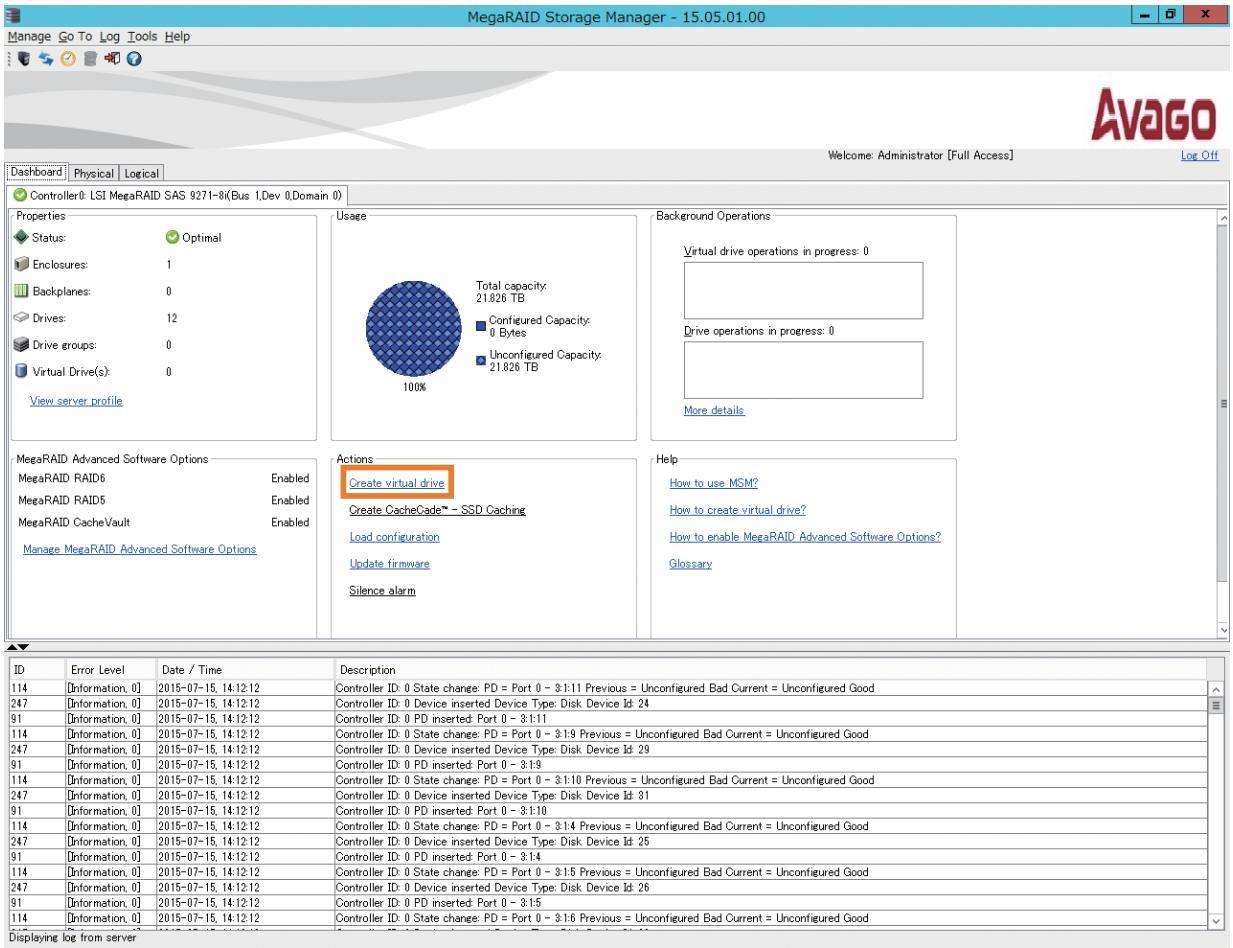
2 下記の画面が表示されたら、「IP Address（例：192.168.1.154）」をクリックする。



3 ログインダイアログが表示されるので、以下のように入力する。

User Name：admin
Password：admin

4 メイン画面が表示されますので、「Actions」の「Create virtual drive」をクリックする。



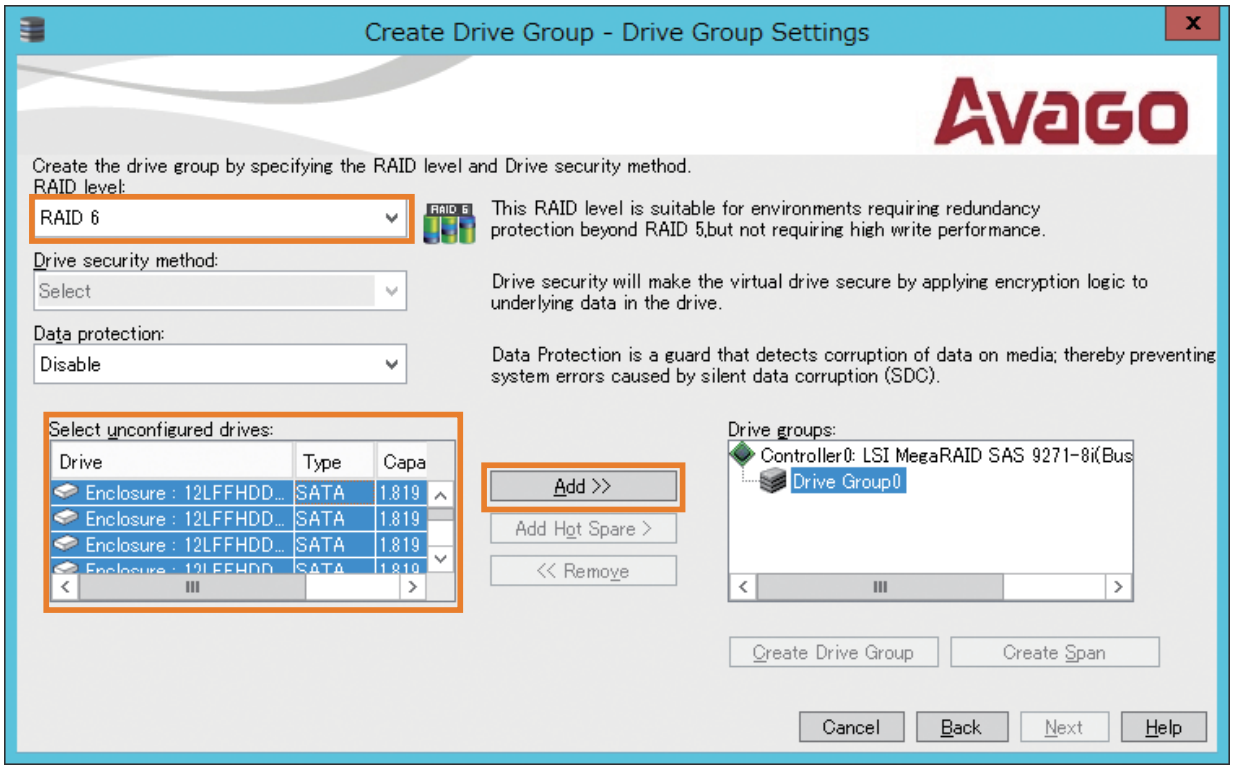
※画面イメージのバージョン番号は、インストールされているバージョンと異なる場合があります。

※ MegaRAIDStorageManager メイン画面構成内容につきましては、Chapter6 付録 6.3 を参照ください。

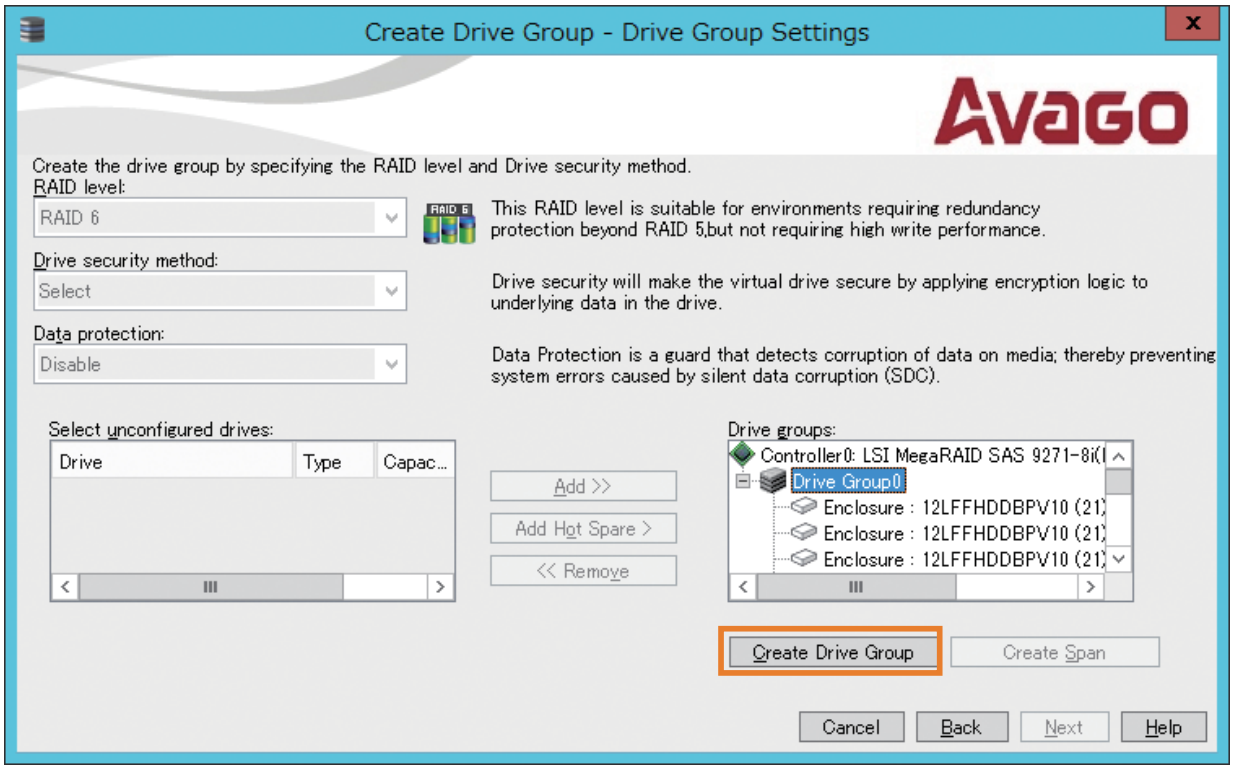
5 「Advanced を選択し「Next」ボタンをクリックする。

6 「RAID level: RAID6」を選択する。

7 「Select unconfigured drives」: 12 台すべて選択し「Add」ボタンをクリックする。



8 「Create Drive Group」ボタンをクリックする。

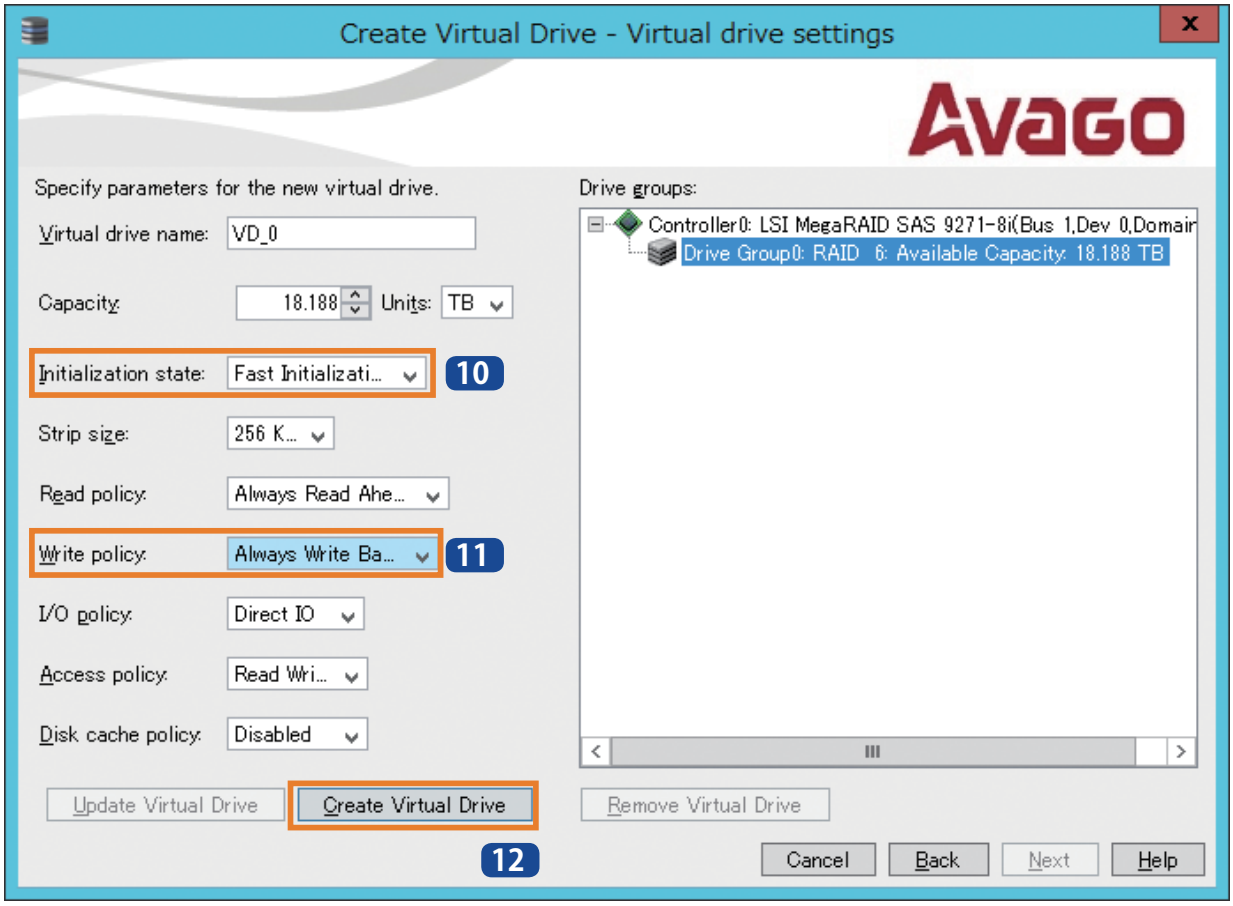


9 「Next」ボタンをクリックする。

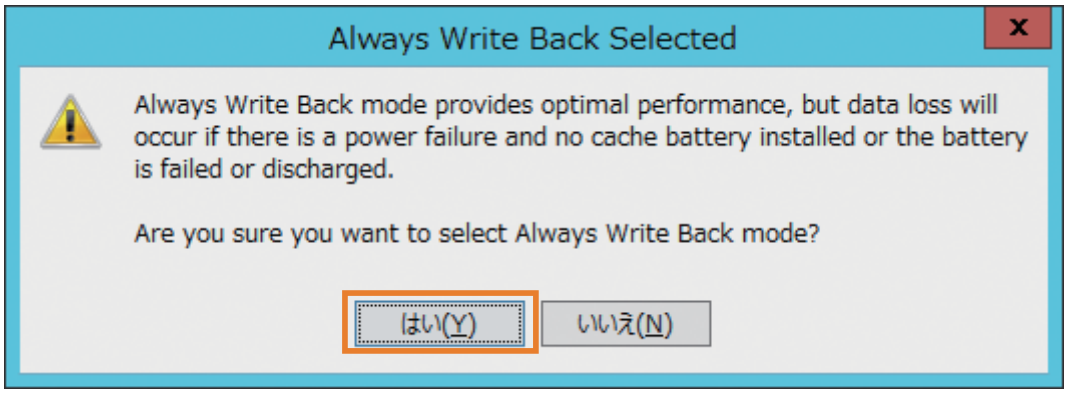
10 「Initialization state: Fast Initialization」を選択する。

11 「Write policy: Always Write Back」を選択する。

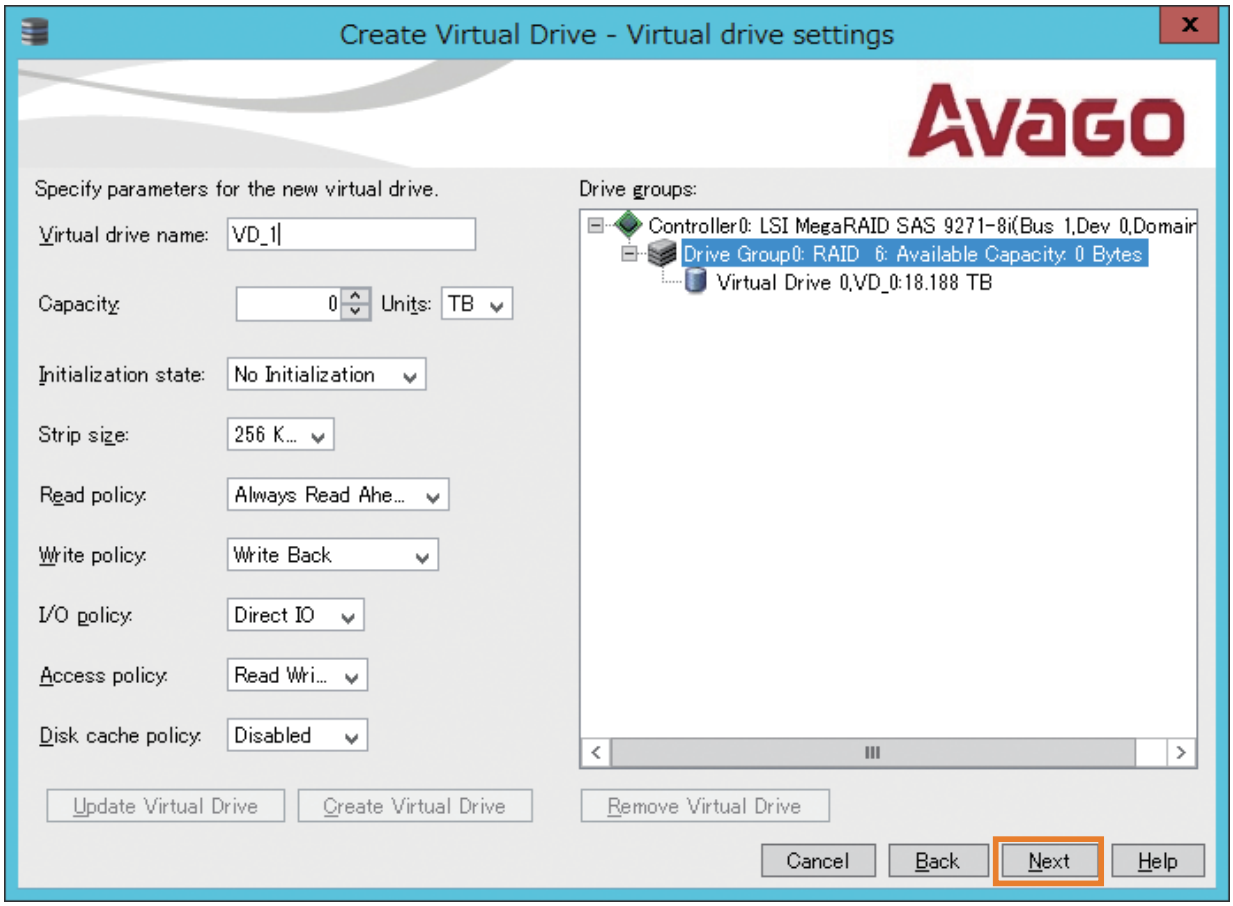
12 「Create Virtual Drive」ボタンをクリックする。



13 下記の画面が表示されたら「はい (Y)」をクリックする。



14 「Next」をクリックする。

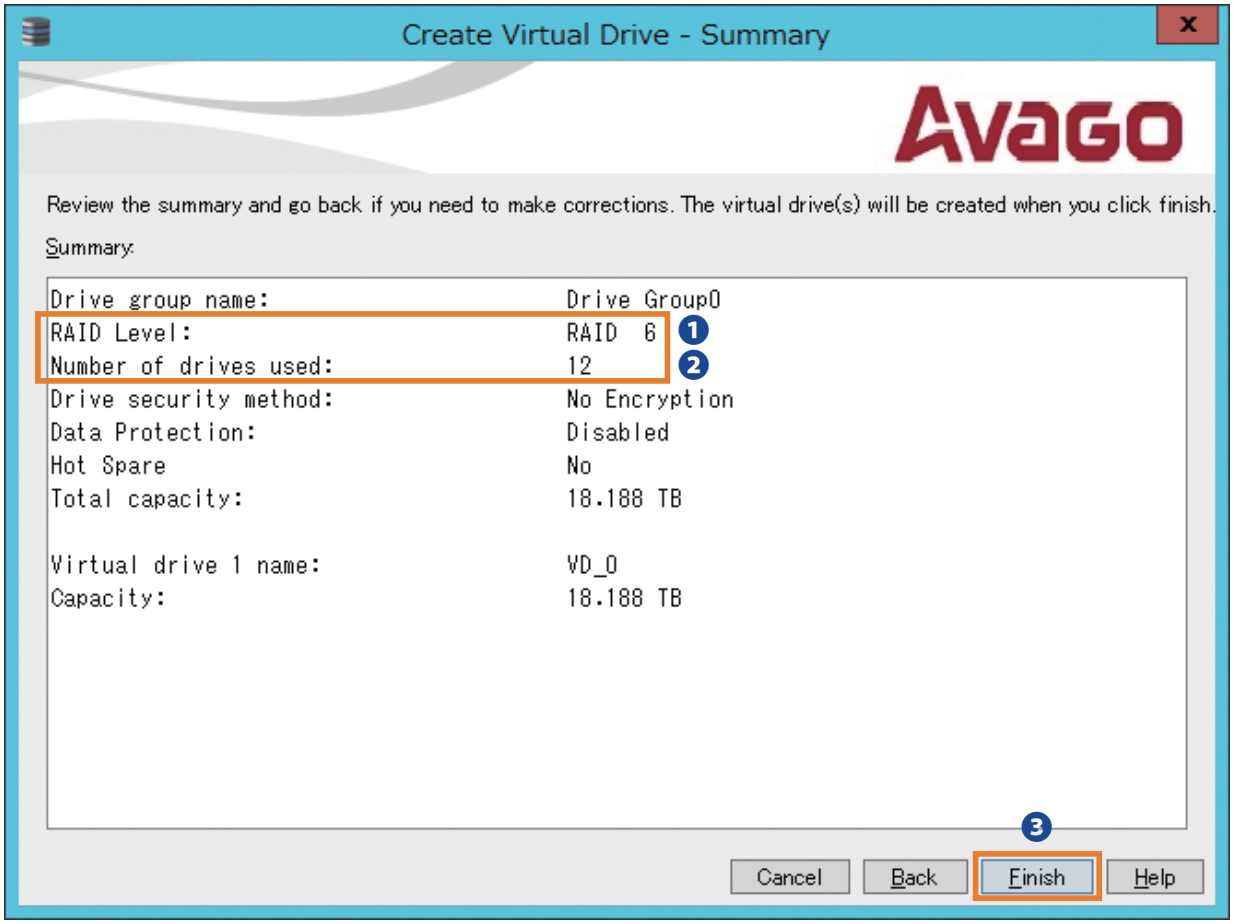


15 「Create Virtual Drive – Summary」の項目を確認する。

❶ RAID Level：RAID6

❷ Number of drives used：12

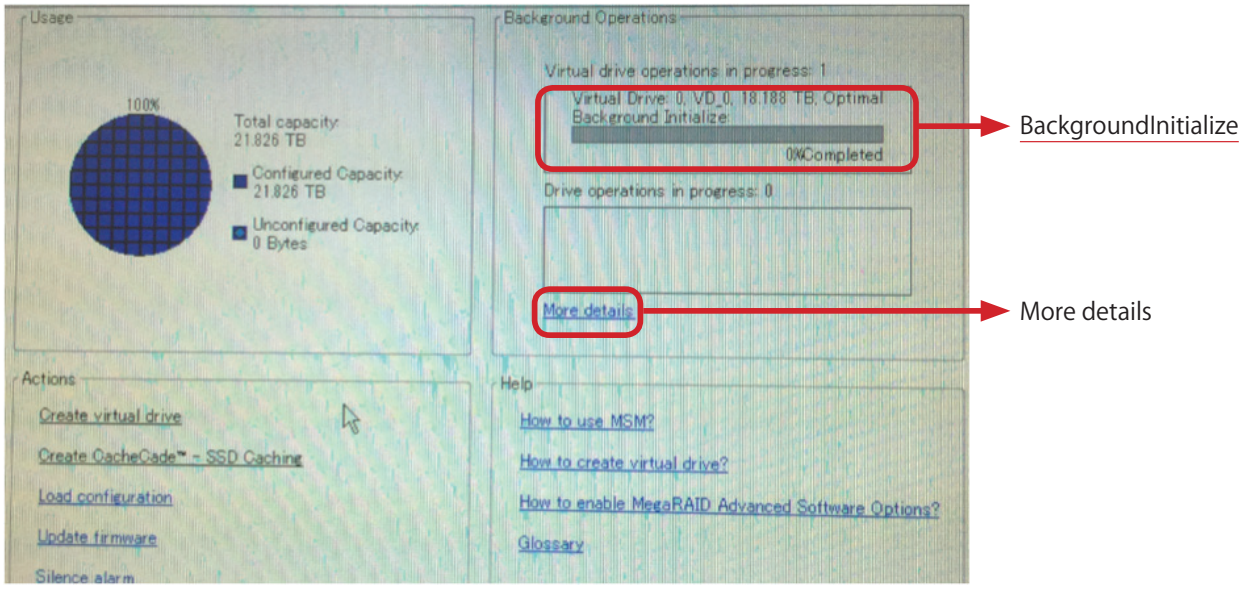
❸ 「Finish」をクリックする。



16 「OK」をクリックすると、バックグラウンドで RAID 構築が実行されます。RAID6 の場合、およそ以下の時間を要します。

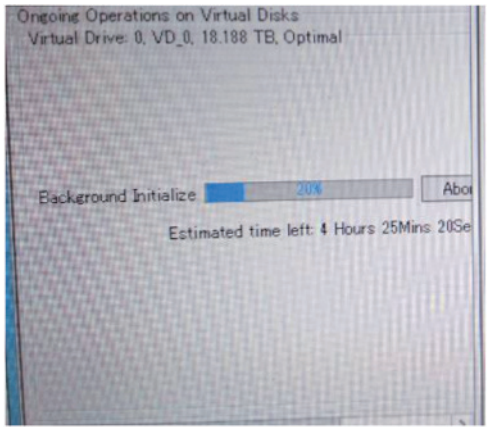
2TB × 12 台：6 時間、3TB × 12 台：9 時間、4TB × 12 台：12 時間

17 1～2 分経過後に「Background Initialize」が表示されます。



18 RAID 構築の進行状況確認方法

「Moredetails」をクリックいただくと、おおよその RAID 構築完了時間を把握する事が可能です。



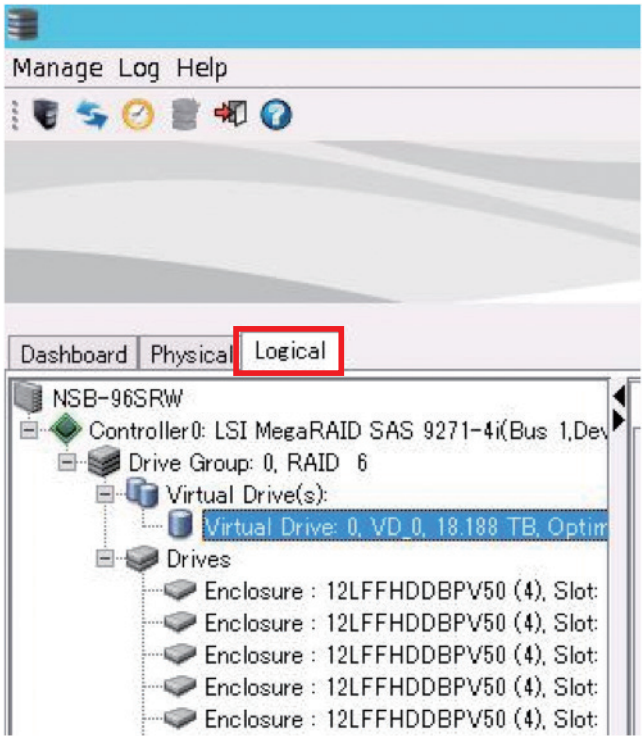
19 「Background Initialize」表示が消えれば RAID 構築完了です。

また、「Description」に「Background Initialization completed」が表示されます。

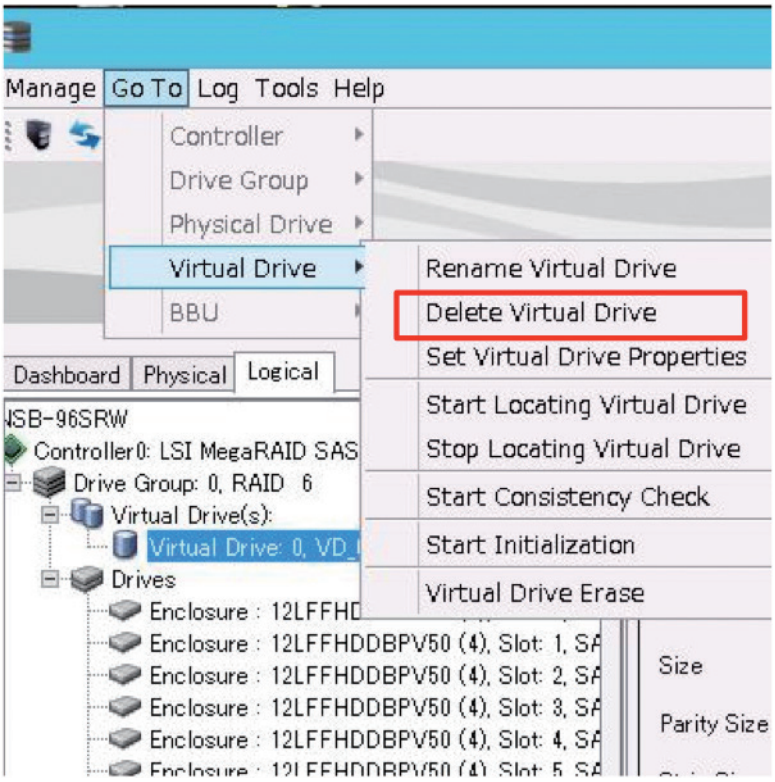
■参考①　論理ドライブの削除

RAID の削除は、MegaRAIDStorageManager メイン画面（P42 参照）より実行します。

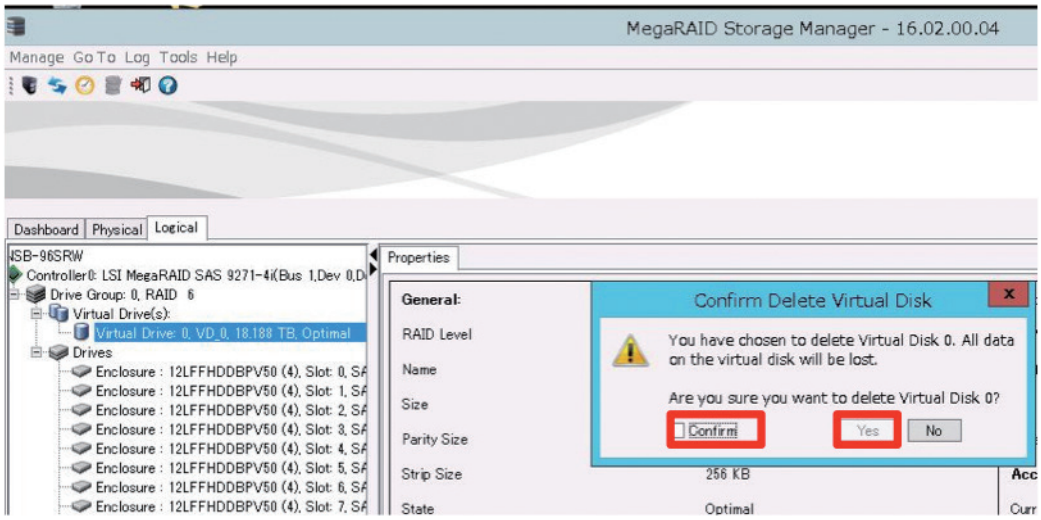
1. メイン画面の【Logical】ビューから、削除する論理ドライブ【VirtualDrive】をクリックします。



2. メニューバーより、【Go To】－【VirtualDrive】－【DeleteVirtualDrive】をクリックします。



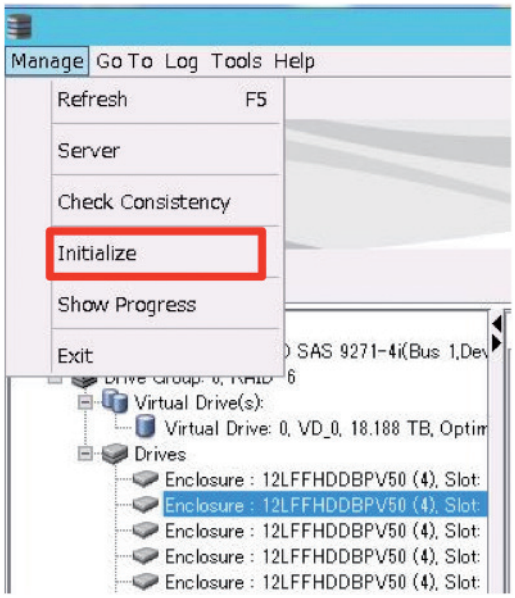
3. 削除確認ダイアログが表示されるので、【confirm】にチェック後、【Yes】ボタンをクリックします。



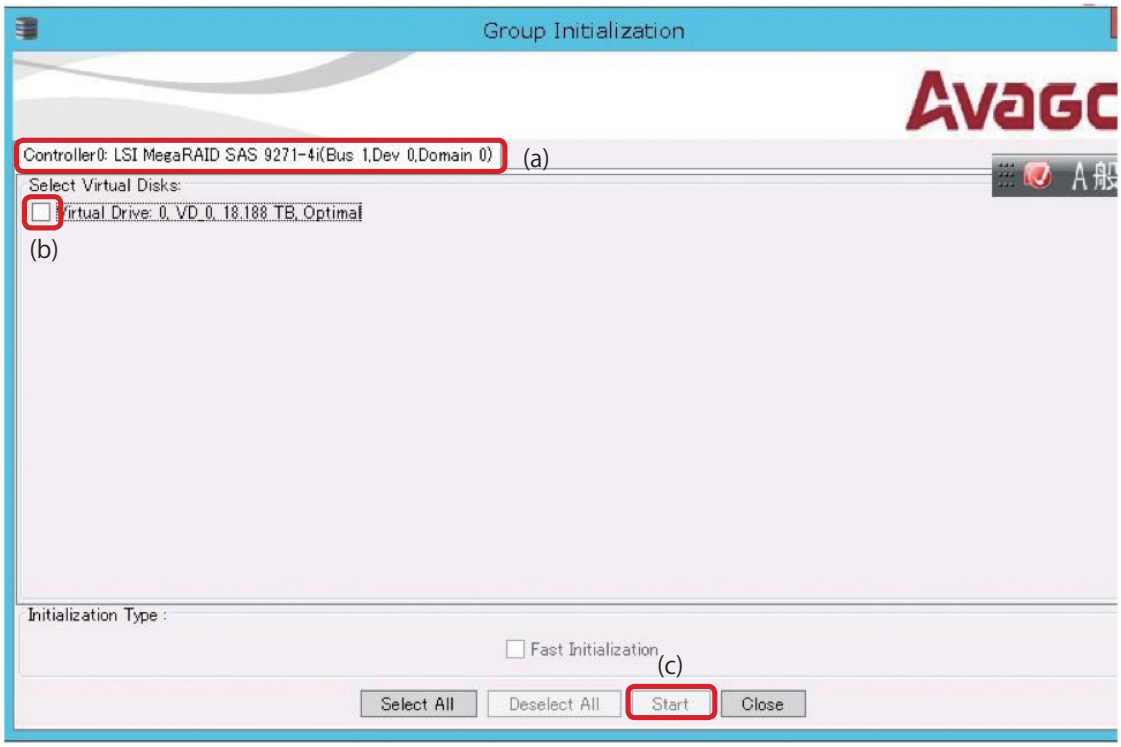
MEMO 削除した論理ドライブ内のデータは全て消失しますので、実行する際は十分に注意下さい。
また、必要なデータはバックアップをお取り下さい。

■参考②　論理ドライブの初期化

1. メイン画面のメニューバーより「【Manage】－【Initialize】をクリックします。

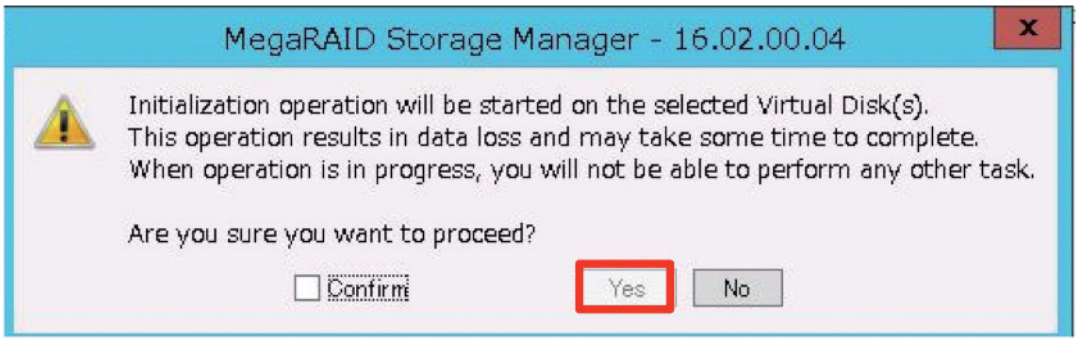


2.【Group　Initialization】画面が表示されます。ディスクアレイコントローラが 2 枚以上搭載されている場合は、対象のディスクアレイコントローラを選択して下さい。・・・(a)
※添付図はディスクアレイコントローラが 1 枚のみの為、選択する必要はありません。
初期化する論理ドライブ【Virtualdrive】にチェック後、・・・(b)
【Start】ボタンをクリックします。・・・(c)



MEMO
正常に動作しないおそれがありますので、「FastInitialization」は使用しないで下さい。
OS がインストールされている論理ドライブは「GroupInitialization」画面に表示されません。

3. 初期化実行、確認ダイアログが表示されるので、「YES」ボタンをクリックします。
初期化が開始されます。



MEMO
初期化した論理ドライブ内のデータはすべて消失します。初期化をする場合は十分にご注意ください。
初期化時間はお使いのシステム環境により異なります。

3.1.2　NSB-96S18T12RWS（HDD ＋ SSD モデル）の場合

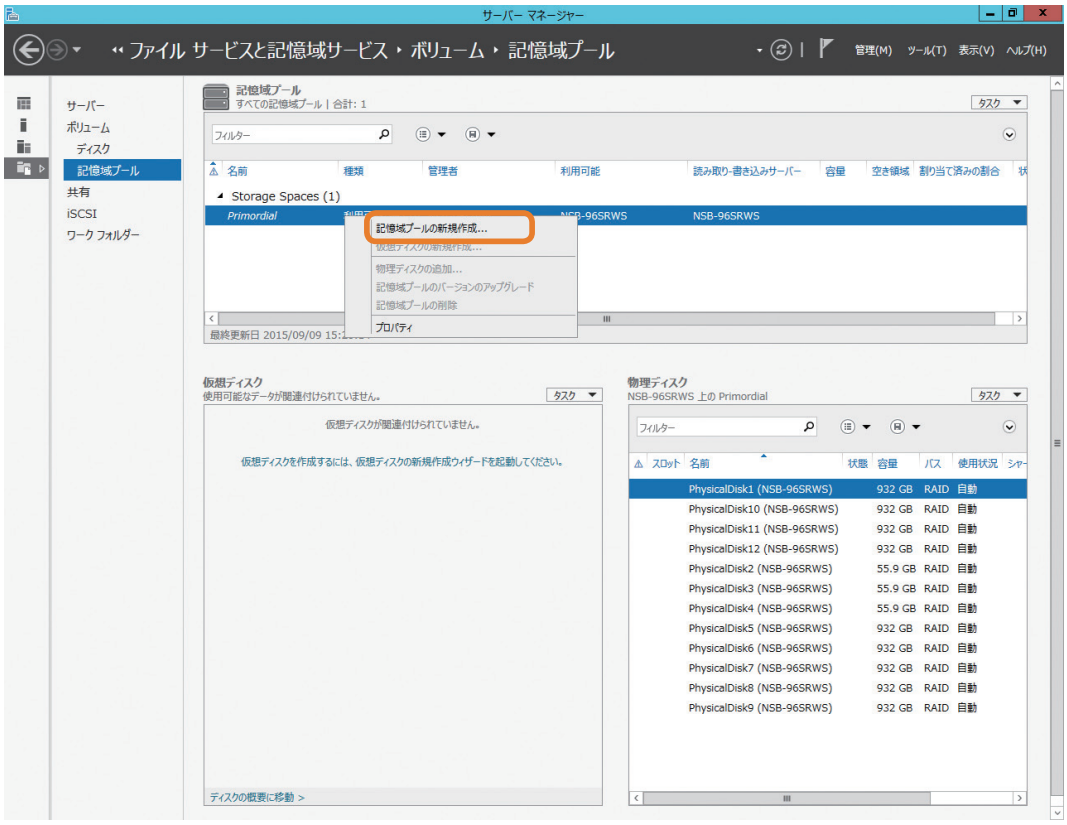
●作成できる記憶域

記憶域	説明
シンプル	データを複数の物理ディスクにまたがるストライプに書き込みますが、冗長性はありません。ディスク障害からの保護は提供されないため、高速性と容量が必要で、ディスク障害でデータが失われてもかまわない場合にのみ使用します。
双方向ミラー、3 方向ミラー	データを複数のディスクにまたがるストライプに書き込み、さらに 1 台（3 方向の場合は 2 台）のディスクにデータのコピーを書き込みます。ディスクの障害からデータを保護し、優れたパフォーマンスを提供します。記憶域プールにいくつかの SSD を追加し、記憶域階層を使用する場合にお勧めです。 ※工場出荷時は 3 方向ミラーにて設定されています。
シングルパリティ、 デュアルパリティ	データを複数の物理ディスクにまたがるストライプに書き込み、さらに 1 つ（デュアルパリティの場合は 2 つ）のパリティ情報のコピーも書き込みます。ミラーよりも多くの容量が使用可能です。

NSB-96SRWSシリーズ（HDD+SSDモデル）は**「サーバーマネージャー」**より、Windows標準の記憶域プールを使用してボリュームを作成します。

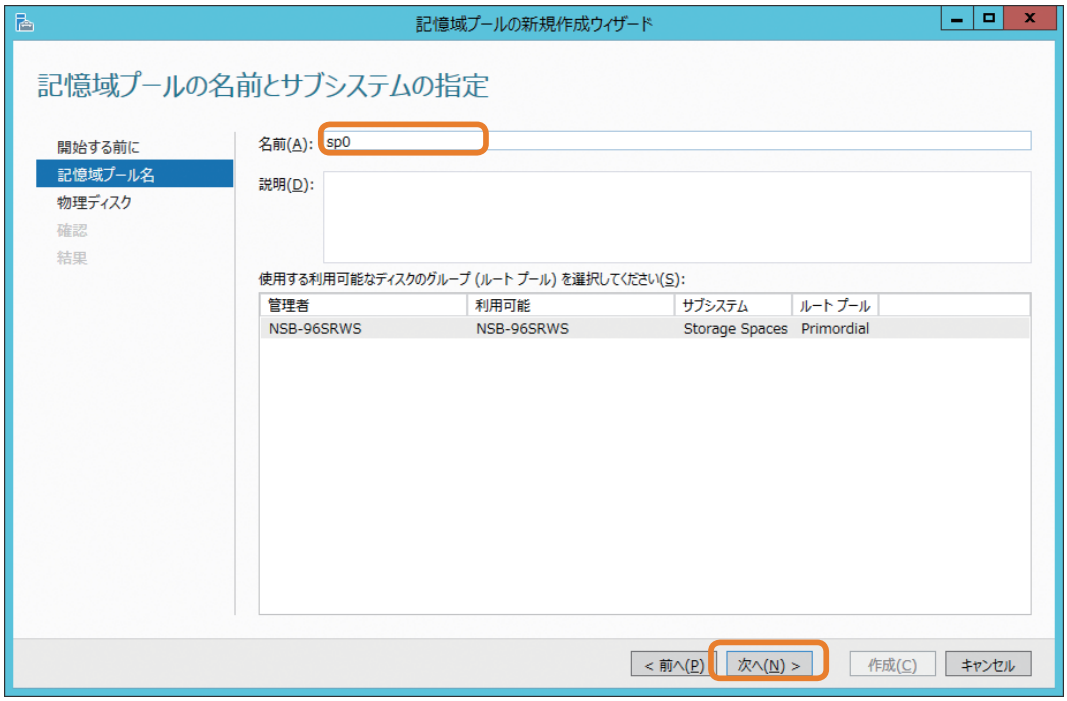
1　**「サーバーマネージャー」から「ファイルサービスと記憶域…」をクリックします。**

2 本製品を選択して右クリックし、「記憶域プールの新規作成」を選択します。

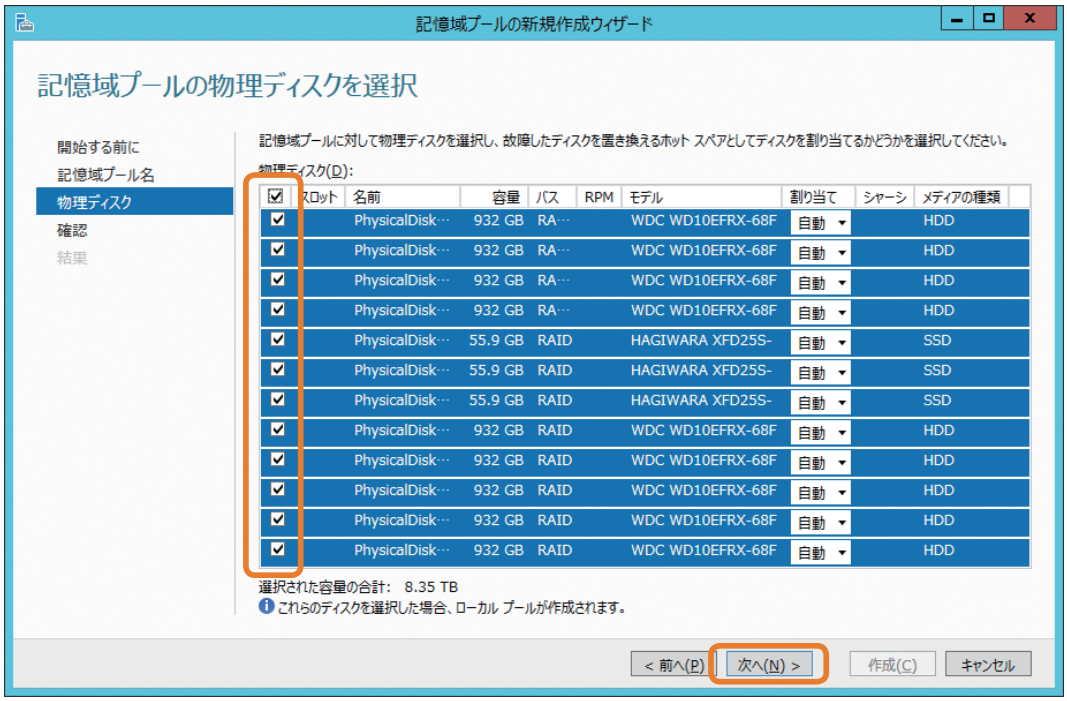


3 表示される内容を確認し、「次へ」をクリックします。

4 「名前」欄に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックします。

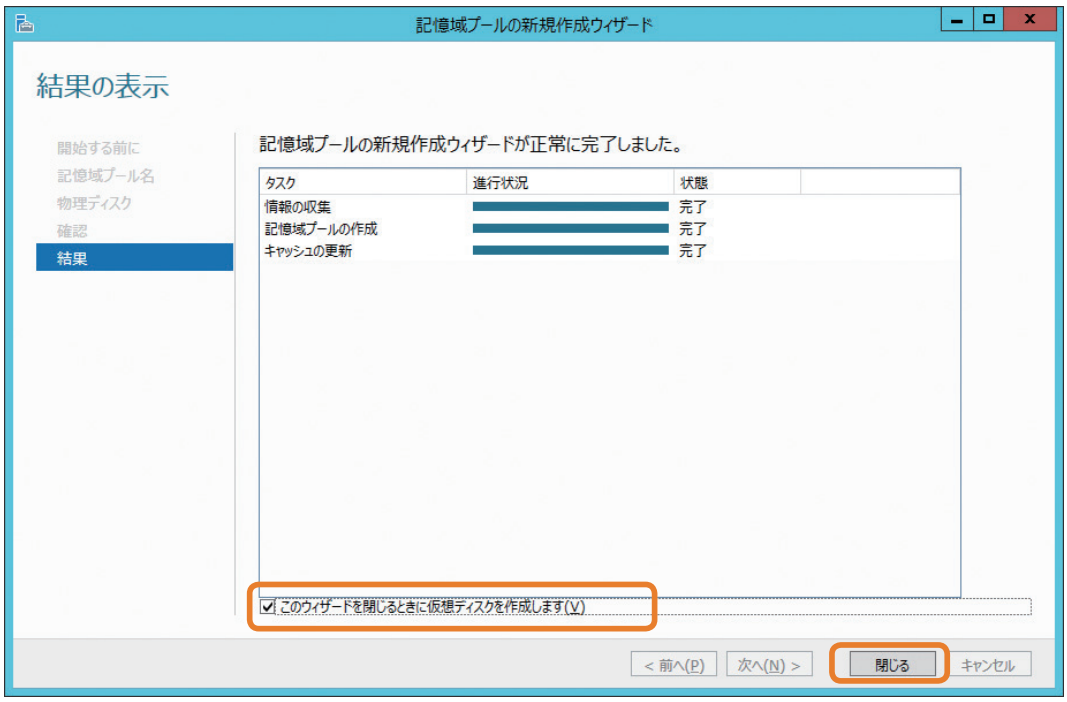


5 記憶域で利用する物理ディスクを選択し、「次へ」を選択します。



6 設定内容を確認し、「作成」をクリックします。

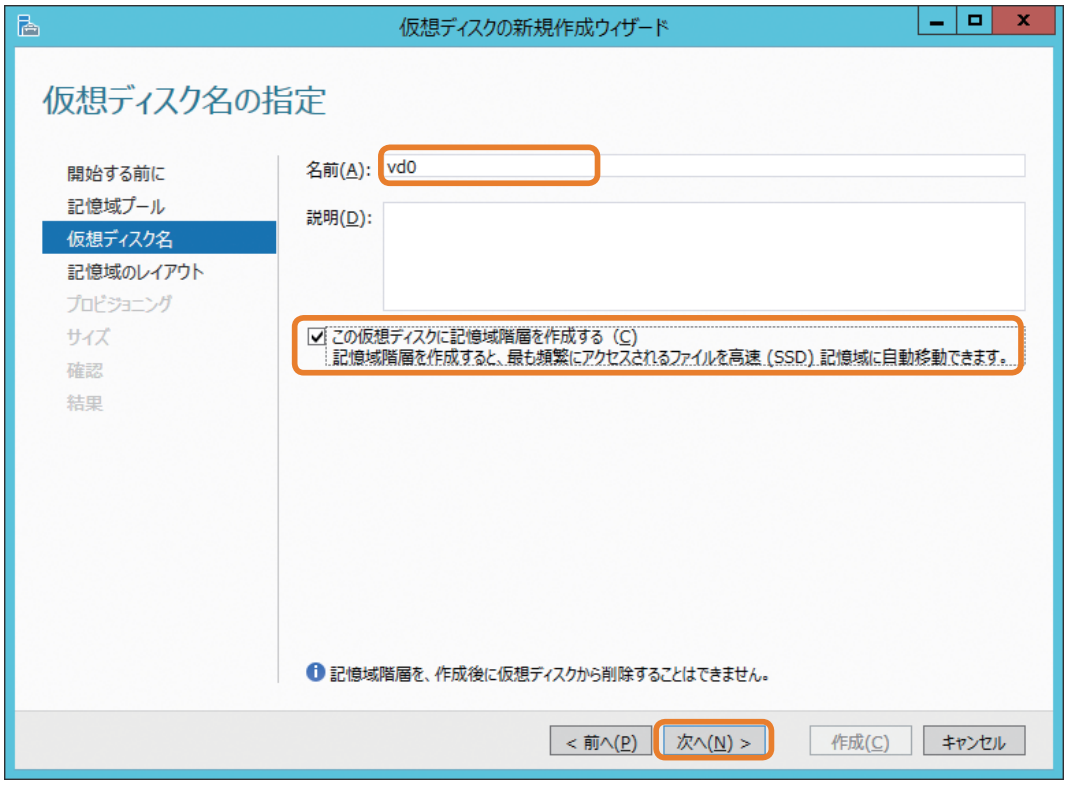
7 「このウィザードを閉じるときに仮想ディスクを作成します」にチェックを入れ、「閉じる」をクリックします。



8 表示される内容を確認し、「次へ」をクリックします。

9 使用する記憶域プールを選択し、「次へ」をクリックします。

10 「名前」欄に任意の名前を入力します。「この仮想ディスクに記憶域階層を作成する」にチェックをいれ、「次へ」をクリックします。



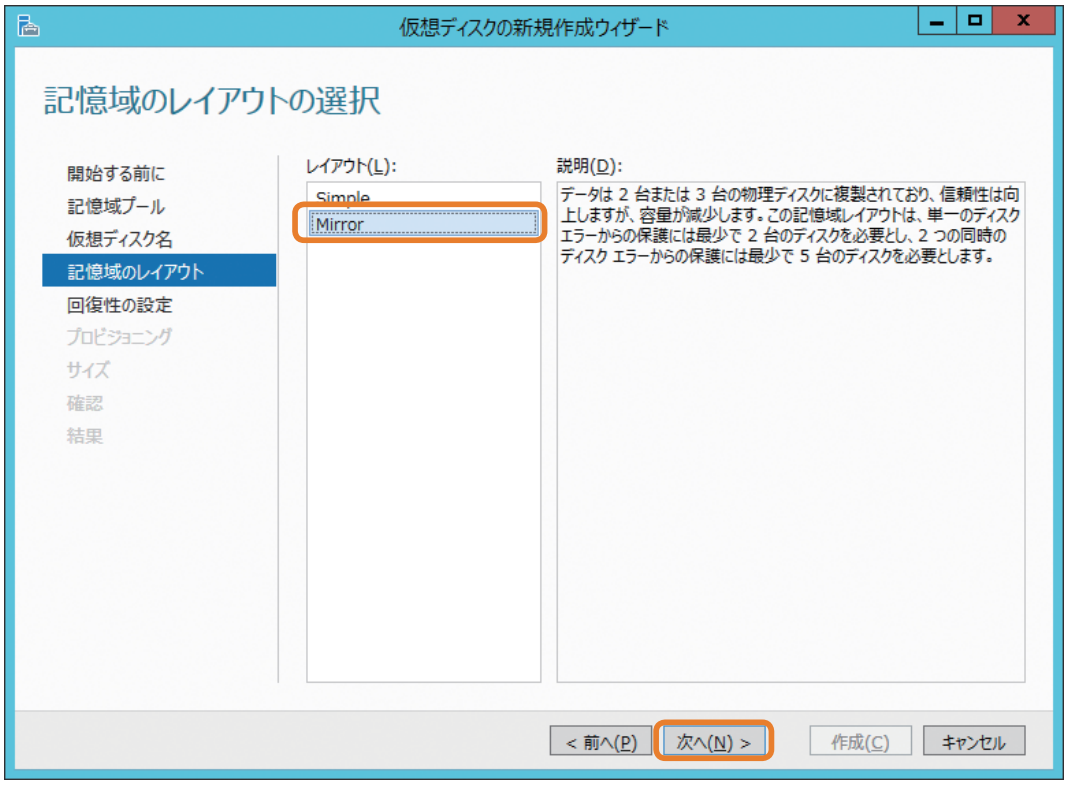
11 作成する記憶域のレイアウトを選択し、「次へ」をクリックします。

(1) Simple

データを複数の物理ディスクにまたがって書き込みます。冗長性はありません。ディスク障害からの保護は提供されないため、高速性と容量が必要で、ディスク障害でデータが失われても構わない場合にのみ使用します。

(2) Mirror

データが 2 台 (3 方向の場合は 3 台) のディスクに複製されています。ディスク障害からデータを保護しますが、使用可能な容量は減少します。



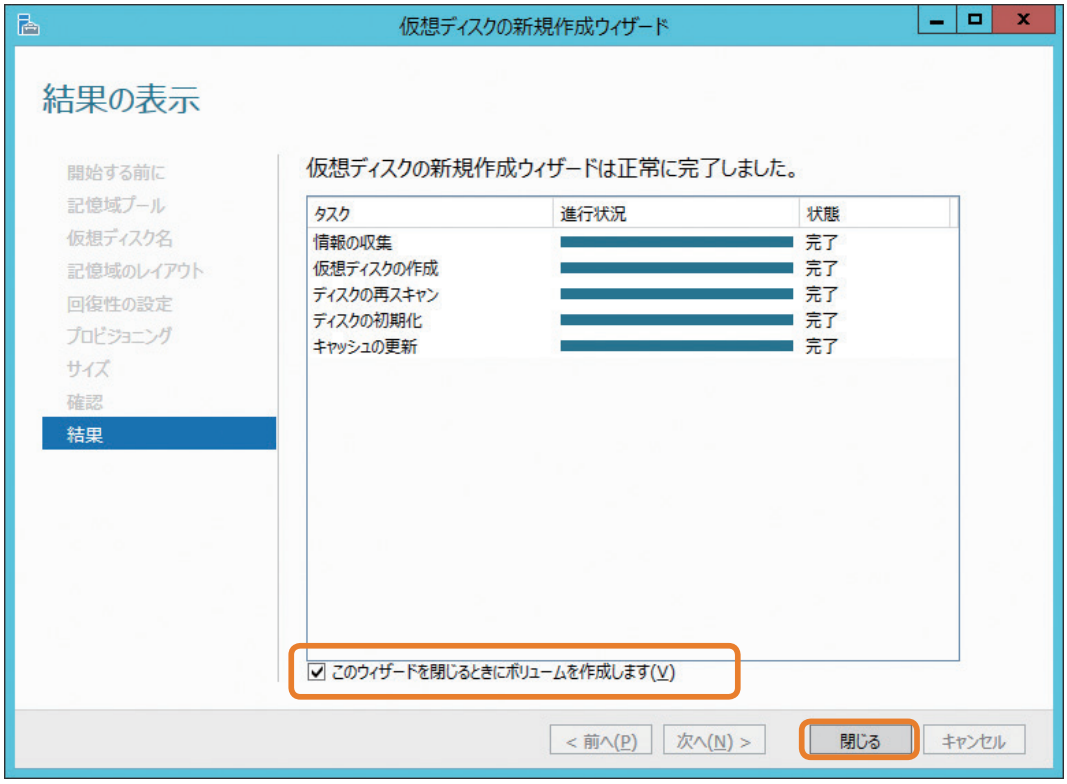
12 回復性の設定を選択し、「次へ」をクリックします。

13 プロビジョニングの種類に、「固定」を選択し、「次へ」をクリックします。

14 仮想ディスクのサイズに「最大サイズ」を選択し、「次へ」をクリックします。

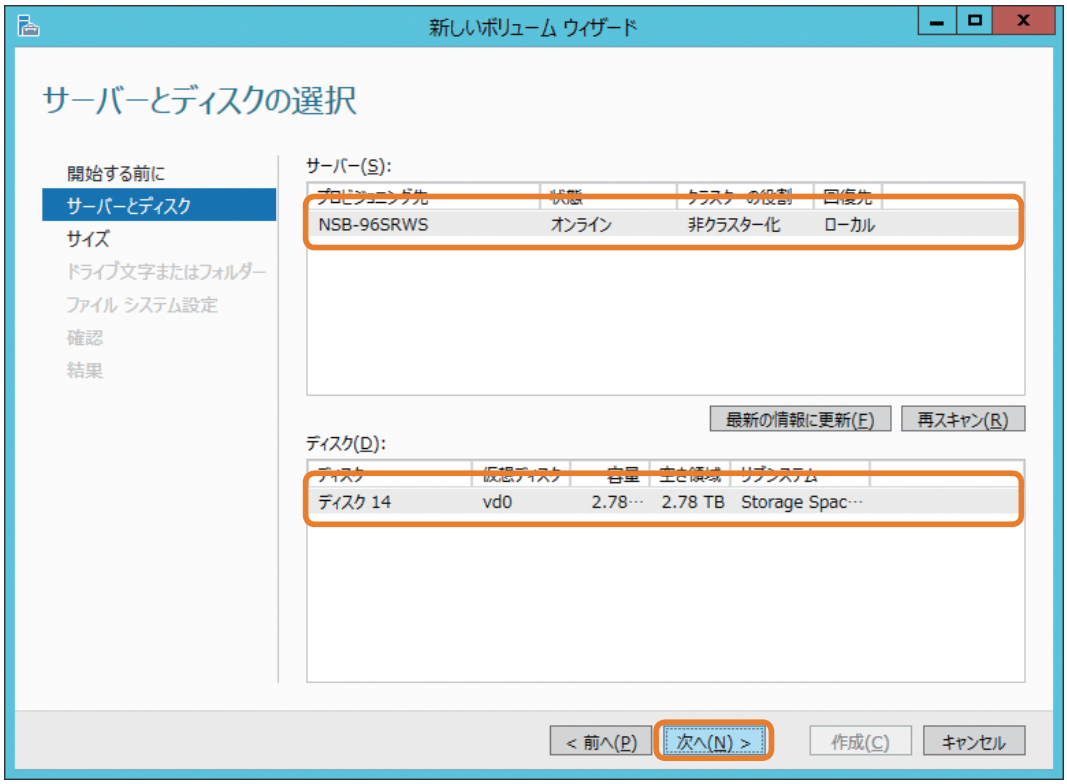
15 設定内容を確認し、「作成」をクリックします。

16 「このウィザードを閉じるときにボリュームを作成します」にチェックをいれ、「閉じる」をクリックします。



17 表示される内容を確認し、「次へ」をクリックします。

18 ボリュームを作成するサーバーとディスクを選択し、「次へ」をクリックします。



19 作成するボリュームのサイズを入力し、「次へ」をクリックします。

20 割り当てるドライブ文字を選択し、「次へ」をクリックします。

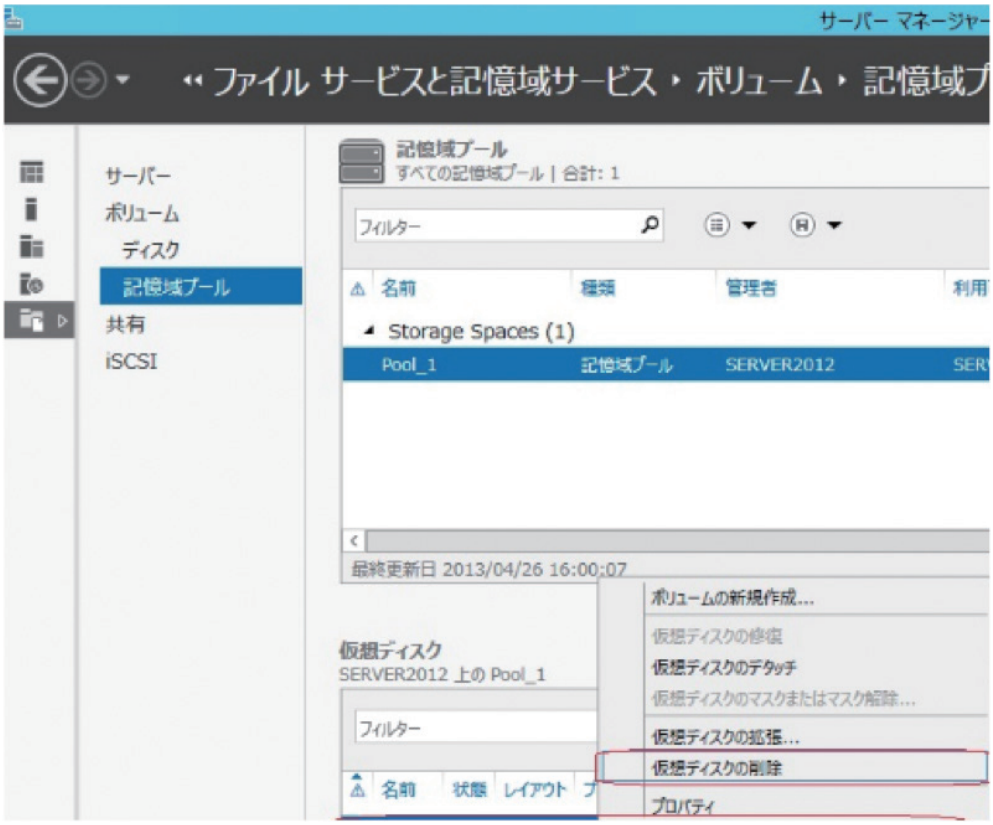
21 ボリュームラベルに任意の名称を入力し、「次へ」をクリックします。

22 内容を確認し、「作成」をクリックします。

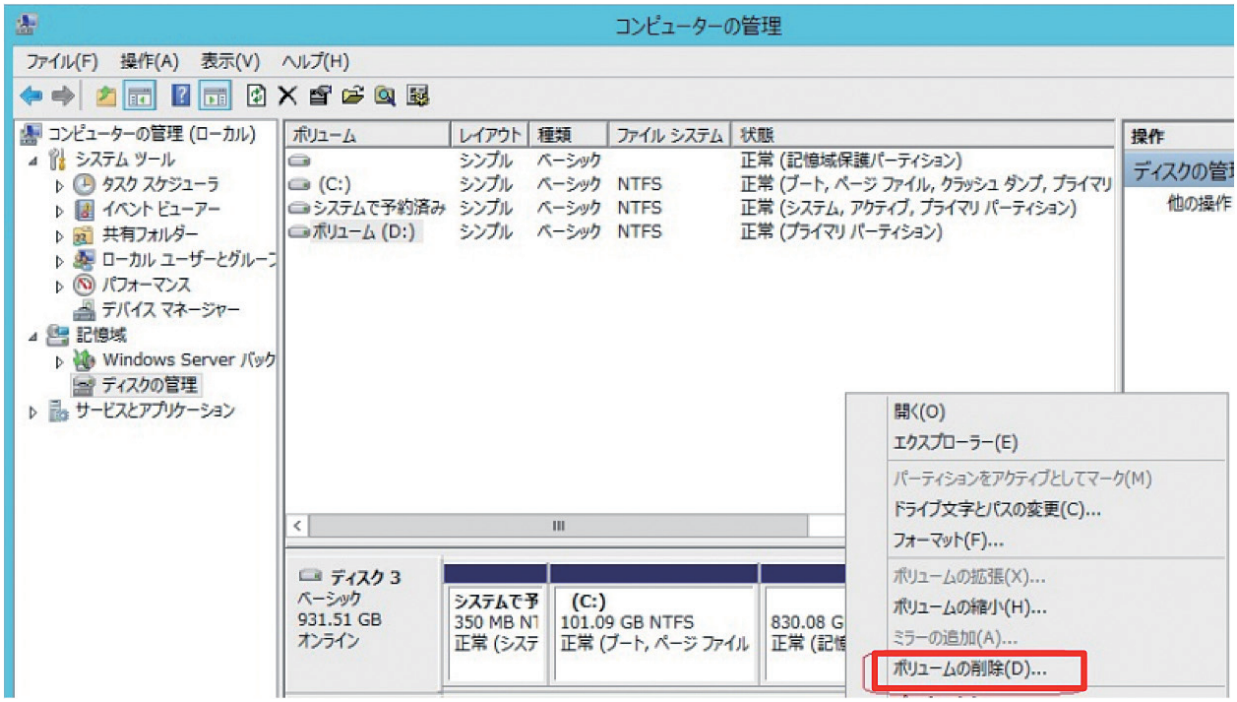
23 “新しいボリューム ウィザードを正常に完了しました。“と表示されたら仮想ディスクの作成は完了です。

■参考　記憶域プールの削除

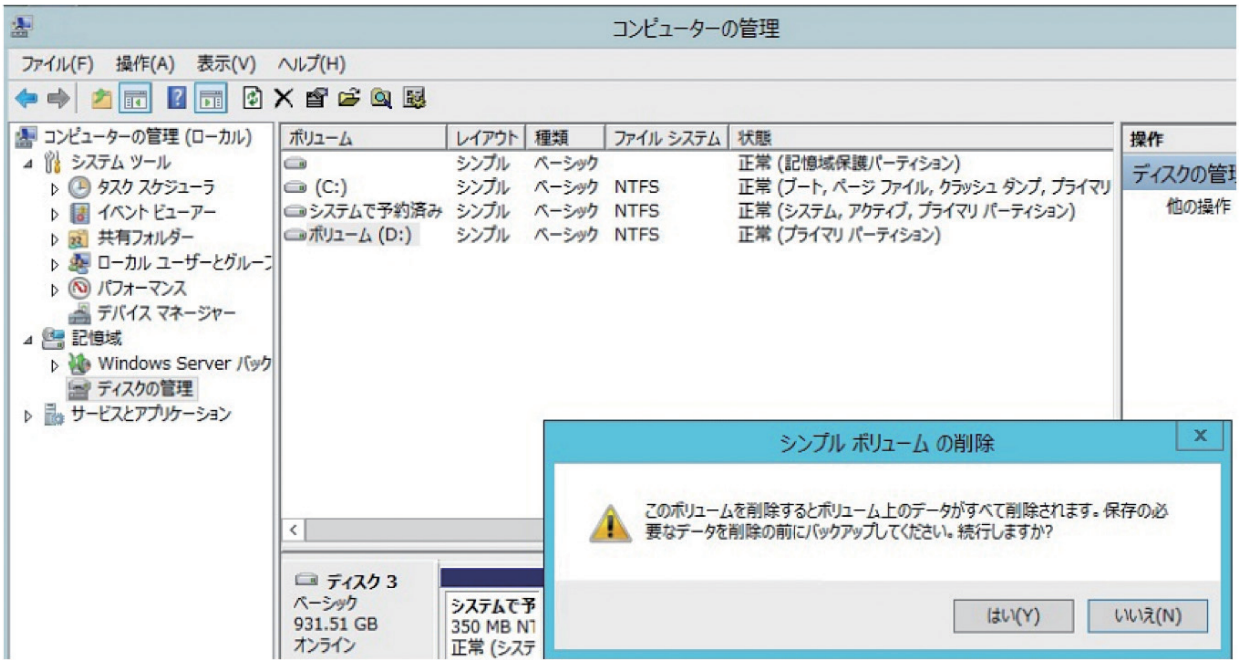
1．サーバーマネジャーを開き、「ファイルサービスと記憶域サービス」→「ボリューム」→「記憶域プール」と進みます。



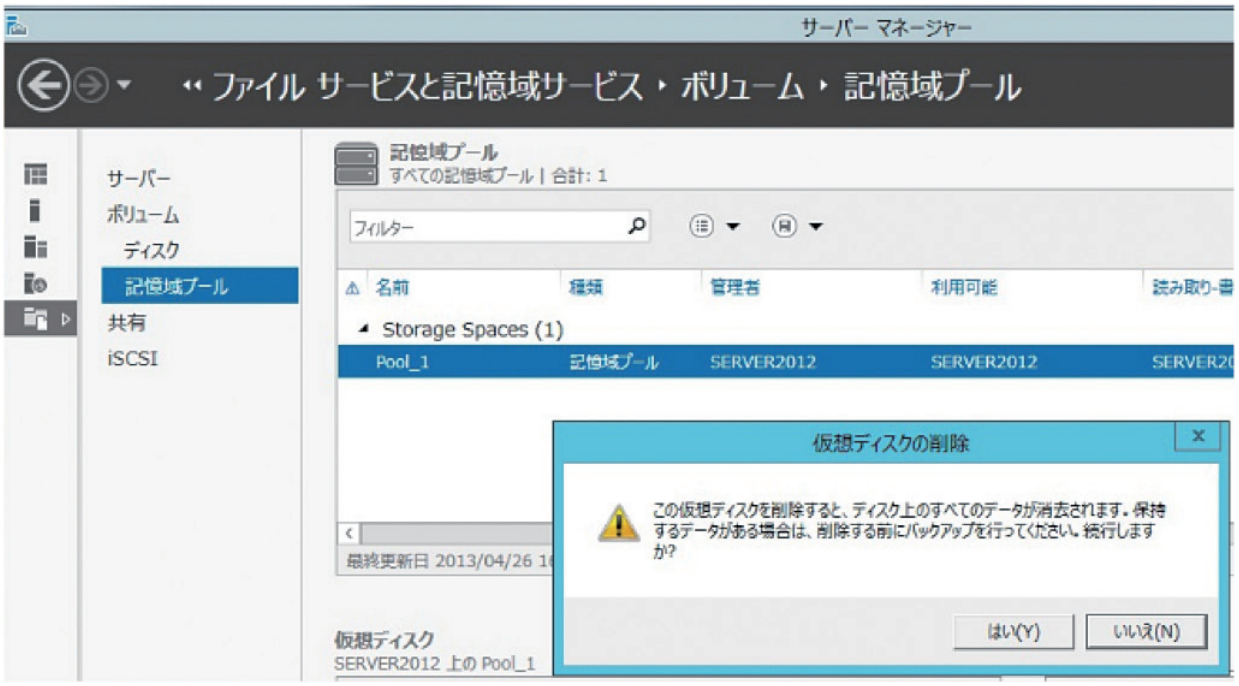
2．いきなり記憶域プールは削除できない為、まずボリュームを削除します。具体的には、「コンピューターの管理」→「ディスクの管理」からボリュームの削除をクリックします。



3．本当に削除していいか確認してきます。もし大事なデーターがあれば別の場所に移動してください。

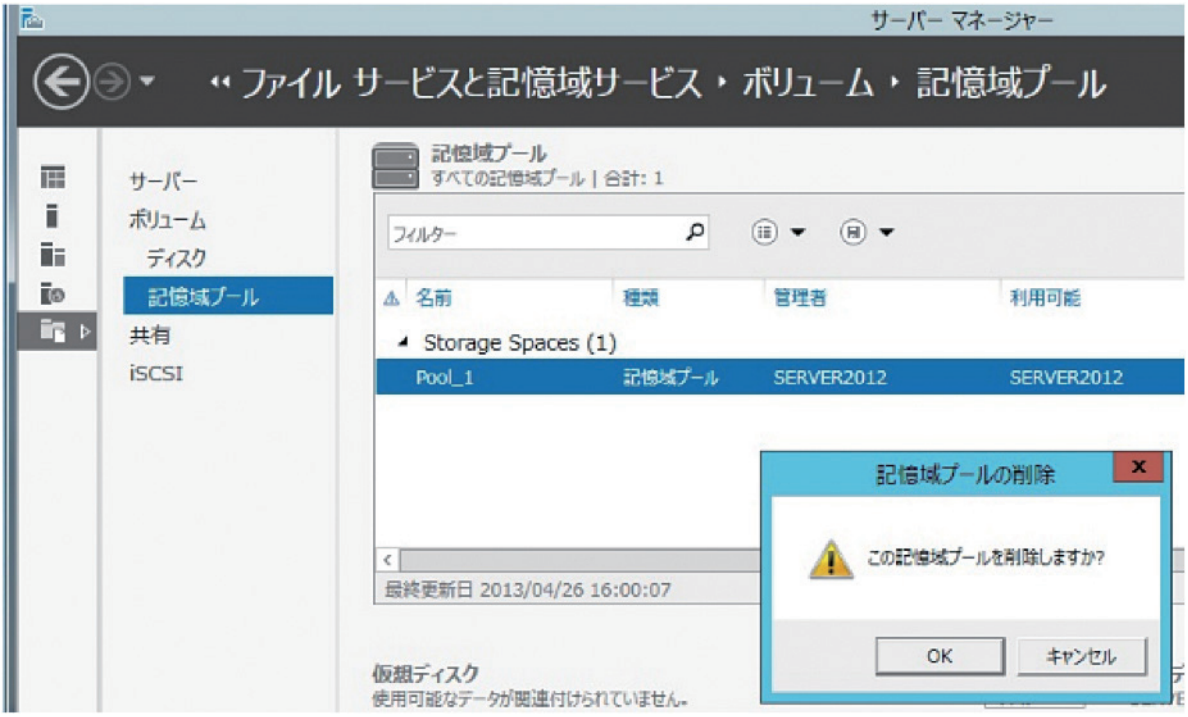


4．仮想ディスク内の削除対象ディスクを右クリックし「仮想ディスクの削除」をクリックします。



5．再度、削除してよいか確認が入りますので「はい」をクリック。続いて、上にある記憶域プールにある削除ディスク（ここでは「pool1」）を右クリックし「記憶域プールの削除」をクリックします。

6．再度確認してきますので、「OK」をクリック。



3.2 故障時のハードディスク交換手順

ハードディスクが故障したときは、次の手順でハードディスクを交換します。

3.2.1 ランプの確認

ハードディスクが故障するとHDDトレイのエラーランプが点灯します。

❶ HDDアクセスランプ

赤色点灯：
本製品内蔵のハードディスクが故障しています。

❷ HDDステータスランプ

青色点灯：
対象のハードディスクは正常に稼働しています。

3.2.2 ご注意ください

- お使いの製品型番に対応した交換用ハードディスクに交換してください。それ以外のハードディスクと交換しないでください。交換した場合、本製品が故障する恐れがあります。対応した交換用ハードディスクについては、当社ホームページをご参照ください。
- 交換用ハードディスクは、故障したハードディスクと同容量のものをご用意ください。

- 本製品は精密な機器です。落としたり衝撃を与えたりしないよう慎重に作業を行ってください。
- 本製品内部の金属部分で手をけがしたり、本製品を落としてけがしたりしないよう慎重に作業を行ってください。
- ハードディスクを交換するときは、本書で指示されていない部分は絶対に分解しないでください。本製品の分解によって生じた故障や破損は、当社の保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。
- 静電気による破損を防ぐため、身近な金属 (ドアノブやアルミサッシなど) に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- ハードディスクの順番を入れ替えないでください。順番を変更した場合、本製品のデータを破損、消失する恐れがあります。
  例)　ディスク 1 のハードディスクを抜き出し、ディスク 2 で使用していたハードディスクと差し替えるなど。
- ファイルの保存中にハードディスクを交換するとファイルが破損する恐れがあります。必ず作業中のファイルは保存を完了してから作業してください。

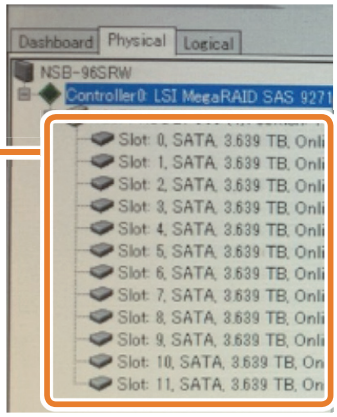
3.2.3　NSB-96S24T12RW,NSB-96S48T12RW（HDD モデル）の場合

1　障害が発生したディスクを交換します。本製品は、電源が入ったままディスクの交換ができます。

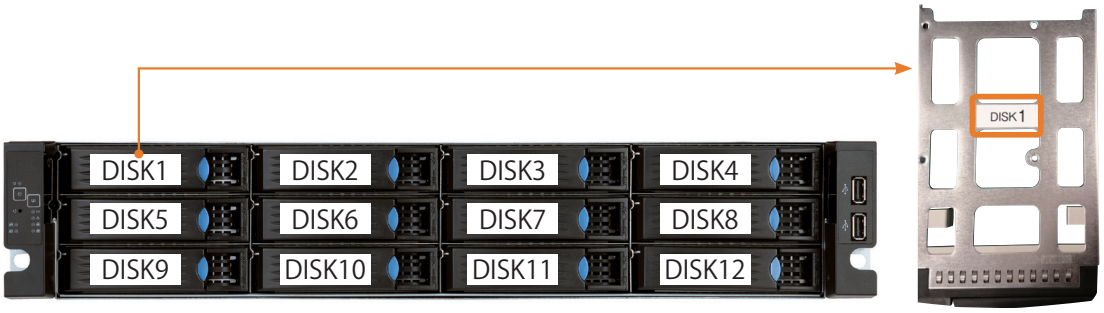
故障したハードディスク交換にあたっては、
下記ディスク情報を参照の上、
誤ったディスクを取り外さない様、注意してください。

●管理コンソール (MegaRAIDStorageManager) 上のディスク番号表記

管理コンソール上のディスク番表記は、
Slot0 ～ Slot11 となります。
管理コンソールと HDD トレイにおける
ディスク番号表記は異なりますので
注意してください。



● HDD トレイ　ディスク番号



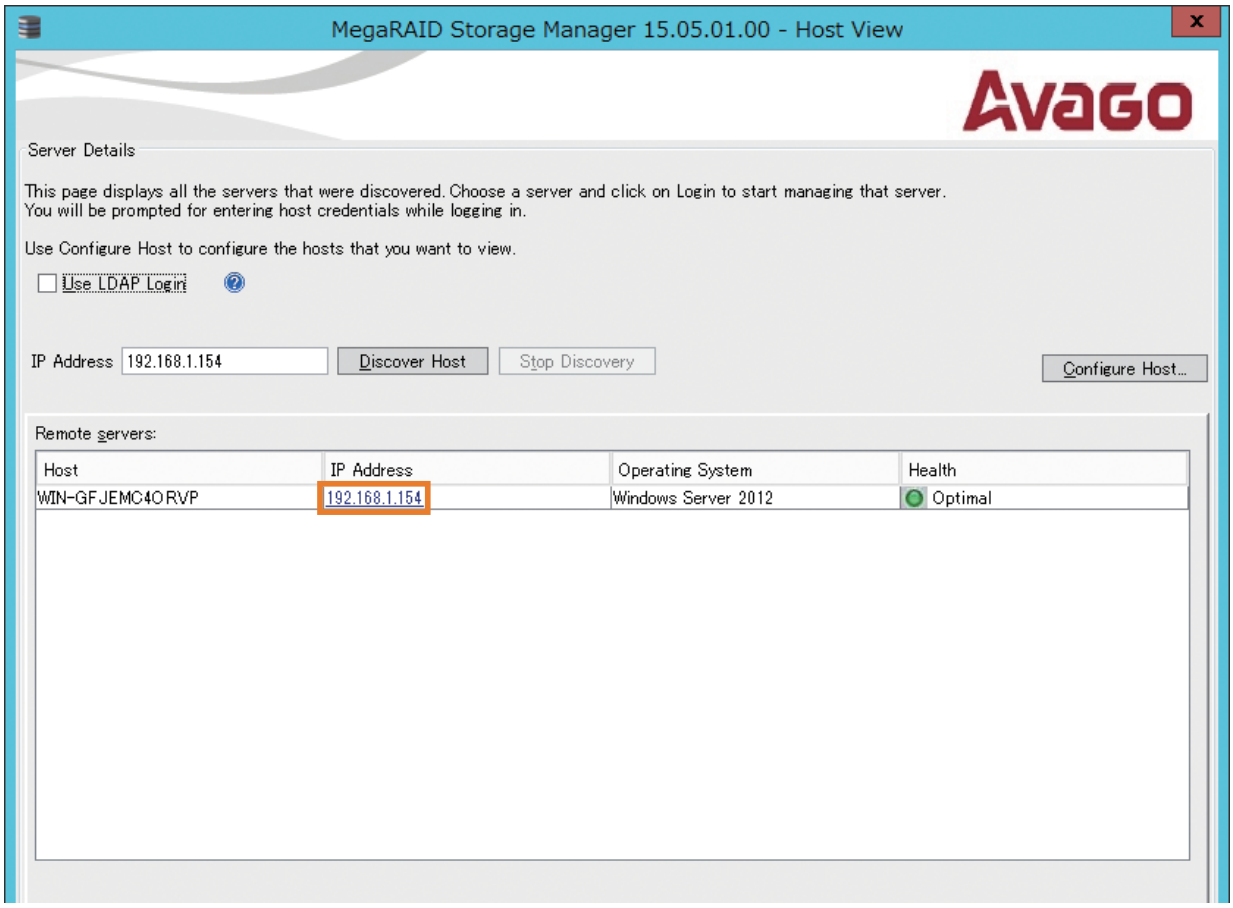
HDD トレイ (背面) にディスク番号を記載したシールが貼られています。
(DISK1 ～ DISK12)

●管理コンソール、HDD トレイ、ディスク番号対照表

確認対象		HDD 番号											
管理コンソール	MegaRAIDStorageManager	Slot0	Slot1	Slot2	Slot3	Slot4	Slot5	Slot6	Slot7	Slot8	Slot9	Slot10	Slot11
HDD トレイ	HDD トレイ　シール	DISK1	DISK2	DISK3	DISK4	DISK5	DISK6	DISK7	DISK8	DISK9	DISK10	DISK11	DISK12

2 **デスクトップの下記アイコンをダブルクリックして「MegaRAID Storage Manager」を起動する。**

3 **下記の画面が表示されたら、「IP Address（例：192.168.1.154）」をクリックする。**



4 ログインダイアログが表示されるので、以下のように入力する。

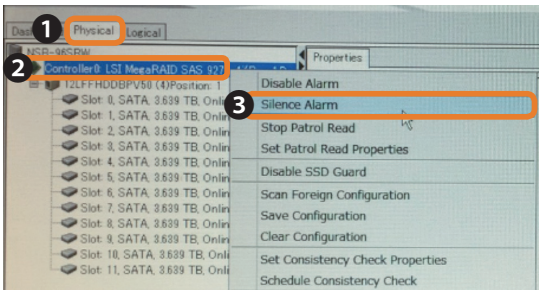
User Name：admin
Password：admin

MEMO

HDD エラー時のビープ音を無音化したい場合は以下の手順で実行可能です。

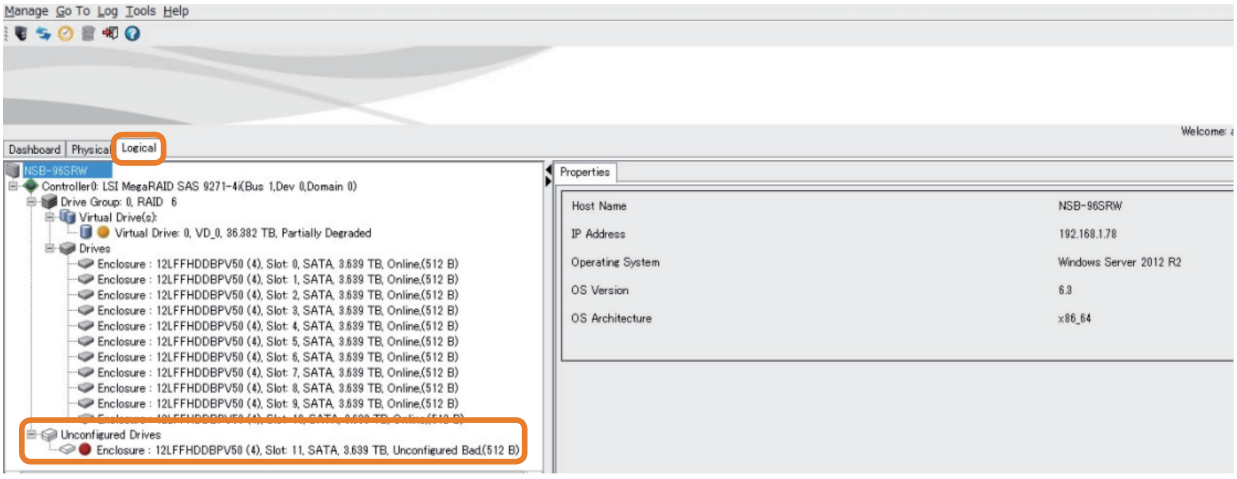
❶ **[Physical タブ]** をクリックする。
❷ 対象の Controller を選択し、右クリックする。
❸ 表示タブより「SilenceAlarm」を選択する。

以上で完了です。



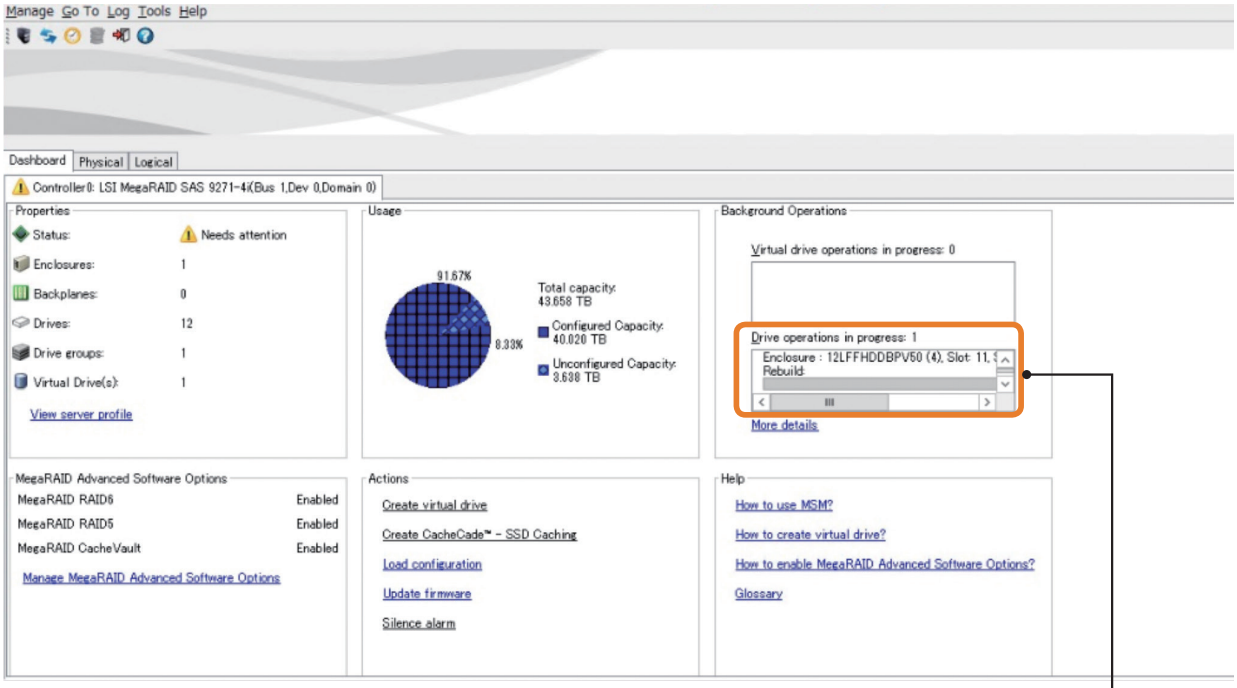
5 「Logical」タブを選択する。

下記画面は、Slot11(Disk12) の HDD を取り外した状態です。



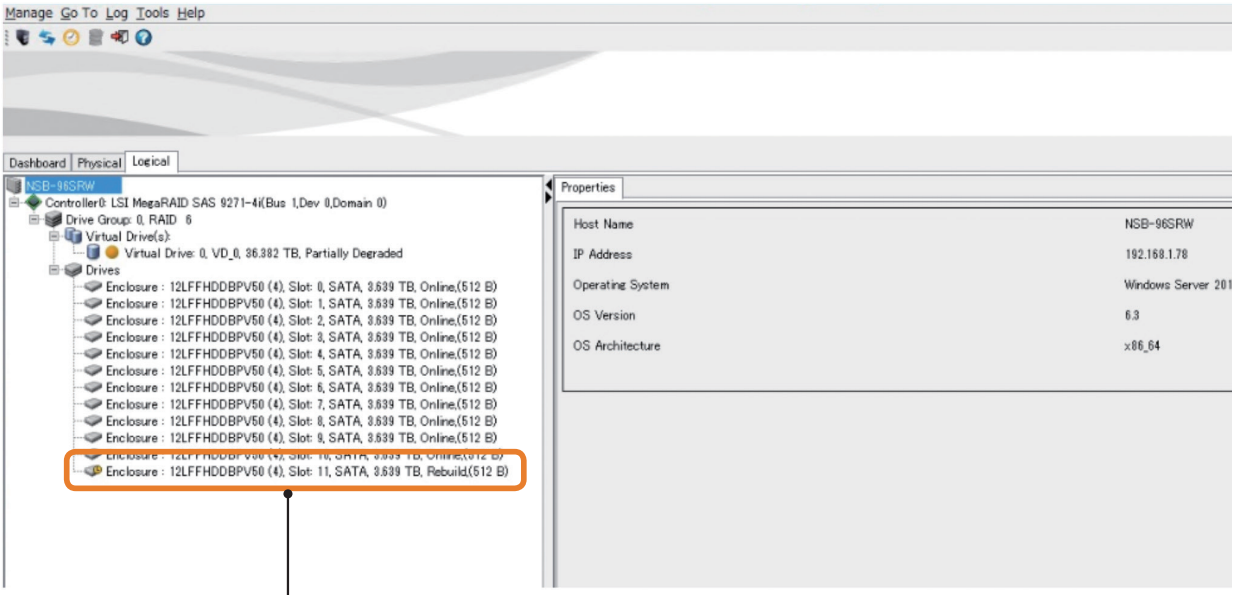
6 **新しい HDD に交換します。本 HDD モデルはディスク交換後、自動でリビルド（RAID 再構築）を開始します。**

［Dashboard］ビュー画面



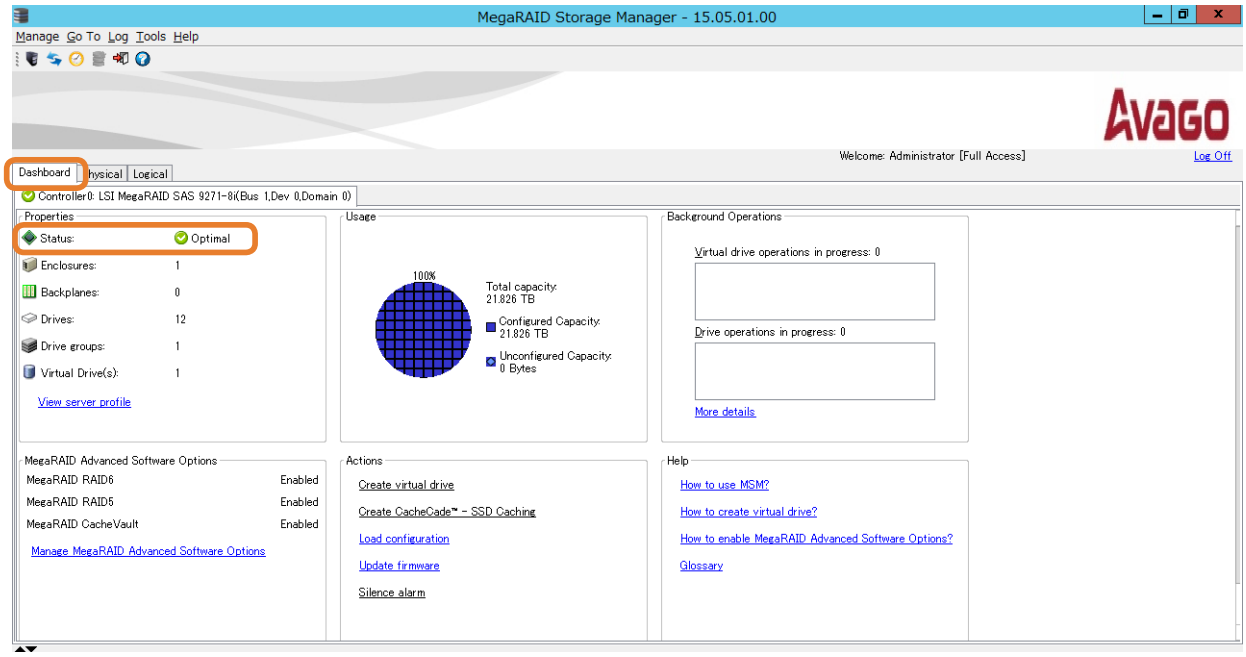
リビルド開始後の進捗状況を確認できます。

［Logical］ビュー画面



交換した「Slot11」がリビルドを開始している状態であることが確認できます。

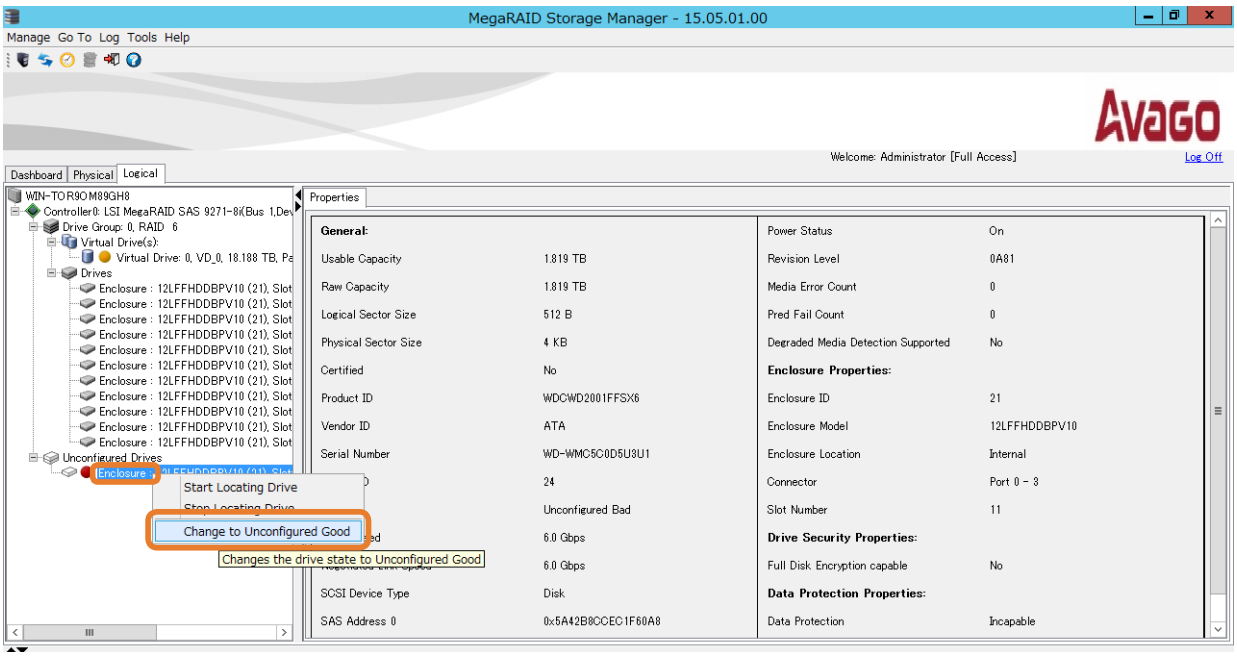
7 **リビルド (RAID の再構築) が開始された後、「Dashboard」タブの「Status」が「Optimal」と表示されたら、再構築は完了です。**



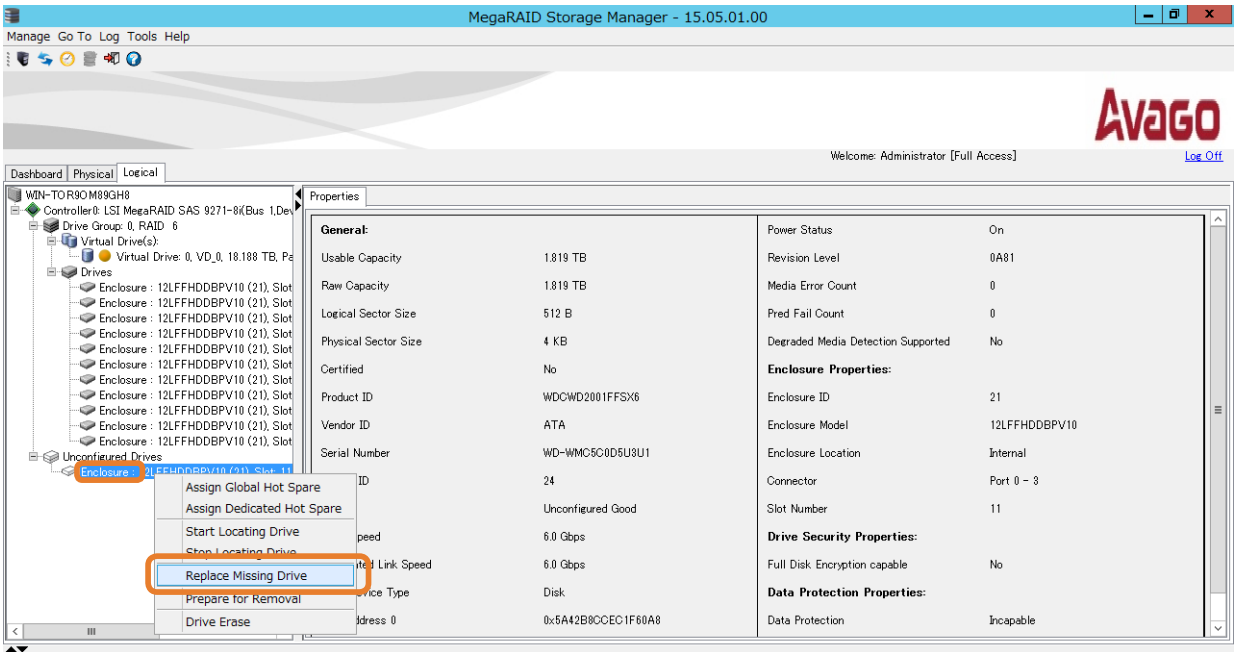
手動でのリビルド開始手順

HDD モデルはディスク交換後、自動でリビルドを開始しますが、万が一、オートリビルドが開始されない場合は下記手順にて、手動でリビルドを開始してください。

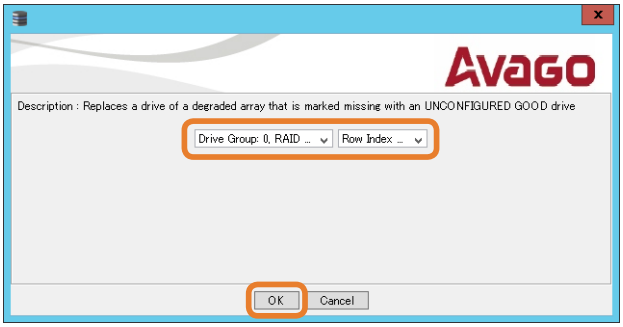
1 **交換対象ディスク Slot の「Enclosure」の項目を右クリックして、「Change to Unconfigured Good」を選択する。**



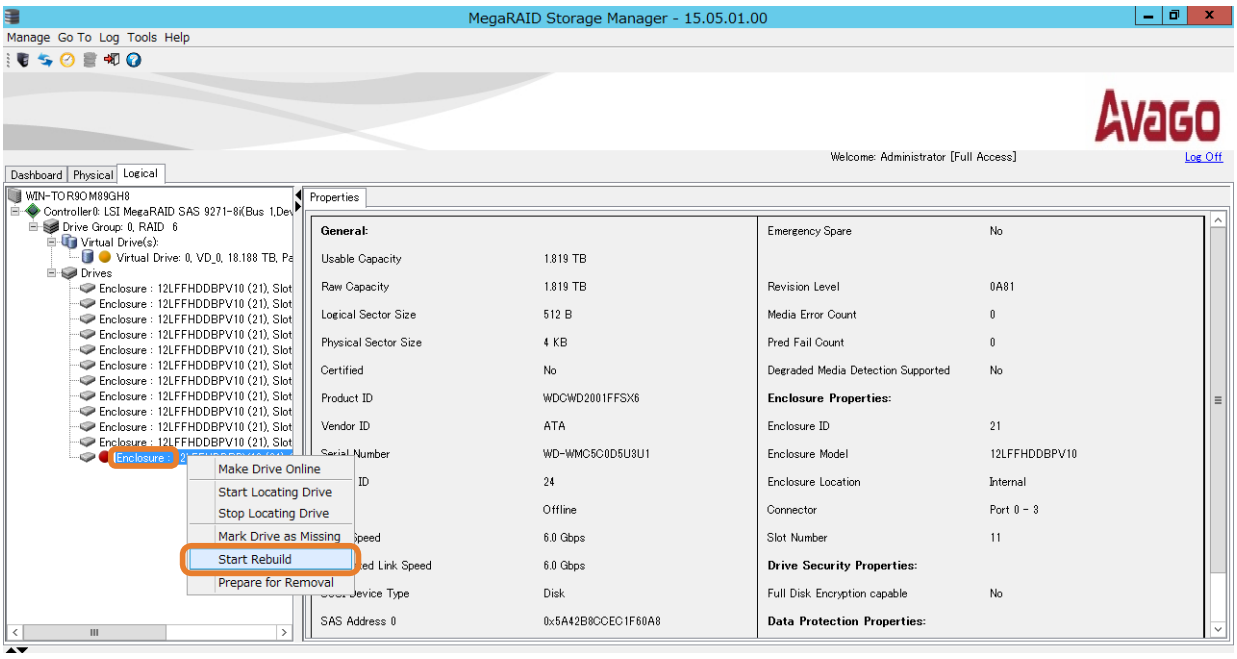
2 続けて「Replace Missing Drive」を選択する。



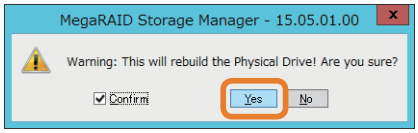
3 RAID に追加するドライブを選択します。



4 追加されたドライブを右クリックして「Start Rebuild」を選択します。



5 **確認メッセージが表示されるので「Yes」をクリックします。**



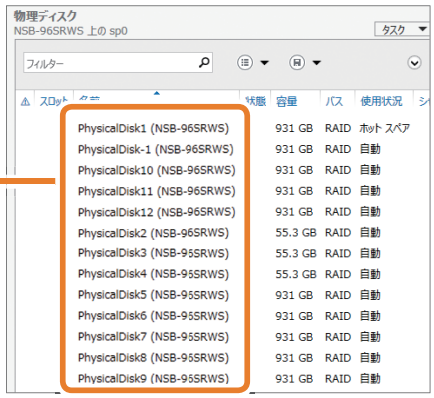
3.2.4　NSB-96S18T12RWS（HDD + SSD モデル）の場合

1 **障害が発生したディスクを交換します。本製品は、電源が入ったままディスクの交換ができます。**

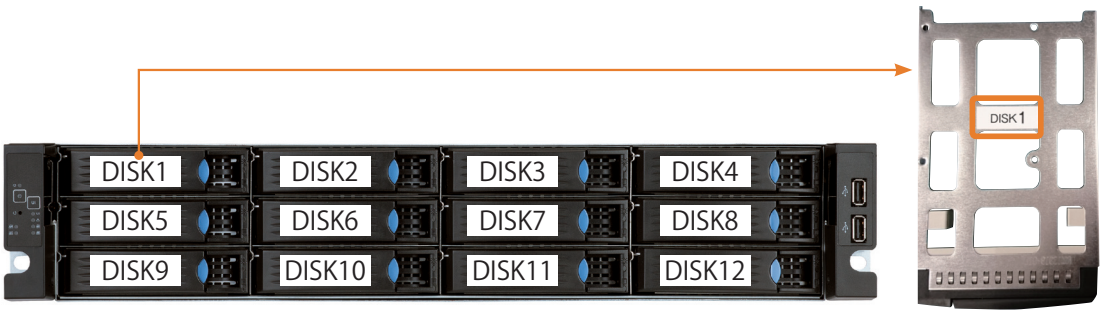
故障したハードディスク交換にあたっては、
下記ディスク情報を参照の上、
誤ったディスクを取り外さない様、注意してください。

●管理コンソール（サーバーマネージャー）上のディスク番号表記

管理コンソール上のディスク番号表記は、
Disk1 ～ Disk12 となります。



● HDD トレイ　ディスク番号



HDD トレイ（背面）にディスク番号を記載したシールが貼られています。
(DISK1 ～ DISK12)

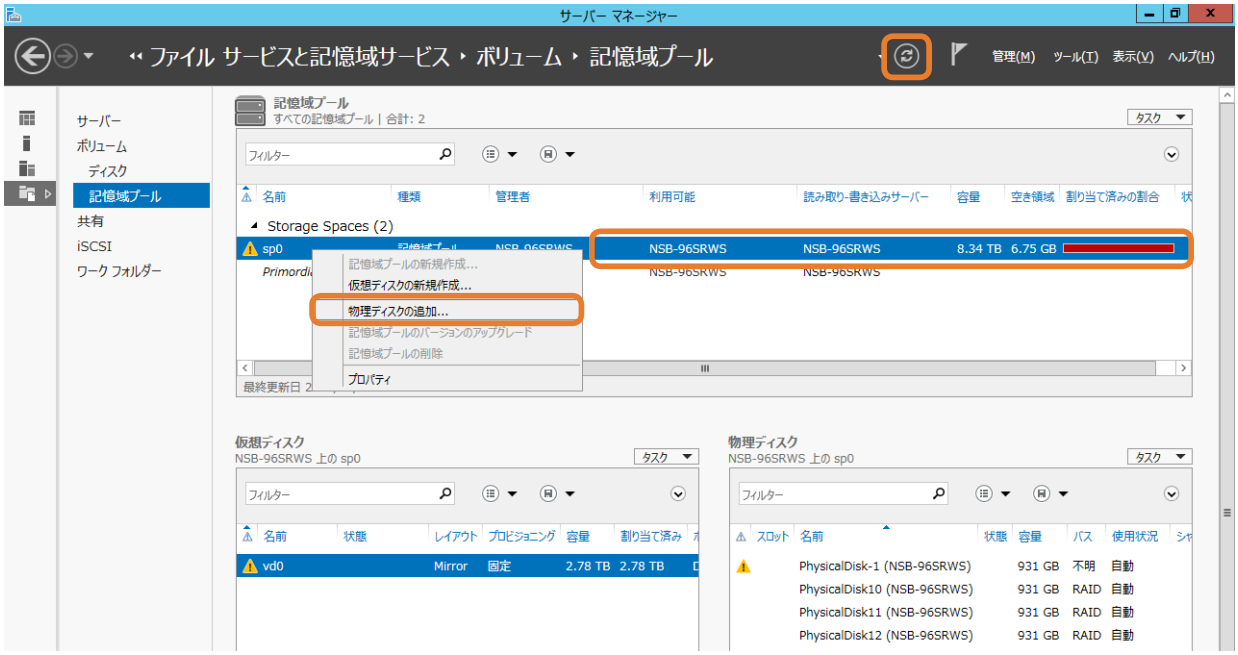
●管理コンソール、HDD トレイ、ディスク番号対照表

確認対象		HDD 番号											
管理コンソール	サーバーマネージャー (WindowsServer2012R2)	Disk1	Disk2	Disk3	Disk4	Disk5	Disk6	Disk7	Disk8	Disk9	Disk10	Disk11	Disk12
HDD トレイ	HDD トレイ　シール	DISK1	DISK2	DISK3	DISK4	DISK5	DISK6	DISK7	DISK8	DISK9	DISK10	DISK11	DISK12

2 「サーバーマネージャー」から「ファイルサービスと記憶域…」をクリックします。

3 「ボリューム」→「記憶域プール」を選択します。

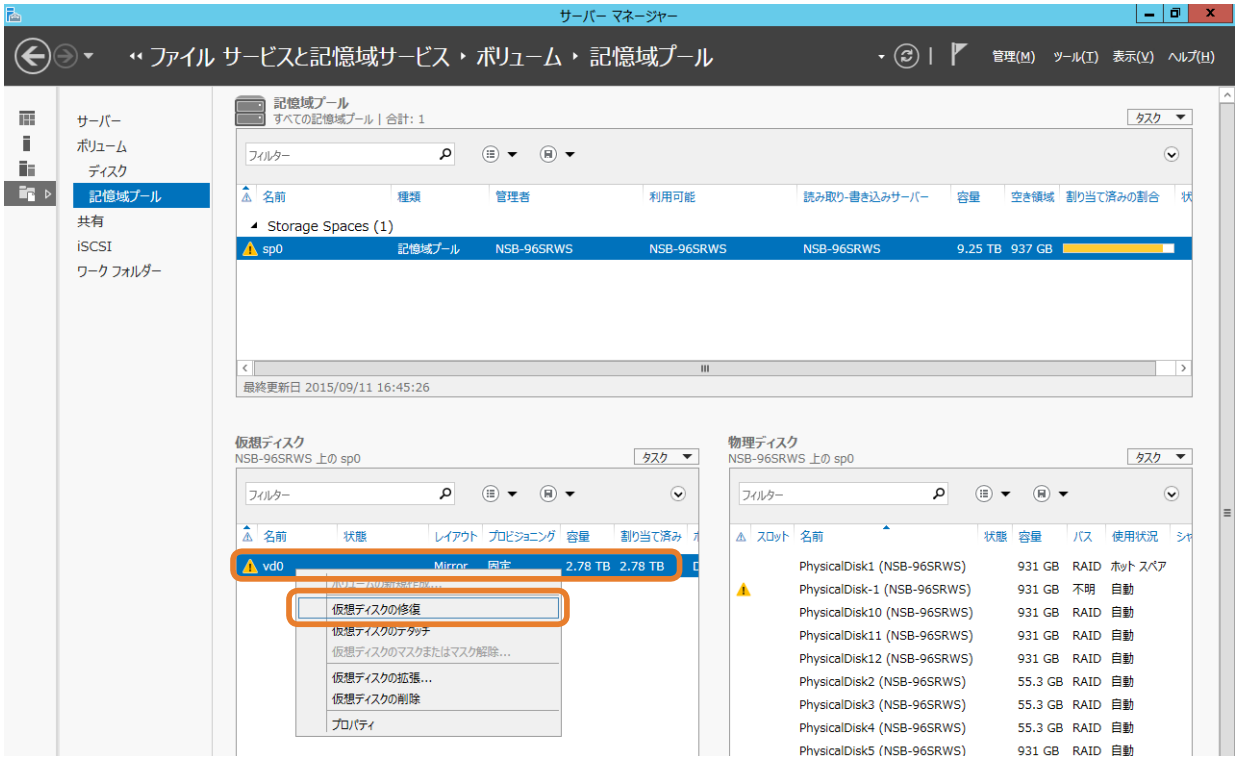
4 対象となる記憶域を右クリックして、「物理ディスクの追加」を選択します。



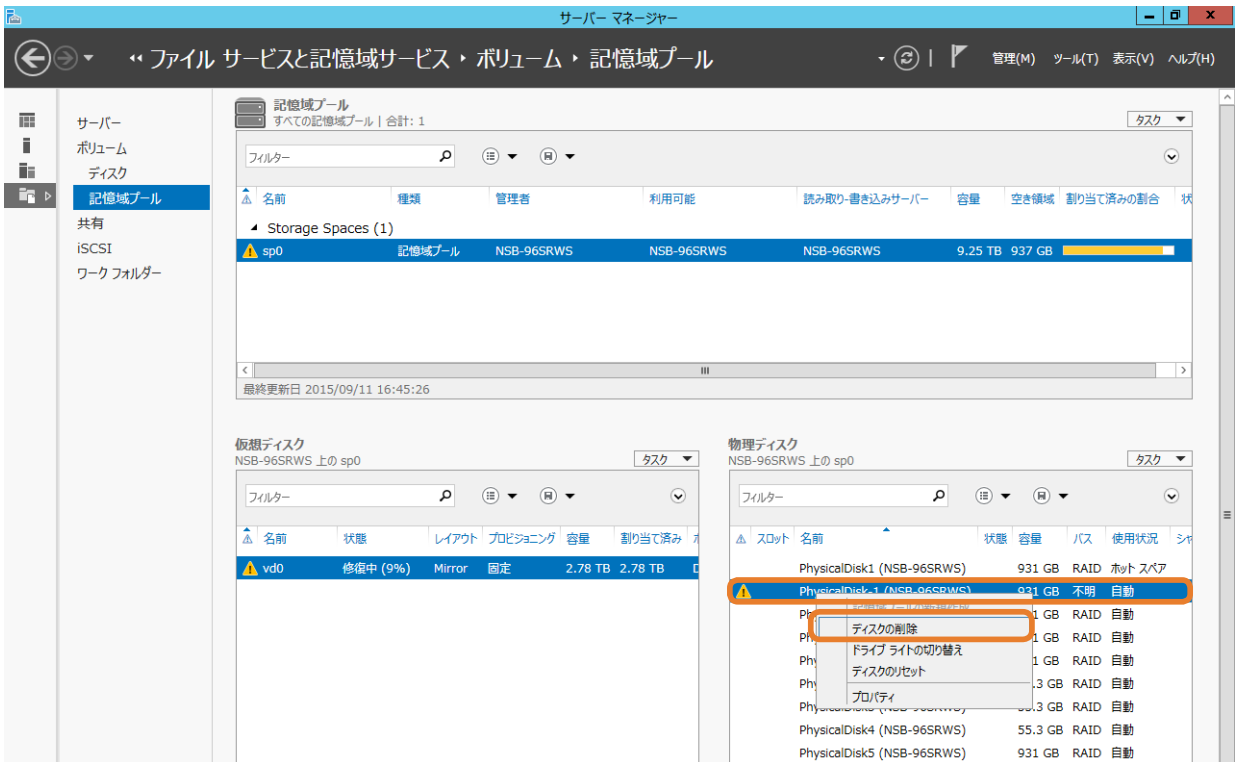
交換したディスクが表示されない場合は、右上の更新ボタンを押してください。

5 置き換えるディスクを選択し、割り当てを「ホットスペア」に変更してください。

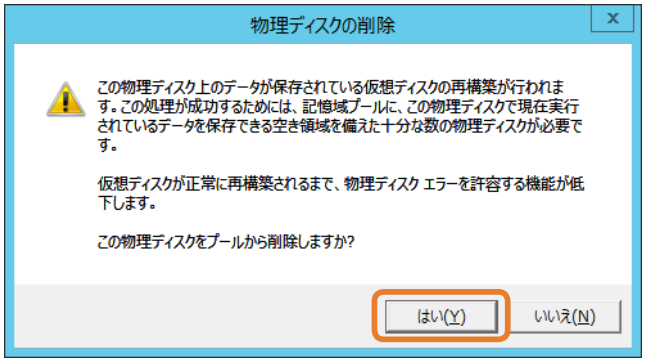
6 修復対象となる仮想ディスクを右クリックして、「仮想ディスクの修復」を選択します。



7 故障した物理ディスクの削除を行ないます。物理ディスク欄で対象となるディスクを選択します。右クリックして、「ディスクの削除」を選択します。

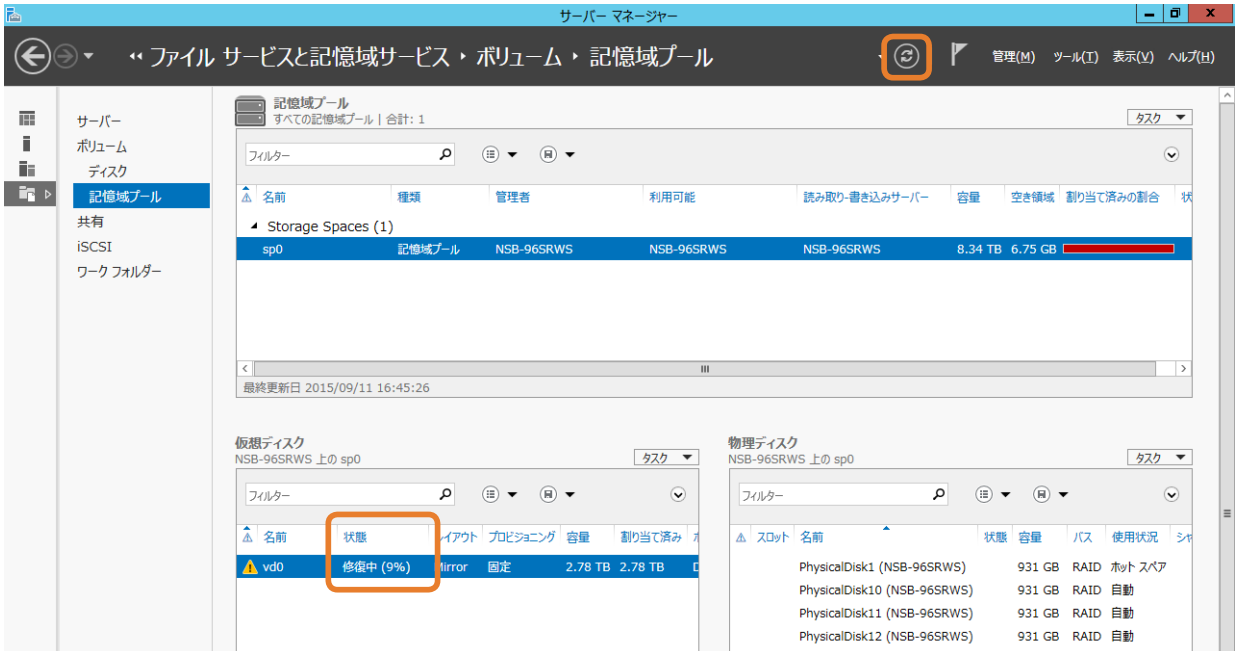


8 メッセージを確認して、「はい」を押します。



9 ディスクの修復が開始されます。

10 「状態」から「修復中」の表示が消えたら修復完了です。



Chapter 4

データのバックアップやレプリケーションを行う

本製品を使用していると、突然の事故、ハードディスクの故障や誤操作で大切なデータを失ってしまう可能性があります。
そのような場合に備えて、データのバックアップをとっておくことが大切です。
データのバックアップをするには、以下の機能がお使いいただけます。

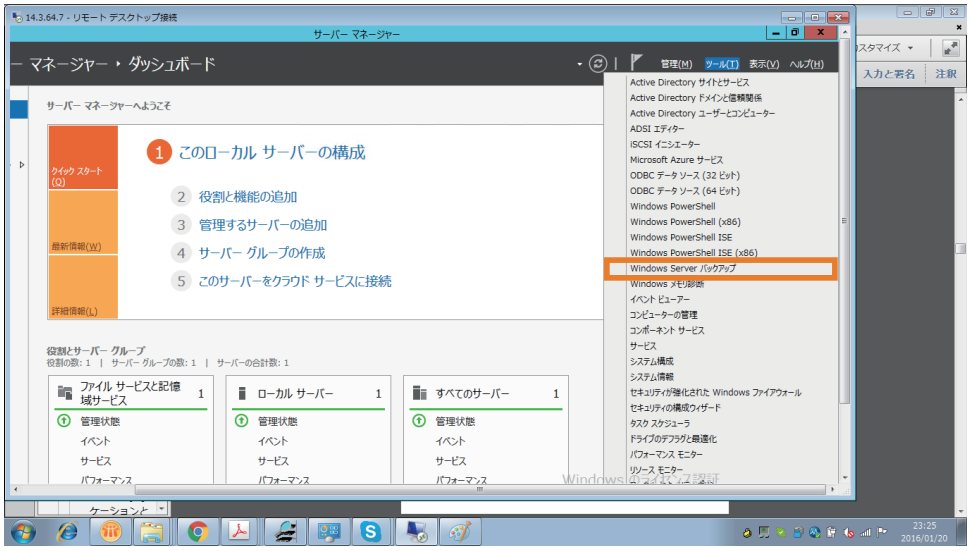
- Windows Storage Server のバックアップ機能
- DFS レプリケーション機能

4.1 Windows Storage Server のバックアップ機能

4.1.1　バックアップ手順

次の手順で本製品のバックアップを設定します。

1 **[サーバーマネージャー] 内の [ツール] - [Windows Server バックアップ] をクリックします。**



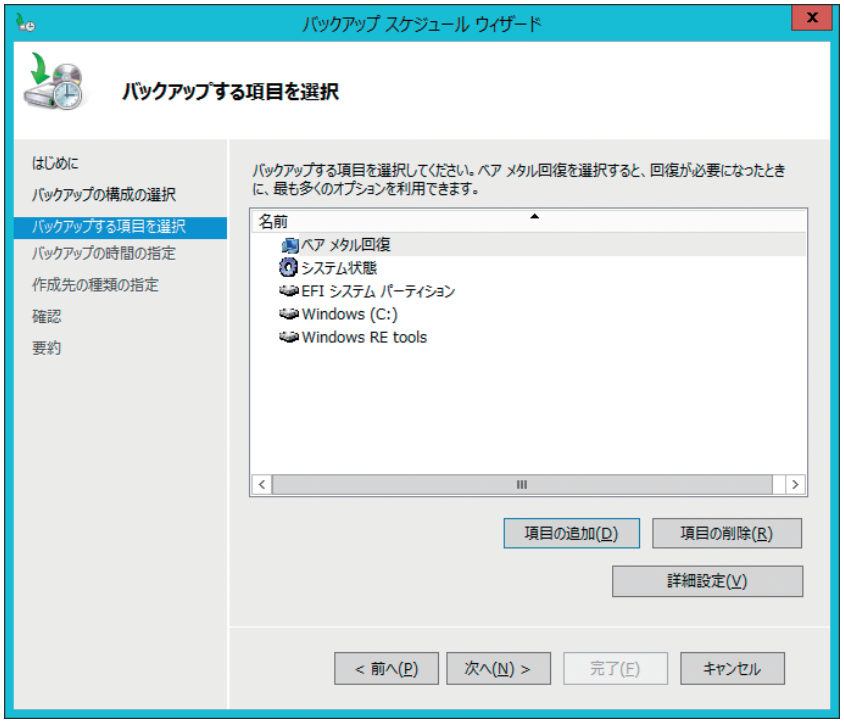
2 **[Windows Server バックアップ] が起動します。**

MEMO 「データを読み取っています。お待ちください」と表示されます。この表示が消えるまでしばらくお待ちください。

3 **[ローカルバックアップ] を右クリック後、[バックアップスケジュール] をクリックします。**

[バックアップスケジュールウィザード] が起動します。

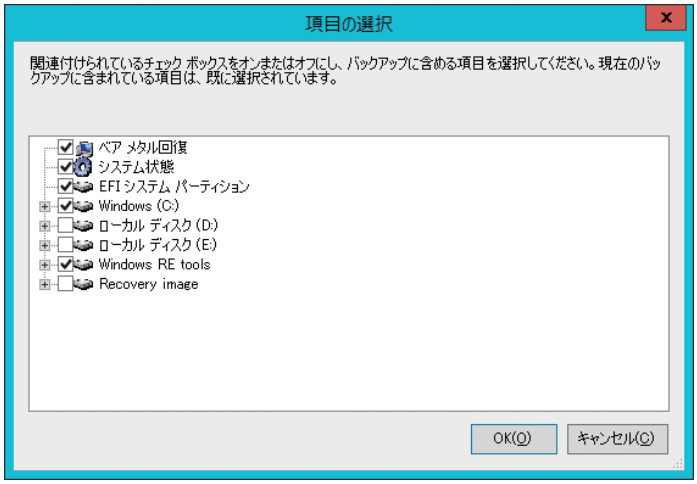
4 **[次へ] をクリックします。**



5 [カスタム] を選択し、[次へ] をクリックします。

6 [項目の追加] をクリックします。

7 バックアップの対象を選択し、[OK] をクリックします。



8 [次へ] をクリックします。

9 **バックアップを実行する時刻を指定し、[次へ] をクリックします。**

10 **バックアップ先を選択し、[次へ] をクリックします。**

11 **以降は画面の指示にしたがって設定します。**

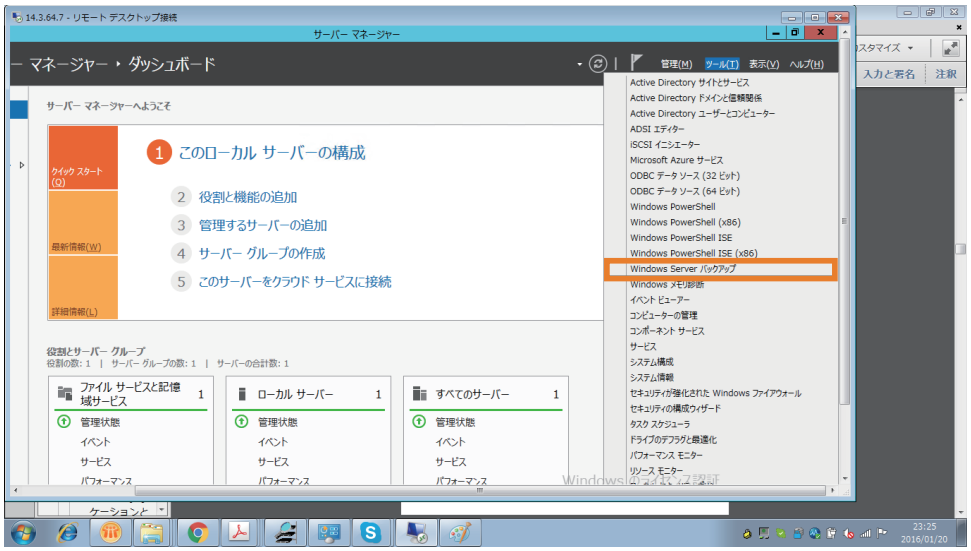
以上でバックアップの設定は完了です。
指定した時刻にバックアップが実行されます。

4.1.2　リストア手順

バックアップしたデータを本製品にリストア (復元) します。

MEMO Windows Storage Server のバックアップ機能でバックアップしたデータを使ってのベアメタル回復には対応していません。

1 **[サーバーマネージャー] 内の [ツール] - [Windows Server バックアップ] をクリックします。**



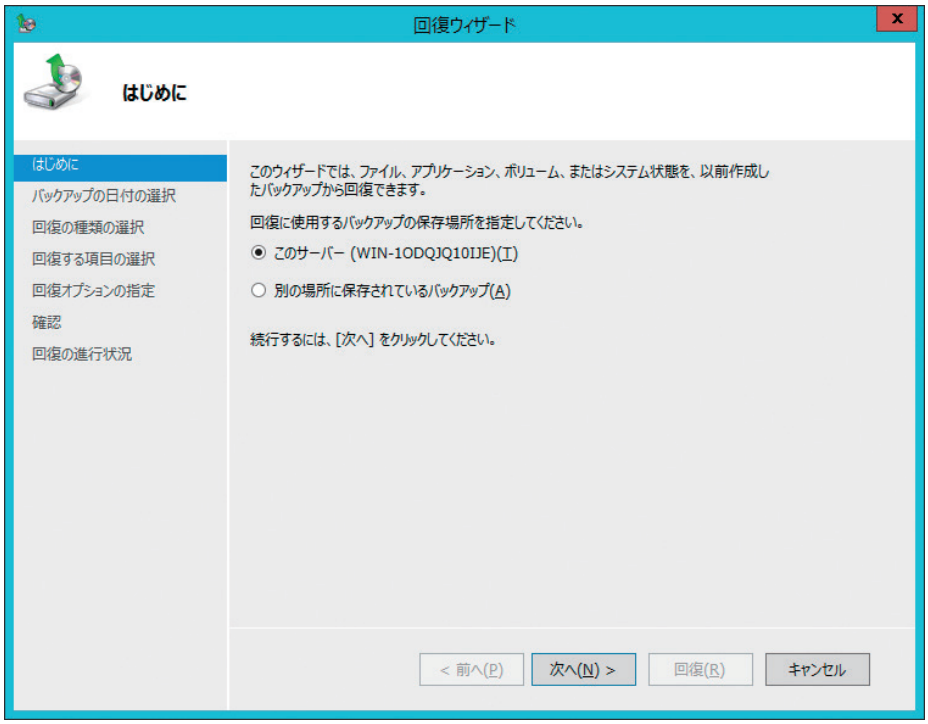
2 **[Windows Server バックアップ] が起動します。**

MEMO 「データを読み取っています。お待ちください」と表示されます。この表示が消えるまでしばらくお待ちください。

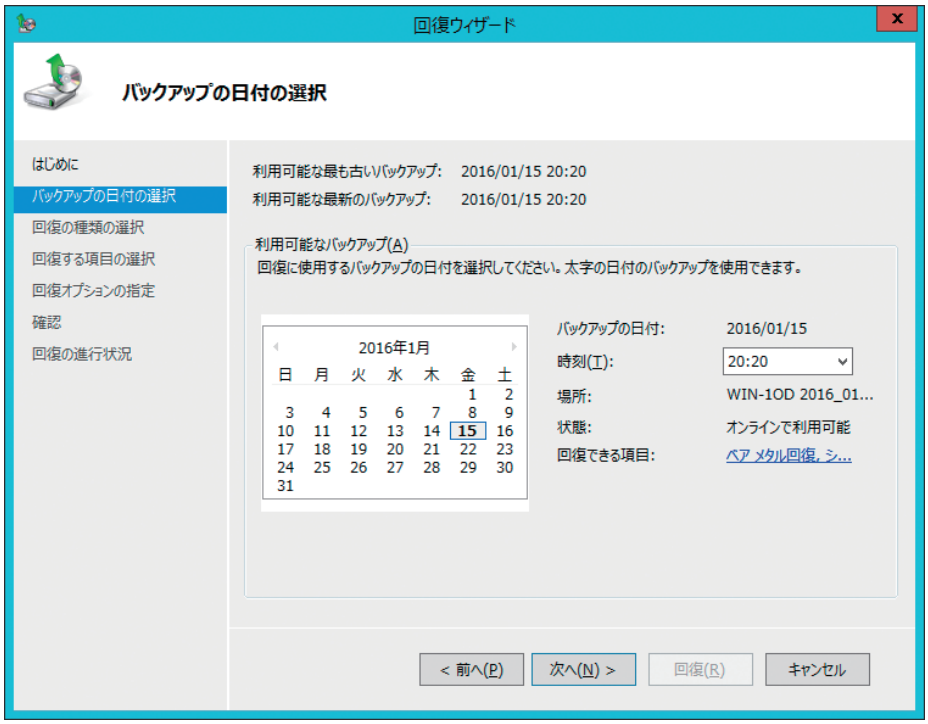
3 **[ローカルバックアップ] を右クリック後、[回復] をクリックします。**

[回復ウィザード] が起動します。

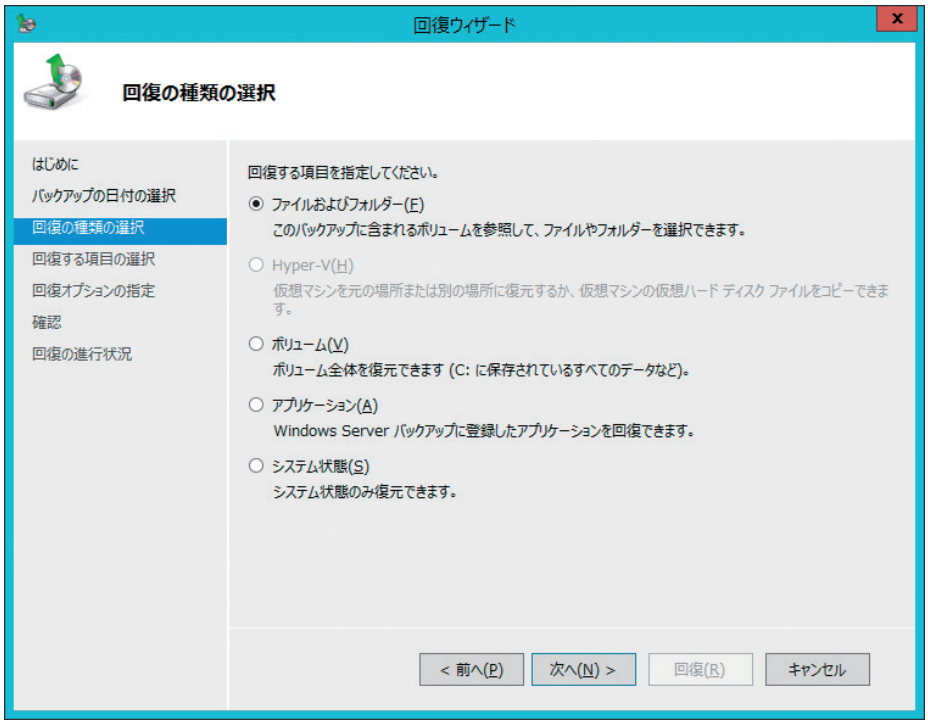
4 [次へ] をクリックします。



5 リストア (復元) するデータの日付を選択し、[次へ] をクリックします。



6 リストア (復元) する対象を選択し、[次へ] をクリックします。



7 以降は画面の指示にしたがって設定します。

以上でリストア (復元) は完了です。

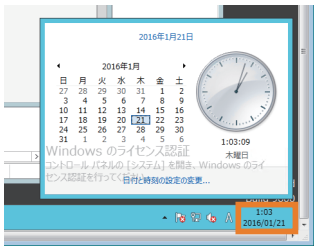
Chapter 5

各種設定

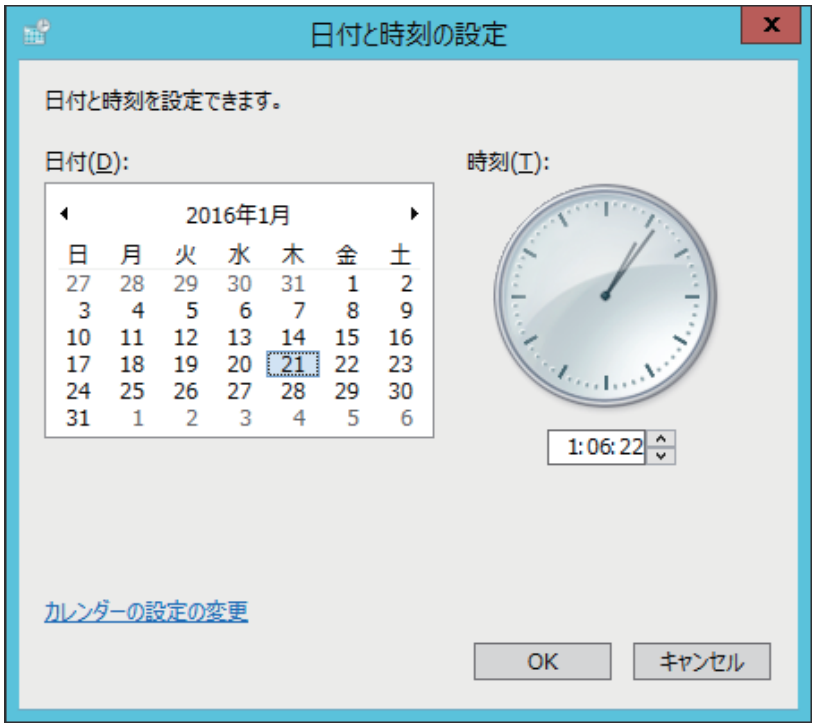
5.1 日時の設定

次の手順で Windows Storage Server の日付と時刻を合わせます。

1 Windows Storage Server のタスクトレイに表示されている時刻をクリックします。



2 [日付と時刻の設定の変更] - [日付と時刻の変更] をクリックし、日付と時刻を現在の日時に合わせ、[OK] をクリックします。



MEMO [インターネット時刻] タブ内の [設定の変更] をクリックし、[インターネット時刻サーバーと同期する] を選択すると自動で時刻を取得することができます。

以上で日時の設定は完了です。

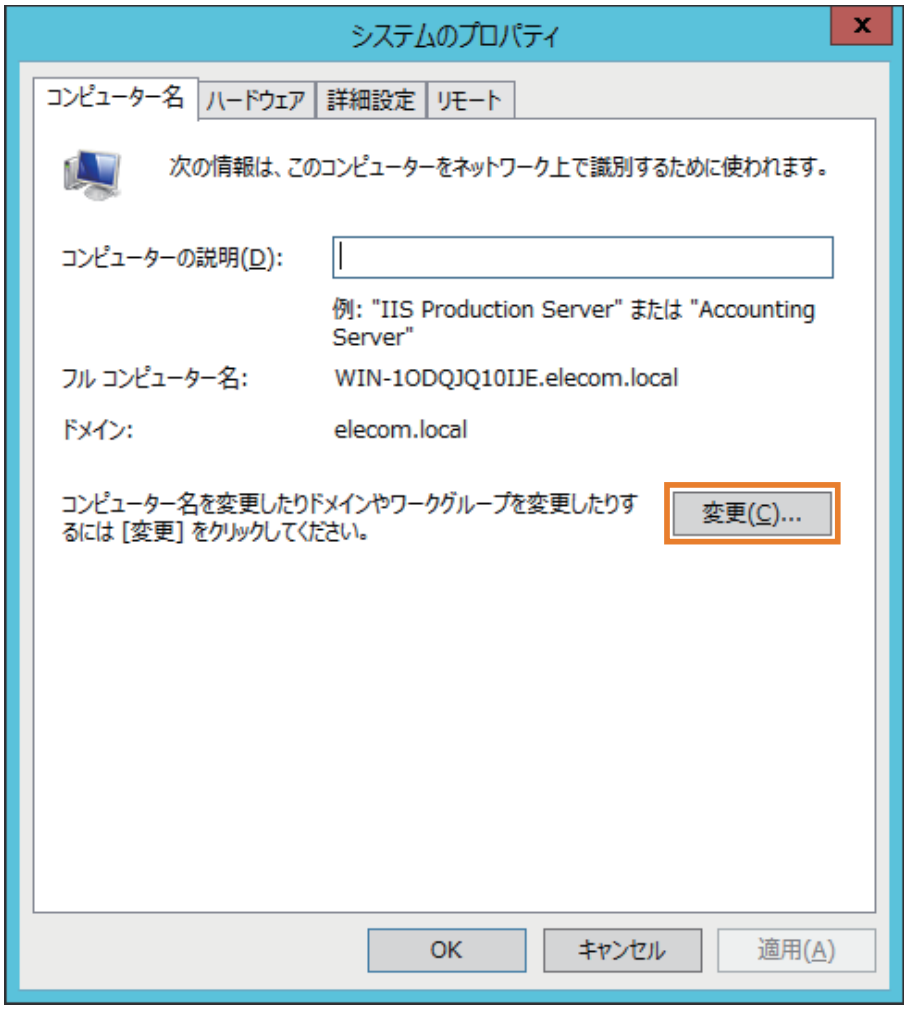
5.2 サーバー名、ドメイン / ワークグループの変更

次の手順で本製品のサーバー名、ドメイン / ワークグループを変更します。

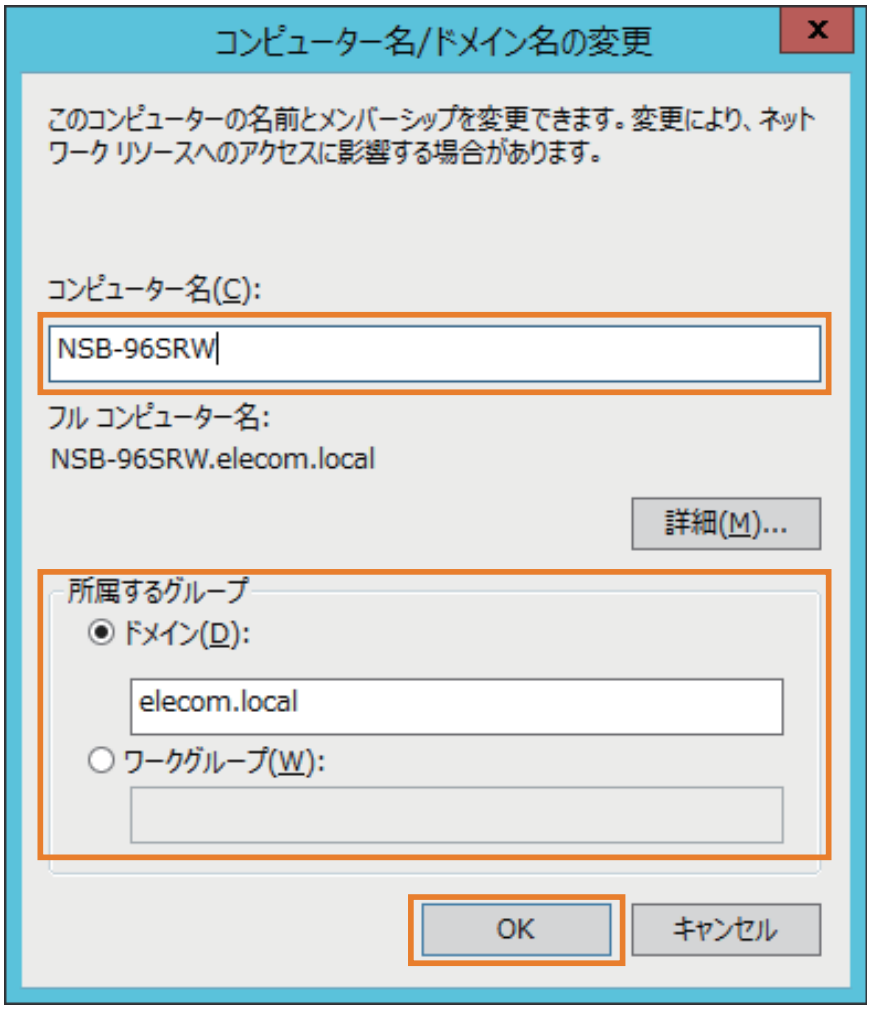
1 **Windows Storage Server のスタート画面で [PC] を右クリックし、表示されたメニューから [プロパティ] をクリックします。**

2 **[コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定] の [設定の変更] をクリックします。**

3 **[コンピューター名] タブ内の [変更] をクリックします。**



4 **コンピューター名、ドメイン名またはワークグループ名を入力し、[OK] をクリックします。**



以上でサーバー名、ドメイン / ワークグループの変更は完了です。

5.3 パスワードの変更

本製品の管理者パスワードは、セキュリティーのため出荷時設定から変更することをおすすめします。

5.3.1　ログオンしているアカウントのパスワードの変更

1 **Windows Storage Server のスタート画面で [コントロールパネル] - [ユーザーアカウント] - [ユーザーアカウント] - [別のアカウント管理] をクリックします。**

2 **パスワードを変更するユーザー名を選択し、[パスワードの変更] をクリックします。**

3 **[現在のパスワード] に「admin」、[新しいパスワード] および [新しいパスワードの確認] に新しく設定した任意のパスワードを入力し、[パスワードの変更] をクリックします。**

MEMO　初期設定では、パスワードを変更するユーザー名に「admin」を選択します。

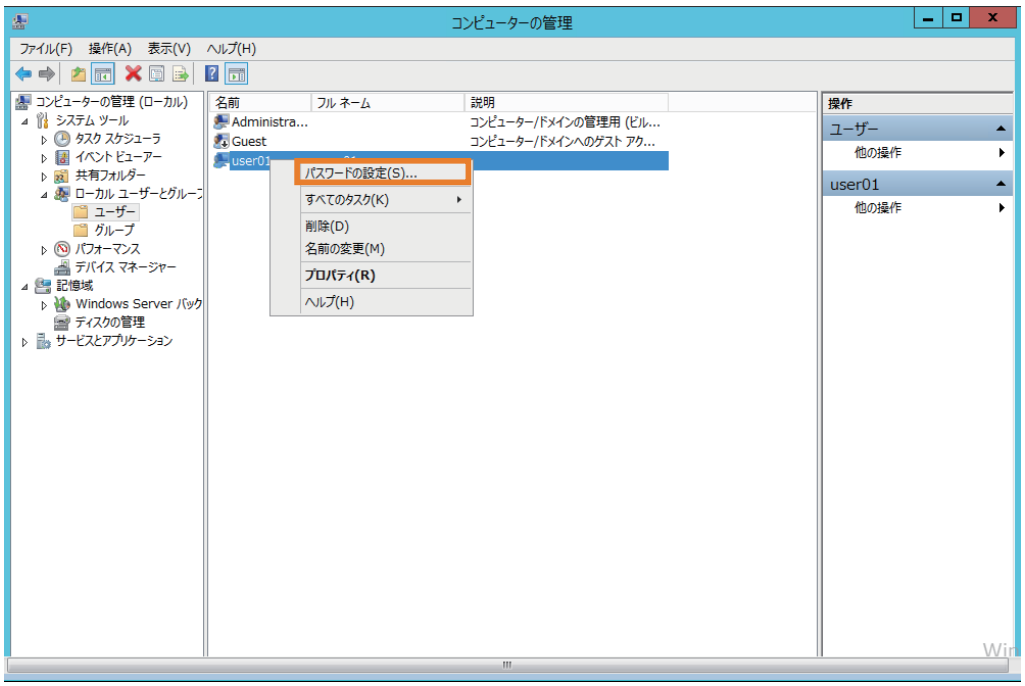
以上でパスワードの変更は完了です。

5.3.2　ログオンしているアカウント以外のパスワードの変更

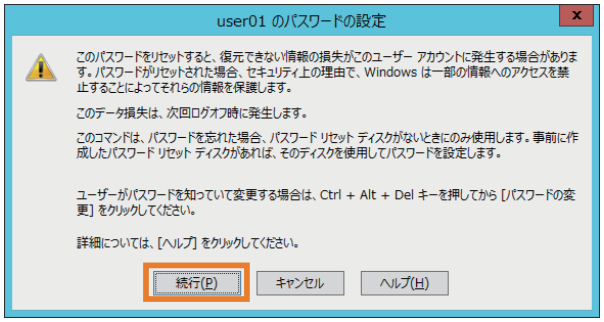
1 **Windows Storage Server のスタート画面で [管理ツール] をクリックし、[コンピューターの管理] をダブルクリックします。**

2 **[ローカルユーザーとグループ] を選択し、[ユーザー] をダブルクリックします。**

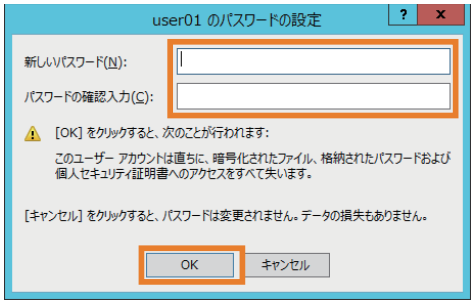
3 パスワードを変更したいユーザーを右クリックし、表示されたメニューから [パスワードの設定] をクリックします。



4 [続行] をクリックします。



5 新しいパスワードを 2 回入力し、[OK] をクリックします。



以上でパスワードの変更は完了です。

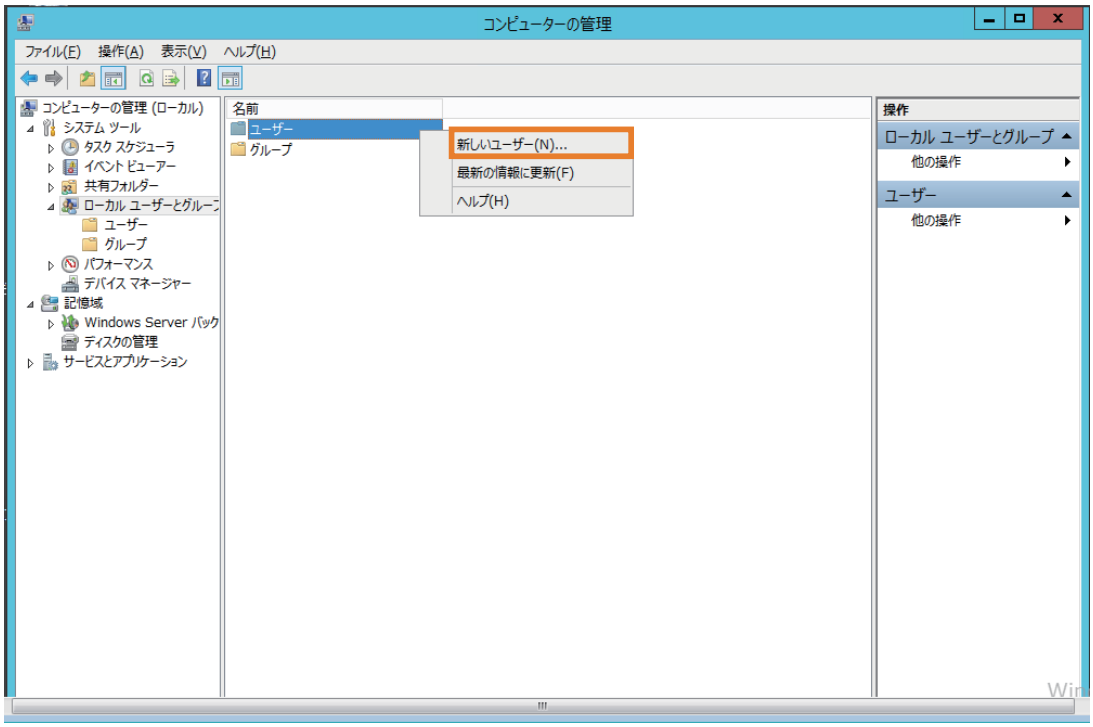
5.4 ユーザーの追加

次の手順でユーザーを追加します。

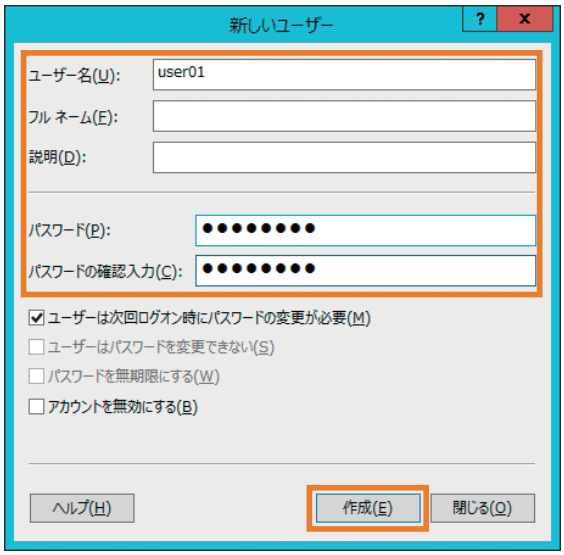
1 **Windows Storage Server のスタート画面で [管理ツール] をクリックし、[コンピューターの管理] をダブルクリックします。**

2 **[ローカルユーザーとグループ] をクリックします。**

3 **[ユーザー] を右クリックし、表示されたメニューから [新しいユーザー] をクリックします。**



4 ユーザー名、パスワード等を入力し、[作成] をクリックします。



MEMO Administrators グループあるいは Remote Desktop Users グループのメンバーでないユーザーは、リモートデスクトップで接続することができません。

以上でユーザーの追加は完了です。

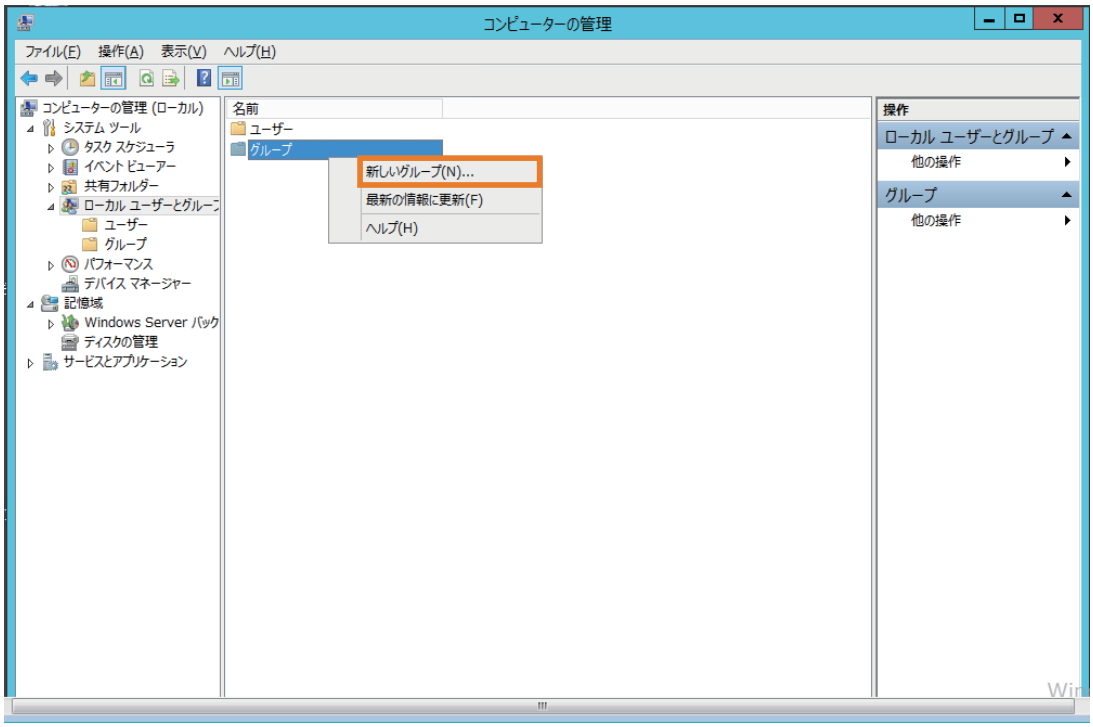
5.5 グループの追加

次の手順でグループを追加します。

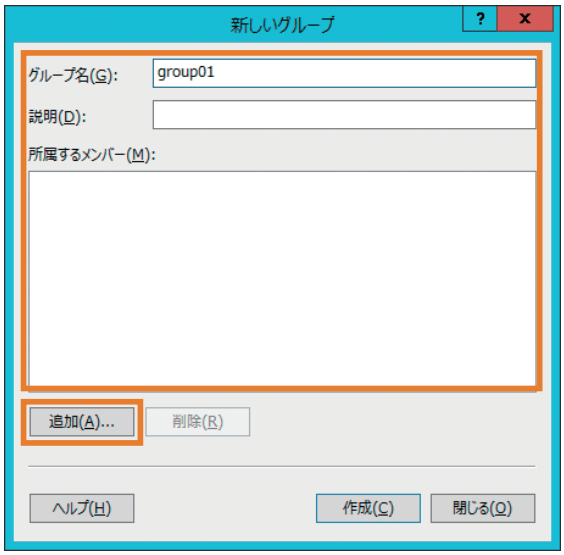
1 **Windows Storage Server のスタート画面で [管理ツール] をクリックし、[コンピューターの管理] をダブルクリックします。**

2 **[ローカルユーザーとグループ] をクリックします。**

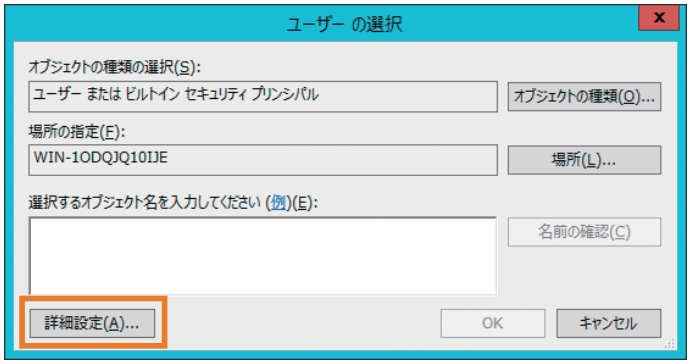
3 **[グループ] を右クリックし、表示されたメニューから [新しいグループ] をクリックします。**



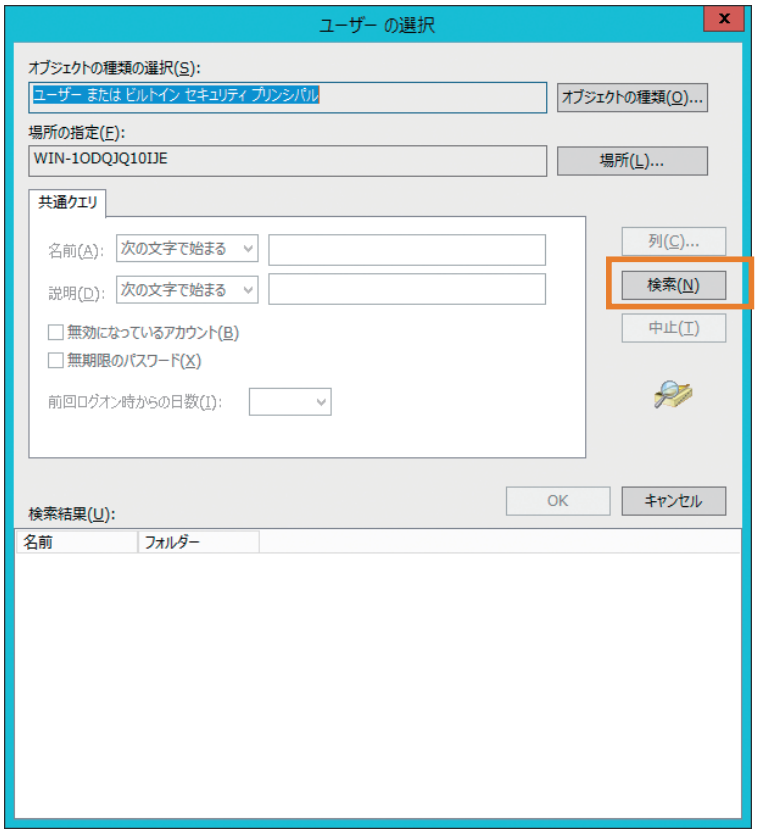
4 グループ名、説明を入力し、[追加] をクリックします。



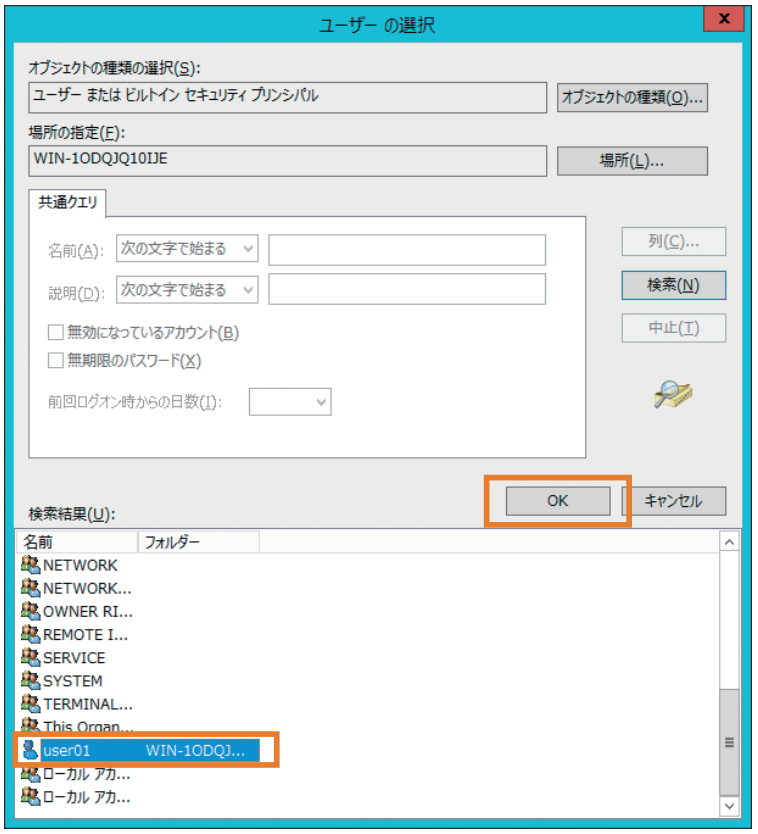
5 [詳細設定] をクリックします。



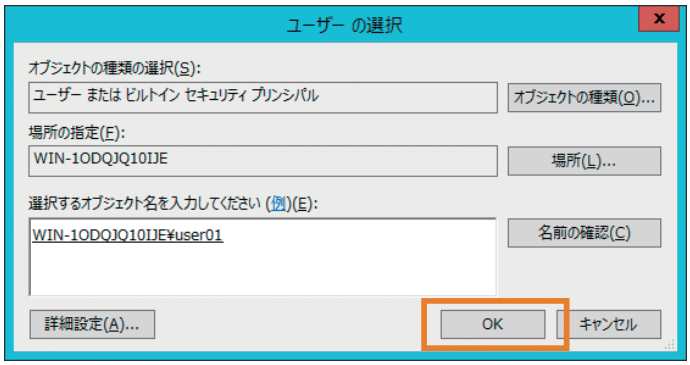
6 [検索] をクリックします。



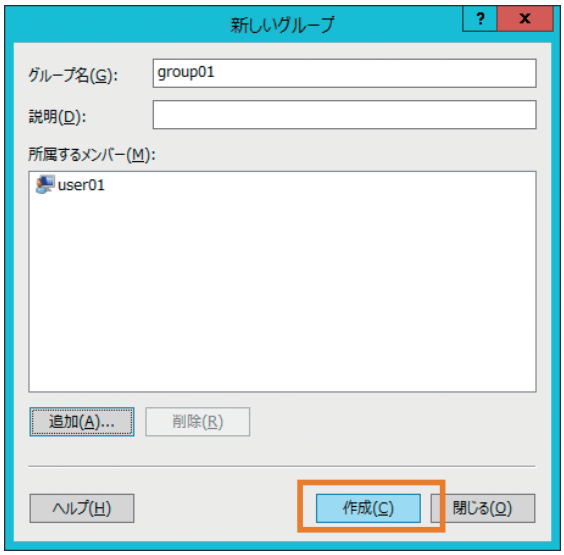
7 グループに登録するユーザーを選択し、[OK] をクリックします。



8 [OK] をクリックします。



9 [作成] をクリックします。



以上でグループの追加は完了です。

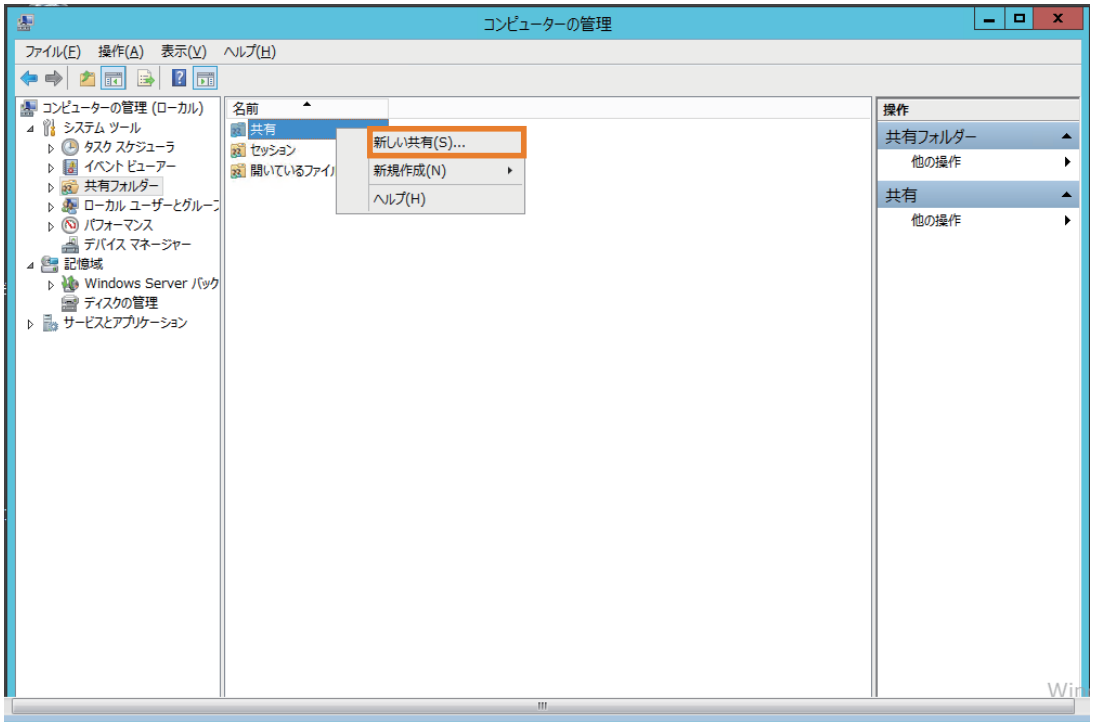
5.6 共有フォルダーの作成

次の手順で共有フォルダーを作成します。
ここでは、D ドライブに「Share」フォルダーを作成し、誰でも読み書きできるように設定する例を記載しています。

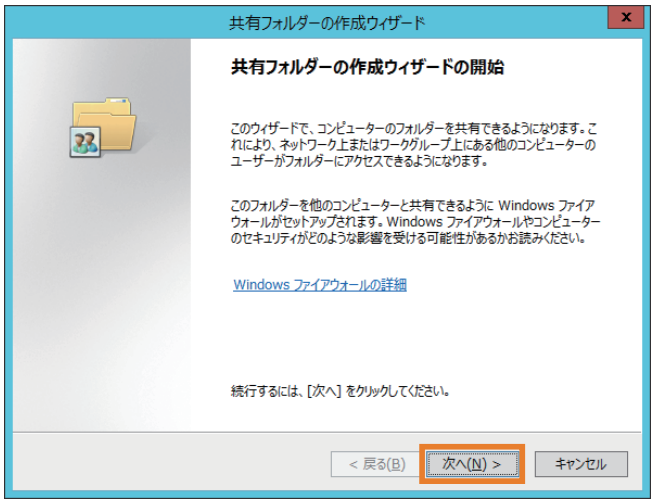
1 **Windows Storage Server のスタート画面で [管理ツール] をクリックし、[コンピューターの管理] をダブルクリックします。**

2 **[共有フォルダー] をクリックします。**

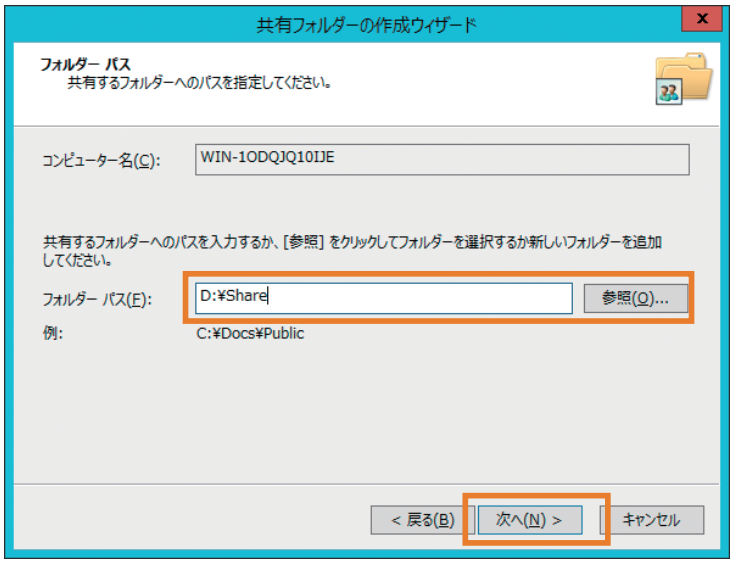
3 **[共有] を右クリックし、表示されたメニューから [新しい共有] をクリックします。**



4 [次へ] をクリックします。



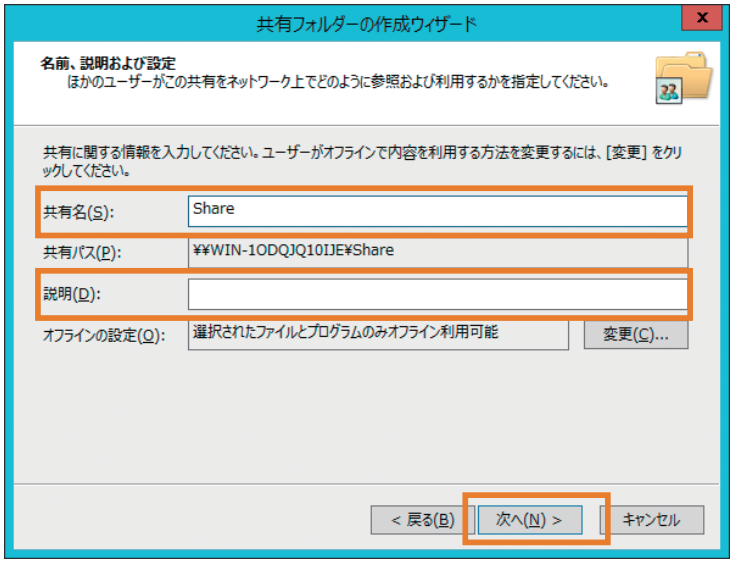
5 共有するフォルダーへのパスを直接入力いただくか、「参照」をクリックしてフォルダーを選択して下さい。



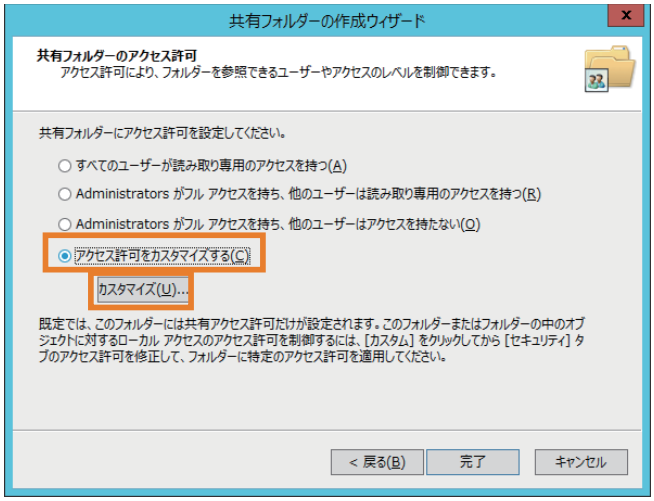
MEMO

- 初期設定で共有フォルダーを作成するときは、フォルダーパスに「D:\Share」と入力します。
- 「指定したパスが見つかりません。作成しますか?」と表示されたときは、[はい] をクリックします。

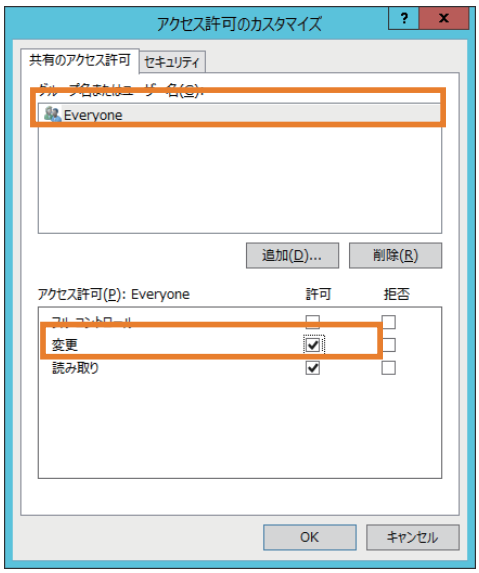
6 共有名と説明を入力し、[次へ] をクリックします。



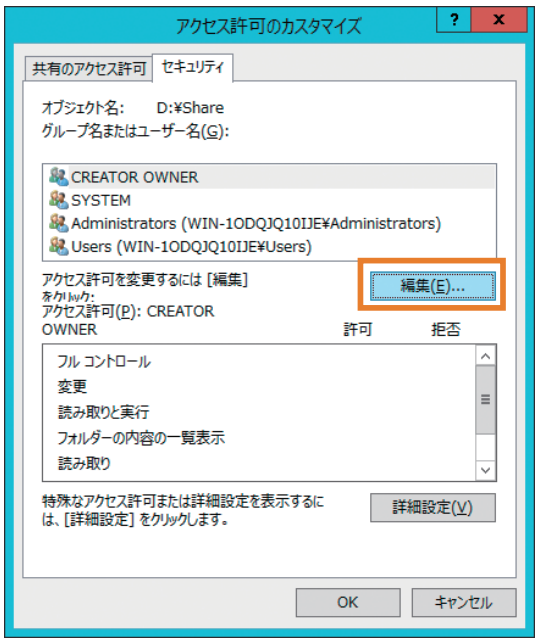
7 [アクセス許可をカスタマイズする] を選択し、[カスタマイズ] をクリックします。



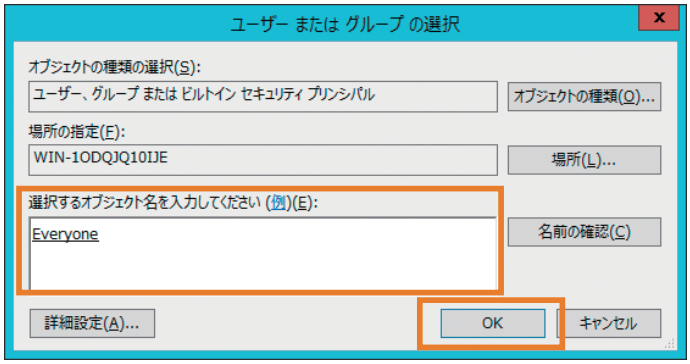
8 [Everyone] を選択し、[変更 (許可)] をチェックします。



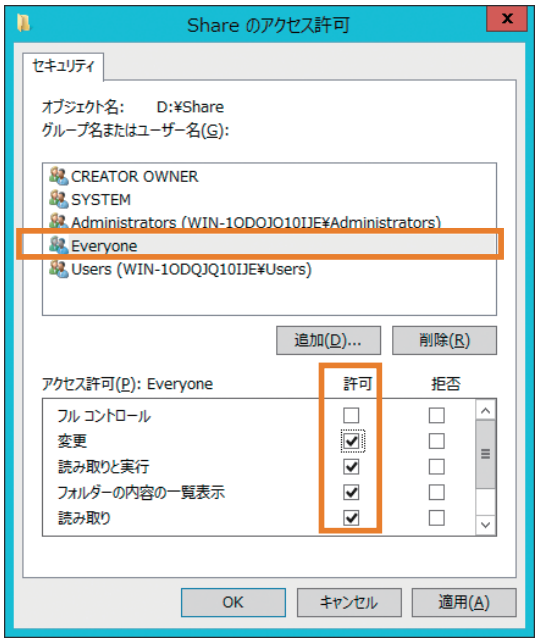
9 [セキュリティ] タブ内の [編集] - [追加] をクリックします。



10 [選択するオブジェクト名を入力してください] に「Everyone」と入力し、[OK] をクリックします。



11 [Everyone] を選択し、[変更 (許可)] をチェックします。



12 [OK] - [OK] - [完了] - [完了] をクリックします。

5.7 Windows イベントログの取得

本製品のイベントログを取得するには、以下の手順を行ってください。

1 **Windows Storage Server のスタート画面で [管理ツール] をクリックします。**

2 **[イベントビューアー] をダブルクリックします。**

3 **[イベントビューアー] 画面左側の [Windows ログ] をクリックします。**

4 **[アプリケーション]、[セキュリティ]、[Setup]、[システム] の中から、設定したいイベントログを選択して右クリックします。**

5 **表示されたメニューから [すべてのイベントを名前をつけて保存] をクリックします。**

6 **保存先を選択して、任意のファイル名を入力して [保存] をクリックします。**

MEMO ファイルの種類は変更しないでください。

以上で、イベントログの取得は完了です。指定した保存先にあるログファイルを開いて、イベントログの内容を確認してください。

Chapter 6

付録

6.1 出荷時設定

本製品は出荷時に以下のように初期設定されています。

項目	説明
管理者名	admin
パスワード	admin
共有フォルダー	C ドライブと D ドライブが隠し共有に設定されています (Windows Storage Server 標準設定)
DHCP クライアント	DHCP サーバーがネットワーク内にある場合は自動取得します。 DHCP サーバーがネットワーク内にない場合は、次のように自動設定されます。 IP アドレス：169.254.xxx.xxx (xxx は本製品起動時に任意の数値が割り当てられます。) ネットマスク：255.255.0.0
登録グループ	Windows Storage Server 既定のグループが登録されています (Windows Storage Server 標準設定)
Microsoft ネットワークワークグループ設定	WORKGROUP
ディスクボリュームの設定	NSB-96S24T12RW、NSB-96S48T12RW（HDD モデル） • RAID6 NSB-96S18T12RWS（HDD ＋ SSD モデル） • 3 方向ミラー
ローカルセキュリティーポリシー	[複雑さの要件を満たす必要があるパスワード] を [有効] から [無効] に変更しています

本製品にインストールされている機能、役割は次のとおりです。

機能 :

BitLocker ドライブ暗号化、マルチパス I/O、ネットワーク負荷分散、リモートサーバー管理ツール、SMTP サーバー、SAN 用記憶域マネージャー、Windows プロセスアクティブ化サービス、WindowsServer バックアップの機能、.NetFramework 4.5 の機能 など

役割 :

ファイルサービス

MEMO

その他のインストールされている機能、役割については、[サーバーマネージャー] 内の [ローカルサーバー] をクリックし、[役割と機能] をご確認ください。

6.2 製品仕様

最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(ELECOM.jp) をご参照ください。

項目	説明	
搭載システム	Microsoft Windows Storage Server 2012 R2 Standard Edition	
LAN 端子	伝送速度	IEEE802.3ab 準拠 (1000BASE-T)： 1000 Mbps 全二重 (自動認識) IEEE802.3u 準拠 (100BASE-TX)： 100 Mbps 全二重 / 半二重 (自動認識) IEEE802.3 準拠 (10BASE-T)： 10 Mbps 全二重 / 半二重 (自動認識)
	ポート数	4 ポート (AUTO-MDIX 対応)
	コネクター形状	RJ-45 型 8 極
USB	背面 USB3.0 × 2、USB2.0 × 2 前面 USB2.0 × 2	
シリアルポート	D-SUB 9 ピン (オス) × 1 対応 UPS：オムロン社製 UPS、APC 社製 UPS	
内蔵ハードディスク	本製品のハードディスクが故障した場合は、別売の当社製交換用ハードディスクに交換してください。 HDD：NSB-SDxT1RP SSD：NSB-SD60G1RPS （対象モデル：NSB-96S18T12RWS）	
電源	AC 100 V 50/60 Hz	
最大消費電力	本体添付のラベルに記載	
外形寸法 / 重量	761x482x88mm/25kg	
動作環境	温度 5℃～ 35℃、湿度 20 ～ 80 % (結露なきこと)	
対応するクライアント	LAN インターフェース搭載の Windows パソコン、Mac メモ : パソコンとは LAN 接続になり、USB 接続はできません。	

項目	説明
対応クライアント OS	Windows10 (64 ビット、32 ビット) Windows 8.1 (64 ビット、32 ビット) Windows 8 (64 ビット、32 ビット) Windows 7 (64 ビット、32 ビット) Windows Vista (64 ビット、32 ビット) Windows XP Windows Server 2012 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2008 Windows Server 2008 R2 Windows Server 2003 Windows Server 2003 R2 OS X 10.10 OS X 10.9 OS X 10.8 OS X 10.7 OS X 10.6

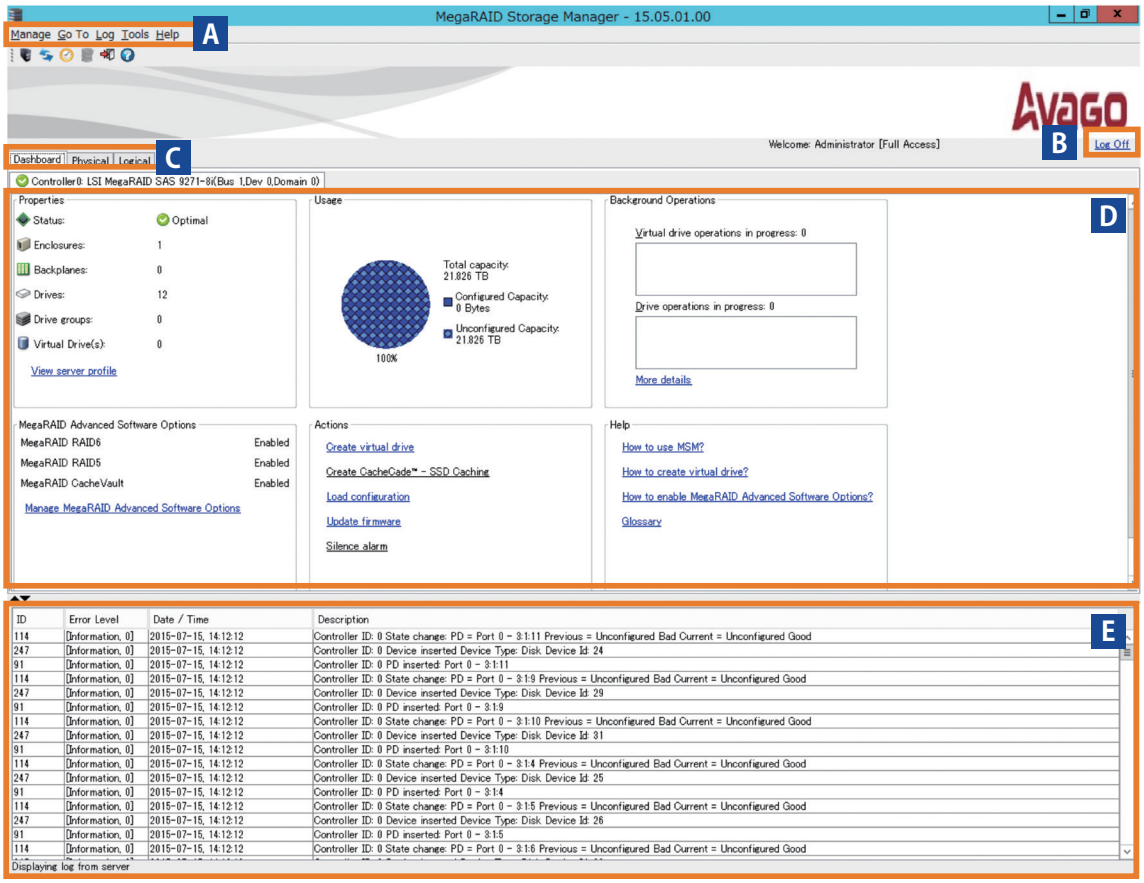
6.3 MegaRAIDStorageManager について

RAID 管理ツール、MegaRAIDStorageManager（以降、「MSM」と記載）は視覚的な GUI 画面による RAID の構成、管理を提供します。

NSB-96SRW シリーズ (HDD モデル) が対象となります。
【対応モデル】
- NSB-96S24T12RW(24TB)
- NSB-96S48T12RW(48TB)

6.3.1　画面構成

起動時は下記、[**Dashboard**]（RAID 情報）画面が表示されます。



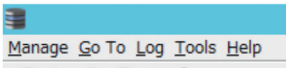
	用途	内容
A	メニューバー	Manage（管理）、Go To（進む）、Log、Tools、Help の 5 つのメニューが用意されています。
B	ログオフ ボタン	「MSM」を終了させます。

	用途	内容	
C	タブボタン	表示画面を切り替える際に利用します。	
		［**Dashboard**］ビュー	RAID 情報が表示されます。
		［**Physical**］ビュー	物理ドライブ情報が表示されます。
		［**Logical**］ビュー	論理ドライブ情報が表示されます。
D	構成情報	C.「**タブボタン**」で選択した情報が表示されます。	
E	メッセージウインドウ	イベントログが表示されます。	

6.3.2　メイン画面情報

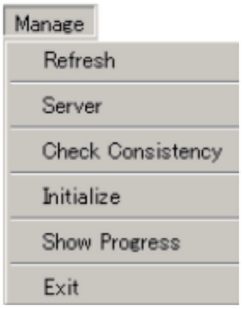
メニューバー

メイン画面のメニューバーでは 5 つのメニューが用意されています。



各メニュー項目を下記に記載させていただきます。

●Manage: マネージャーメニュー



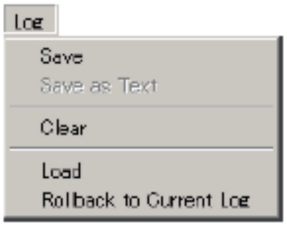
メニュー項目	説明	備考／主な利用用途	関連ページ
Refresh	コントローラー及び接続デバイスをリフレッシュします。	新しいドライブを追加した場合などに情報を更新します。	―
Server	表示するサーバーを切り替えます。（本製品ではサポートしません）	複数の NSB-96SRW シリーズ使用時は HostExplorer を使用し、事前に管理対象サーバーを選択してください。	P.26 ～ P.27
Initialize	イニシャライズを実行します。	論理ドライブの初期化	P.49 ～ P.50
SlowProgress	各処理中のタスク（論理ドライブの初期化、RAID 構築等）状況を確認します。	［**Dashboard**］画面の［**Moredetails**］をクリックすることでも実行タスク状況を確認いただくことが可能です。	P.47
Exit	「MSM」を終了します。	―	P.105 ～ P.106

●Go To: 実行メニュー（メインビューイメージ）

［**Go To**］メニューは、［**Physical**］ビュー / ［**Logical**］ビューで選択しているデバイス（Controller、Physical Drive、Logical Drive）によってメニュー項目が異なります。

メニュー項目	説明	備考／主な利用用途	関連ページ
Controller	ディスクコントローラーのメニュー	新規RAID構築等で使用しますが、新規RAID作成手順につきましては、「3.1 ボリューム作成（P.40～P.47）」を参照ください。	P.40 ～ P.47
Drive Group	論理ドライブの拡張機能メニュー	―	―
Physical Drive	物理ドライブに関するメニュー	―	―
Virtual Drive	論理ドライブに関するメニュー	論理ドライブの削除	P.48
BBU	バッテリー機能メニュー	本製品ではサポートしません。	―

●Log: ログメニュー



メニュー項目	説明	備考／主な利用用途	関連ページ
Save	イベントログを保存します。	「**メッセージウインドウ～イベントログ情報**」を参照ください。	P.107 ～ P.108
Save as Text	イベントログをテキストフォーマットで保存します。		
Clear	イベントログを削除します。	【注意】「**Clear**」は使用しないでください。 障害発生時の解析に支障をきたすおそれがあります。	―
Load	保存したイベントログを開きます。	［**Load**］をクリック後、読み込み対象ログファイルを選択し、［**Open**］ボタンをクリックします。	P.107 ～ P.108
Load Rollback to Current log	Load を終了し、最新のイベントを表示します。	※［**Load**］をクリックすると「**Log**」メニューに追加されます。	―

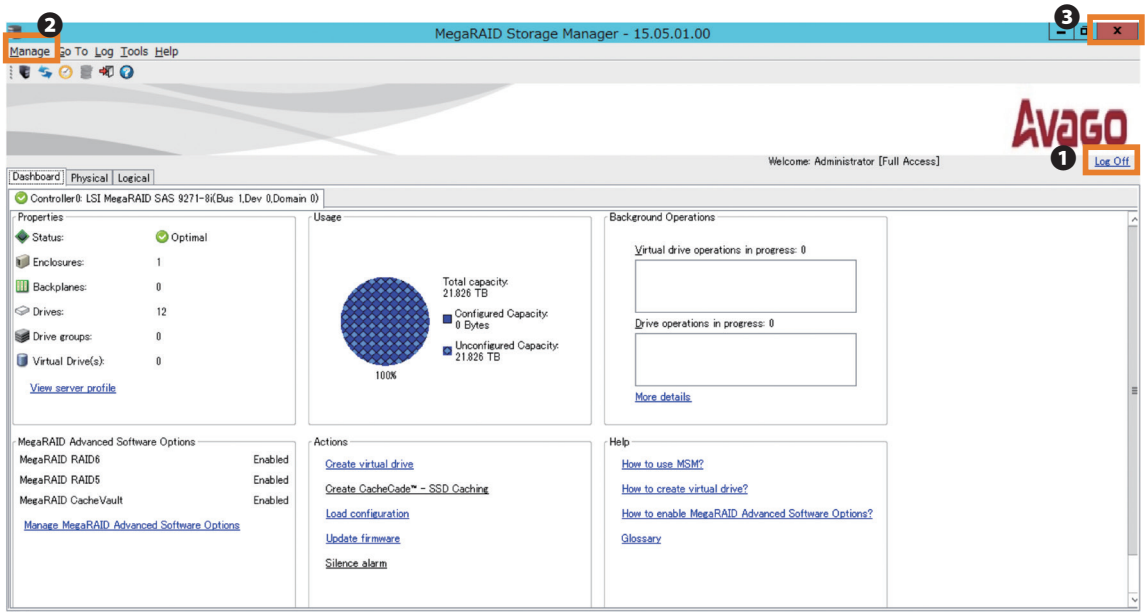
●Tools: ツールメニュー

メニュー項目	説明	備考／主な利用用途	関連ページ
Configure Alerts	イベント通知設定ウインドウを表示します。（本製品ではサポートしません。）	通知設定は、「2.3 お知らせメール」を参照の上、ご利用ください。	P.29 ～ P.32

●Help: ヘルプメニュー

メニュー項目	説明	備考／主な利用用途	関連ページ
Contents	ヘルプを表示します。	―	―
About MegaRAID Storage Maneger	「MSM」のバージョン情報を表示します。	―	―

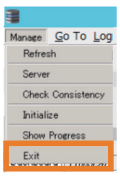
ログオフボタン



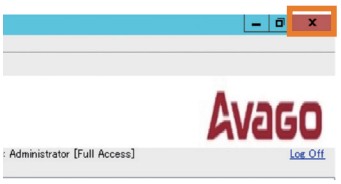
❶ログオフボタンをクリックする事により、「MSM」を終了させる事ができます。

また、下記方法でも「MSM」を終了させる事が可能です。

❷メニューバーの［Manage］より「Exit」をクリック。



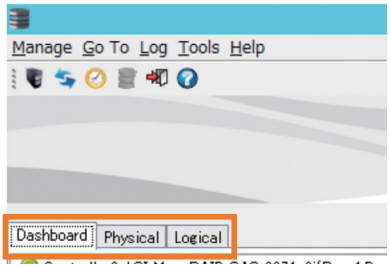
❸メイン画面右上の閉じるアイコンをクリック。



※「MSM」の起動方法につきましては、P.40 を参照ください。

メイン管理画面　構成情報

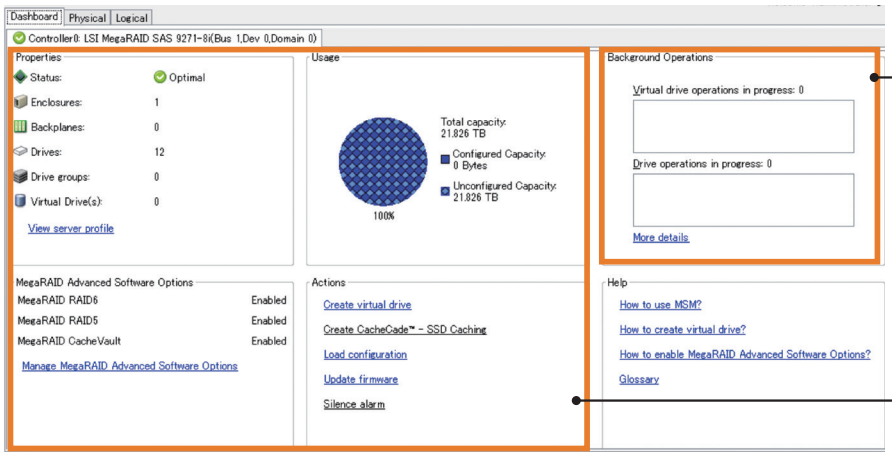
メイン管理画面のタブボタンを使用し、「MSM」の構成画面を切り替えることが可能です。
タブボタンは、**Dashboard/ Physical/ Logical** の３つが用意されています。



※「MSM」起動時は、［**Dashboard**］（RAID 情報）画面が表示されます。

下記は「MSM」参考構成画面情報となります。
実際の表示画面とは異なります。

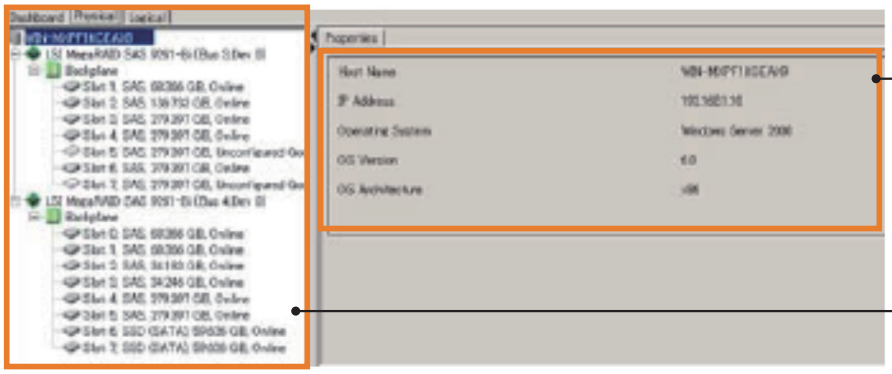
●Dashboared（RAID 情報）参考画面



RAID 構築等、ドライブタスク進捗状況が表示されます。

RAID 構成情報が表示されます。

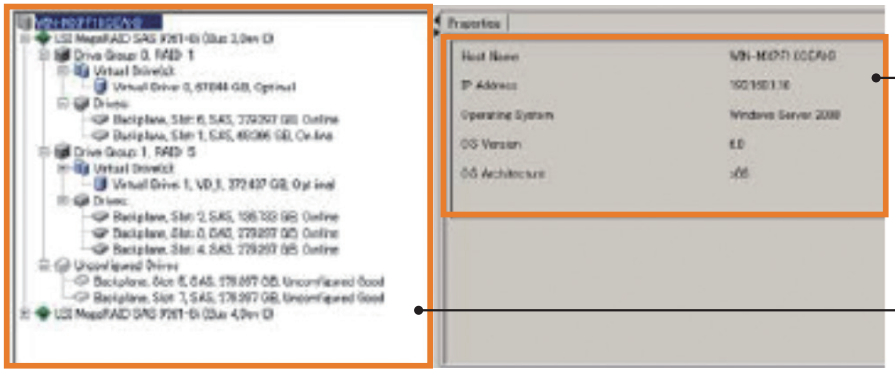
●Physical（物理ドライブ情報）参考画面



サーバー情報
HostName、IP アドレス、OS 情報等
※[**Logical**] 画面と同一内容が表示されます。

物理ドライブ情報が表示されます。

●Logical（論理ドライブ情報）参考画面

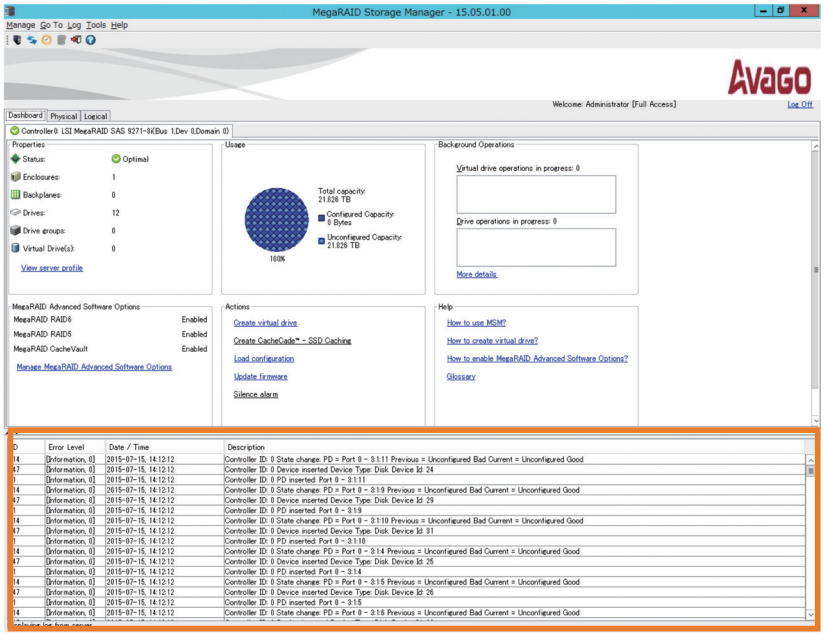


サーバー情報
HostName、IP アドレス、OS 情報等
※[**Physical**] 画面と同一内容が表示されます。

論理ドライブ情報が表示されます。

メッセージウインドウ～イベントログ情報

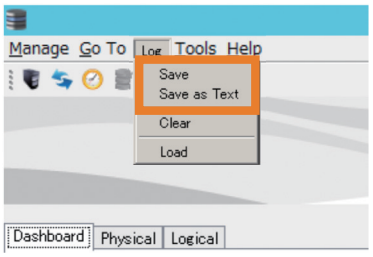
「MSM」を起動すると、メイン画面のメッセージウィンドウに管理対象サーバから 通知されたイベントログが表示されます。



イベントログは保存したり、保存したログを表示することができます。

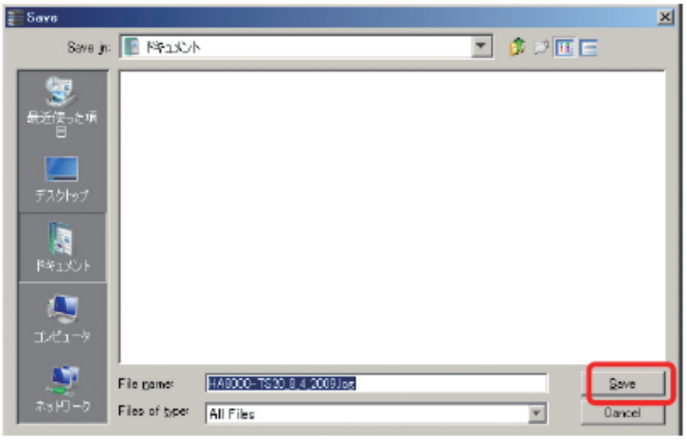
■参考　イベントログの保存手順

1 **メニューバーの［Log］-［SaveLog］または［SaveLogText］をクリックします。**



2 **保存画面が表示されます。**

イベントログを保存する場所と名前を設定し、［**Save**］ボタンをクリックします。



以上で、イベントログが保存されます。

6.4 困ったときは

●セットアップできないときは

管理用 PC にて HostExplorer で検索できない、リモートデスクトップ画面が表示できないときの代表的な現象と原因を以下に記載します。

原因 1) ケーブル類が正しく接続されていない

物理的に接続されていない、または接触不良の可能性があります。AC ケーブルと LAN ケーブルを接続しなおし、管理用 PC および本製品を再起動します。

原因 2) ファイアウォール機能が有効となっている、常駐ソフトウェアがインストールされている

ファイアウォール機能を無効にする、またはファイアウォール機能を持ったソフトウェアをアンインストールし、再度検索をします。

原因 3) 無線、有線アダプターがそれぞれ有効になっている

本製品に接続するための LAN アダプター以外を無効にします。

原因 4) LAN ケーブルの不良、または接続が不安定になっている

接続するハブの端子や LAN ケーブルを変更します。

原因 5) お使いの LAN ボード / カード / アダプターが故障している

LAN ボード / カード / アダプターを変更します。

原因 6) お使いの LAN ボードやハブの伝送モードが設定されていない

LAN ボードやハブ側で伝送モードを [10M 半二重] または [100M 半二重] に変更します。LAN ボードやハブによっては、伝送モードが [Auto Negotiation] (自動認識) に設定されていると、ネットワークに正しく接続できないことがあります。

原因 7) ネットワークブリッジが存在する

使用していないネットワークブリッジが構成されているときは削除します。

原因 8) 異なるネットワークから検索を行っている

ネットワークセグメントを超えて検索を行うことはできません。検索するパソコンと同一のセグメントに本製品を接続します。

原因 9) TCP/IP が正しく動作していない

LAN アダプターのドライバーを再インストールします。

原因 10）WindowsStrageServer 上で LAN 端子に記載されている刻印と異なる LAN 端子の番号が表示される

WindowsStrageServer 上で表示される LAN 端子の番号は、仕様により認識した順で表

示されます。
その為、LAN 端子に記載されている刻印の番号と表示されている番号が異なる場合があります。

原因 11) Mac で Remote Desktop Connection Client for Mac をインストールしていない
Mac OS X をお使いの場合、あらかじめ Microsoft 社ホームページ http://www.microsoft.com/ja-jp/download/ から「Remote Desktop Connection Client for Mac 2」をダウンロードし、インストールします。
インストールしないとリモートデスクトップで本製品の設定を変更することはできません。

●本製品の共有フォルダーが突然開かなくなったときは

本製品の共有フォルダーをネットワークドライブとして割り当ててお使いの場合、IP アドレスやワークグループが変更されたときなど、突然本製品にアクセスできなくなってしまうことがあります。
このようなときは、「Chapter2.1 Host Explorer について」に記載の手順を参照して、「マウント」ボタンで本製品の共有フォルダーをネットワークドライブとしてマウントしてください。

MEMO Mac OS X では、デスクトップ画面に本製品がドライブアイコンとしてマウントされるか、Finder のサイドバーに表示されます。

●共有フォルダーにアクセスできない、システムが不安定なときは

Windows Storage Server 上で動作・常駐しているソフトウェアの数が多いとメモリ不足によりシステムが不安定になったり、共有フォルダーにアクセスできなくなったりすることがあります。
このようなときは、Windows Storage Server で動作・常駐しているソフトウェアを終了、またはアンインストールし、本製品を再起動します。

補足 A

サポート

A.1 製品の保証について

製品の保証とサービス

販売店発行のレシートまたは保証シールに記載されている購入日より 3 年間、本製品を本保証規定に従い無償修理することを保証いたします。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より 3 年間です。保証期間を過ぎての修理は有料になります。詳細については個装箱に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、個装箱に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

p113「A.2　サポートサービスについて」をお読みください。

A.2 サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアル、修理依頼書、付属品購入窓口などをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は…
サポートポータルサイト「えれさぽ」へ

エレコム・ネットワーク法人サポート（ナビダイヤル）
TEL：0570-070-040
受付時間：9:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00　月曜日～金曜日
※祝祭日、夏季・年末年始休業日を除く
※「050」から始まる IP 電話、PHS からはご利用になれません。

本製品は、日本国内仕様です。国外での使用に関しては弊社ではいかなる責任も負いかねます。
また国外での使用、国外からの問合せにはサポートを行なっておりません。
This product is for domestic use only. No technical support is available in foreign languages other than Japanese.

テクニカルサポートにお電話される前に
お問合せの前に以下の内容をご用意ください。
・弊社製品の型番
・ご質問内容（症状、やりたいこと、お困りのこと）
※可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

Network storage サーバー　NSB-96SRW シリーズ
ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社　2018 年 11 月 20 日 第 6 版

©2018 ELECOM Co, Ltd. All right rserved.